Elastic Compute Service (ECS)

ユーザガイド

MORE THAN JUST CLOUD | C-D Alibaba Cloud

ユーザガイド

概要

クイックリファレンス

この記事では、ECS 管理コンソールで ECS を使用する際に参照できるクイックリファレンスを示します。

必読: ECS 操作説明書

- ECSを使用する際の考慮事項

インスタンスへのログイン

Linux インスタンスへのログイン

SSHキーペアでインスタンスにのログイン

Windows インスタンスへのログイン

インスタンスのログインパスワード (マネジメントターミナルのパスワードではなく) を忘れた場合 は、インスタンスのパスワードのリセットを実行してください。

ディスクの操作

- クラウドディスク購入後のデータディスクのアタッチ方法

オペレーティングシステムの変更

以下のような システムディスクの変更 が可能です:

Windows から Linux へ、Linux から Windows への変更。

既存バージョンから別のバージョンへ、たとえば、Windows Server 2008 から Windows Server 2012 への変更。

イメージの変更。たとえば、カスタムイメージまたは共有イメージへの変更。

イメージとスナップショットの使用

異なるリージョンを跨る イメージのコピー。

構成やアプリケーションの自動更新ポリシーを作成する場合、自動スナップショットポリシーの作 成 。

イントラネット通信を有効にする

- セキュリティグループを使用してイントラネット通信を有効にする方法。

上記の質問に対する回答は、左側のナビゲーションペインで対応するノードをクリックしてください。

ECS を使用する際の考慮事項

ECS インスタンスを適切に実行するために、使用する前に以下の考慮事項をすべてお読みください。

禁止

アリババクラウドは以下を禁止しています。

- フロースルーサービスにインスタンスを使用する。違反があれば、インスタンスのシャットダウン やロックアウト、サービスの終了まで処罰されます。
- SELinuxを有効にする。
- ハードウェア関連のドライバをアンインストールする。
- ネットワークアダプタのMACアドレスを任意に変更します。

一般的なオペレーティングシステムに関する考慮事項

- 4 GiB 以上の RAM を搭載した ECS の場合、32 ビット OS が最大 4 GiB の RAM をサポートす るため、64 ビット OS を使用することをお勧めします。現在利用可能な 64 ビットシステムは次 のとおりです。
 - Aliyun Linux
 - CoreOS
 - CentOS
 - Debian
 - FreeBSD
 - OpenSUSE
 - SUSE Linux
 - Ubuntu
 - Windows
- 32ビットWindows OSは、最大4コアのCPUをサポートします。
- Windows インスタンスで Web サイトを構築するにはメモリが 2 GiB 以上必要です。また、1 vCPU でメモリ 1 GiB の構成は、MySQL サービスを起動することができません。
- サービスの継続性を確保し、サービスのダウンタイムを回避するには、OS の起動時にサービスア プリケーションの自動起動を有効にします。
- -1 / Oに最適化されたインスタンスの場合は、 aliyun-service プロセスを停止しないでください。
- カーネルや OS の更新は控えてください。

Linuxの制限事項

安定しシステムを稼働させるために、以下を**実行しない**でください:

- デフォルトの /etc/issueファイルの内容を変更します。このファイルを変更すると、管理コンソー ルボタンが使用できなくなります。
- /etc、/sbin、 /bin、/boot、 /dev、/usr、 /libなどのディレクトリのパーミッションを変更しま す。不適切なアクセス許可の変更によりエラーが発生する可能性があります。
- Linux **ルート**アカウントの名前を変更、削除、または無効にする。
- Linuxカーネルで他の操作をコンパイルまたは実行します。
- NetWorkManager サービスを有効にします。このサービスは、システムの内部ネットワークサー ビスと競合し、ネットワークエラーを引き起こします。

Windowsの制限事項

- 組み込みの **shutdownmon.exe** プロセスを閉じないでください。これにより、Windowsサーバー の再起動が遅れることがあります。
- Administrator アカウントの名前を変更、削除、または無効にしないでください。
- 仮想メモリの使用はお勧めしません。

制限事項

ECS を使用する場合は、次の点を考慮してください。

- ECS は、VMware を使用する場合など、仮想アプリケーションのインストールまたは後続の仮想 化をサポートしていません。現在、ECS Bare Metal Instances のみが仮想化をサポートしていま す。
- ECS はサウンドカードアプリケーションをサポートしていません。
- ECS は、ハードウェアドングル、USB ドライブ、外付けハードドライブ、銀行が発行する USB セキュリティキーなどの外部ハードウェアデバイスのインストールをサポートしていません。
- ECS は SNAT およびその他の IP パケットアドレス変換サービスをサポートしていません。これを 実現するには、外部VPNまたはプロキシを使用します。
- ECS はマルチキャストプロトコルをサポートしていません。マルチキャストサービスが必要な場合 は、ユニキャストポイントツーポイント方式を使用することをお勧めします。
- 現在、 Log Service は 32 ビット Linux ECS インスタンスをサポートしていません。Log Service をサポートする地域を知るには、サービスエンドポイント を参照してください。Log Service をサポートするサーバーオペレーティングシステムについては、Logtail コレクションの 概要を 参照してください。

前述の制限の他に、ECS の追加制限が次の表に記載されています。

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
インスタンスを作成する権限	インスタンスの作成にあたり制 限はありません。ただし、中国 本土リージョンをご利用の際、 本人確認書類の提出をお願いす る場合があります。詳細は Alibaba Cloud Product Terms of Service 3.14 をご 確認ください。	サポートしていません
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンの従量課金 ECS インスタンスのデフォル トクォータ	10	チケットの作成
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンのスポットイン スタンスのデフォルトのクォー タ	従量課金 ECS インスタンスク ォータを共有	チケットの作成
課金方法を従量課金からサブス クリプションへ変更	次のインスタンスタイプ、また はタイプファミリーではサポー トしていません。	サポートしていません

ECS インスタンス

	- 第 2 世代:n1、 ne2、e3 - 第 1 世代のすべての インスタンスタイプ	
	ecs.t1.small (1 vCPU コア、 1 GiB)	
	ecs.s1.small (1 vCPU コア、 2 GiB)	
	ecs.s1.medium (1 vCPU コア 、4 GiB)	
従量課金 FCS インスタンスを	ecs.s2.small (2 vCPU コア、 2 GiB)	
作成するためにデフォルトで使 用可能なインスタンスタイプ	ecs.s2.large (2 vCPU コア、 4 GiB)	チケットの作成
(新世代)	ecs.s2.xlarge (2 vCPU コア 、8 GiB)	
	ecs.s3.medium (4 vCPU コア 、4 GiB)	
	ecs.s3.large (4 vCPU コア、 8 GiB)	
	ecs.m1.medium (4 vCPU コ ア、16 GiB)	
	ecs.n1.tiny (1 vCPU コア、1 GiB)	
	ecs.n1.small (1 vCPU コア、 2 GiB)	
	ecs.n1.medium (2 vCPU コ ア、4 GiB)	
従量課金 ECS インスタンスを 作成するためにデフォルトで使 用可能なインスタンスタイプ (以前の世代)	ecs.n1.large (4 vCPU コア、 8 GiB)	
	ecs.n2.small (1 vCPU コア、 4 GiB)	チケットの作成
	ecs.n2.medium (4 vCPU コ ア、8 GiB)	
	ecs.n2.large (4 vCPU コア、 16 GiB)	
	ecs.e3.small (1 vCPU コア、 8 GiB)	
	ecs.e3.medium (2 vCPU コ ア、16 GiB)	

ブロックストレージ

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンの従量課金クラ ウドディスクのクォータ	1 つのアカウントにおけるすべ てのリージョンの従量課金イン スタンス数の 5 倍	チケットの作成
1 つの ECS インスタンスに対 するクラウドディスクのクォー タ	16(クラウドディスクと共有 ブロックストレージを含む)	サポートしていません
共有ブロックストレージのマル チノード接続	16 インスタンス。 パブリック ベータでサポートされる 4 イ ンスタンス。	サポートしていません
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンの共有ブロック ストレージのクォータ	10	チケットの作成
基本クラウドディスク 1 台の 容量	5 GiB ~ 2,000 GiB	サポートしていません
SSD クラウドディスク 1 台の 容量	20 GiB ~ 32,768 GiB	サポートしていません
Ultra クラウドディスク 1 台の 容量	20 GiB ~ 32,768 GiB	サポートしていません
エフェメラル SSD ディスク 1 台の容量	5 GiB ~ 800 GiB	サポートしていません
1 つの ECS インスタンスのエ フェメラル SSD ディスクの容 量	1,024 GiB	サポートしていません
NVMe SSD ローカルディスク 1 台の容量	1,456 GiB	サポートしていません
l つの ECS インスタンスの NVMe SSD ローカルディスク の容量	2,912 GiB	サポートしていません
SATA HDD ローカルディスク 1 台の容量	5,500 GiB	サポートしていません
1 つの ECS インスタンスの SATA HDD ローカルディスク の容量	154,000 GiB	サポートしていません
SSD 共有ブロックストレージ デバイス 1 台の容量	32,768 GiB	サポートしていません
1 つの ECS インスタンスの SSD 共有ブロックストレージ デバイスの容量	128 TB	サポートしていません
Ultra 共有ブロックストレージ デバイス 1 台の容量	32,768 GiB	サポートしていません
1 つの ECS インスタンスの	128 TB	サポートしていません

Ultra 共有ブロックストレージ デバイスの容量		
システムディスク 1 台のサイ ズ制限	Windows:40 GiB ~ 500 GiB Linux (CoreOS を除く) + FreeBSD:20 GiB ~ 500 GiB CoreOS:30 ~ 500 GiB	サポートしていません
データディスク 1 台のサイズ 制限	基本クラウドディスク:5 GiB ~ 2,000 GiB SSD クラウドディスク/Ultra クラウドディスク/ SSD 共有 ブロックストレージ/Ultra シ ェアブロックストレージ:20 GiB~32,768 GiB ローカルディスク:「ローカル ディスク」 をご参照ください 。	サポートしていません
ローカルディスクを使用して独 立したローカルディスクを ECS インスタンスに接続	サポートしていません	サポートしていません
ローカルディスクを使用して ECS インスタンスの設定を変 更	パブリックネットワーク帯域幅 への変更のみ許可されています	サポートしていません
システムディスクのマウントポ イント	/dev/xvda	サポートしていません
データディスクのマウントポイ ント	/dev/xvd[b-z]	サポートしていません

スナップショット

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
スナップショットのクォータ	エラスティックブロックストレ ージデバイスの数 * 64	サポートしていません

イメージ

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンのカスタムイメ ージのクォータ	100	チケットの作成
l つのカスタムイメージを共有 できるアカウントのクォータ	100	チケットの作成
インスタンスタイプのイメージ	32 ビットイメージは、4 GiB	サポートしていません

要件	以上の RAM を持つインスタ ンスではサポートしていません
	0

キーペア

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンのキーペアのク ォータ	500	サポートしていません
キーペアをサポートするインス タンスタイプ	第 1 世代の非 I/O 最適化イン スタンスタイプを除くすべての インスタンスタイプ	サポートしていません
キーペアをサポートするイメー ジ	Linux イメージのみ	サポートしていません

パブリックネットワークの帯域幅

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
最大インバウンドインターネッ ト帯域幅	200 Mbit/秒	サポートしていません
最大アウトバウンドインターネ ット帯域幅	100 Mbit/秒/s	チケットの作成。 最大 200 Mbit/秒まで
ECS インスタンス 1 つに割り 当てられたパブリック IP アド レスの変更に関する制限	インスタンスの存在は 6 時間 未満です。 インスタンスのパ ブリック IP アドレスを 3 回変 更できます。	サポートしていません

セキュリティグループ

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
l つのセキュリティグループに 対する ECS インスタンスのク ォータ	1,000	サポートしていません
1 つのセキュリティグループに 対するルールのクォータ	100	サポートしていません
l つのアカウントに対するすべ てのリージョンのセキュリティ グループのクォータ	100	チケットの作成
1 つの ECS インスタンスのセ	5	サポートしていません

キュリティグループのクォータ		
ポート	STMP サービスのデフォルト ポートである TCP ポート 25 へのアクセスは拒否されます。 セキュリティグループルールの 追加で許可することはできません。	チケットの作成。 詳細につい ては、「TCP ポート 25 を開 くための申請 」をご参照くだ さい。

ENI

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
l つのアカウントに対する l つのリージョンの ENI クォー タ	100	チケットの作成

タグ

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
1 つの ECS インスタンスに対 するタグのクォータ	10	サポートしていません

API

項目	制限	より高度な設定の提供または設 定権限の解除
CreateInstance の呼び出しク ォータ	毎分 最大 200 回	チケットの作成

VPC 制限の詳細については、VPC プロダクト紹介の 「制限」をご参照ください。

インスタンスへのログイン

Management Terminal (VNC) を使用した

ECS インスタンスへの接続

Management Terminal (別名 VNC) は、他のリモート接続ツール (Putty、Xshell、SecureCRT など) が 利用できないときに、ECS インスタンス (Linux または Windows) に遠隔接続できる便利なツールです。ツ ールに習熟すると、問題解決にも手軽に利用することができます。

シナリオ

帯域幅を購入したかどうかにかかわらず、Management Terminal から ECS インスタンスに接続すること ができます。Management Terminal はほかにも、以下のシナリオをはじめ、さまざまなケースに適用でき ます。

ECS インスタンスの起動速度が遅いときに、進行を確認する場合 (例: セルフチェックが起動した 場合)

ECS インスタンスでのソフトウェア設定エラーが原因で、リモート接続 (Putty など) に失敗し、 ファイアウォールを再設定する場合 (例: 誤操作によりファイアウォールが有効化されている場合)

アプリケーションによる CPU や帯域幅の使用率が高く、リモート接続が妨げられているときに、 ECS インスタンスに接続して異常なプロセスを終了させる場合 (例: ボットネット攻撃によって CPU または帯域幅が完全に占有されている場合)

手順

[ECS 管理コンソール] にログインします。

接続する ECS インスタンスに移動し、右側の [VNC] をクリックします。

次の説明に従って、Management Terminal に接続します。

- Management Terminal に初めて接続する場合は、以下の手順に従います。

a. 表示される [VNC 接続パスワード] ダイアログボックスにある、パスワードを コピーします。このダイアログボックスは一度しか表示されませんが、接続パ スワードは Management Terminal への接続時に毎回要求されるため、保存 しておいてください。



- b. [閉じる] をクリックし、[VNC 接続パスワード] ダイアログボックスを閉じます。
- c. 次に表示される [VNC パスワードの入力] ダイアログボックスで、コピーした 接続パスワードを入力し、[OK] をクリックして Management Terminal に接 続します。

*VNC パスワードを 入力してください:	
*VNCパスワートを 入力してください:	

- 過去に Management Terminal に接続したことがある場合は、[VNC パスワードの入力]
] ダイアログボックスが表示されます。接続パスワードを入力し、[OK] をクリックして Management Terminal に接続します。
- パスワードを忘れた場合は、次の手順に従って Management Terminal に接続します。

a. パスワードを変更します。

- b. Management Terminal インターフェイスの左上にある [**リモートコマンドの** 送信] をクリックし、[管理端末への接続] をクリックします。
- c. 表示される [**VNC パスワードの入力**] ダイアログボックスで、新しいパスワードを入力し、接続を終了します。

次の手順に従って、インスタンスに接続します。

Linux インスタンスには、ユーザー名 ("root") とパスワードを入力して接続します。画 面が真っ黒なままの場合は、Linux インスタンスがスリープモードになっています。マ ウスクリックするか、いずれかのキーを押すと、表示が変わります。 複数の Linux インスタンスを操作している場合は、[**リモートコマンドの送信**]、[**Ctrl+Alt+Fx**] (***Fx**^{*} は ***F1**^{*} から ***F10**^{*} までのいずれかのキー) の順にクリックし、管理 端末を切り替えてください。



Windows インスタンスには、**Management Terminal** インターフェイスの左上にある [**リモートコマンドの送信**] をクリックし、[**Ctrl+Alt+Delete**] をクリックして、ログオン 画面にアクセスします。ユーザー名 ("Administrator") とパスワードを入力してログオ ンします。

リモートコマンドの送信マ	切断がタイムアウトしました。
管理端末への接続	
リモート接続の切断	
CTRL+ALT+F1	
CTRL+ALT+F2	
CTRL+ALT+F3	
CTRL+ALT+F4	
CTRL+ALT+F5	
CTRL+ALT+F6	
CTRL+ALT+F7	
CTRL+ALT+F8	
CTRL+ALT+F9	
CTRL+ALT+F10	

パスワードの変更

[**VNC 接続パスワード**] ダイアログボックスに表示されるパスワードではなく、使い慣れたパスワードを使いたい場合、またはパスワードを忘れてしまった場合は、接続パスワードの変更が可能です。

注意: 変更後、新しい VNC 接続パスワードを有効にするにはインスタンスを再起動する必要があります。再

起動するとインスタンスの動作が停止し、業務が中断されるので、 パスワードを変更する際はご注意ください。

- 1. [ECS 管理コンソール]にログインします。
- 2. 接続する ECS インスタンスに移動し、右側の [**VNC**] をクリックします。
- 3. 表示される [VNC 接続パスワード] または [VNC パスワードの入力] ダイアログボックスを閉じ、 Management Terminal インターフェイスの右上にある [管理端末のパスワードの変更] をクリッ クします。

1夜师とどとくだとい。 コミンドハル 昌任柵木のハヘノードの支	復帰させてください。 🏾	コマンド入力	管理端末のパスワードの変更
--------------------------------------	--------------	--------	---------------

- 4. 新しいパスワードを入力します。パスワードは、大文字、小文字、数字、またはそれらを組み合わ せ、6 文字で構成してください。特殊文字は使用できません。
- 5. 管理コンソールで インスタンスを再起動し、新しいパスワードを有効にします。インスタンス内 で再起動しても有効にはなりません。

よくある質問

Management Terminal は排他的ですか。

はい。1人のユーザーの使用中に、他のユーザーが使用することはできません。

パスワードを変更したら、Management Terminal からログオンできなくなりました。なぜでしょうか。

(インスタンス内からではなく) 管理コンソールでインスタンスを再起動し、パスワードを有効にす る必要があります。

ログオンした後、画面が真っ暗です。どのようにすればよいでしょうか。 真っ暗な画面は、インスタンスがスリープモードであることを示します。

- Linux インスタンスの場合は、いずれかのキーを押すと起動します。
- Windows インスタンスの場合は、リモートコマンド [**Ctrl+Alt+Delete**] を送信するとロ グオンインターフェイスに戻ります。

Management Terminal にアクセスできません。どのようにすればよいでしょうか。 Chrome を使用して管理コンソールにログオンし、**F12**を押して開発者ツールを開き、コンソー ル内の情報を確認して問題を分析してください。

IE8.0 または Firefox を使用していますが、Management Terminal を開くことができないのは なぜですか。

IE は 10 以降のみをサポートしています。Firefox の一部のバージョンはサポートしていません。 この問題を解決するには、最新の IE バージョンをダウンロードするか、代わりに Chrome を使 用してください。Chrome は、より適切に管理コンソールをサポートしています。}

SSH キーペア使用のインスタンスログイン

キーペアを使用してLinuxインスタンスにログオンする方法は、ローカルオペレーティングシステムによって 異なります。

- Windows の場合
- Linux または SSH コマンド対応する OS

Windows の場合

本セクションでは、一般的なSSHツールのPuTTYとPuTTYgenを例として、WindowsシステムからLinuxインスタンスにログオンするためにキーペアを使用する方法を示します。

操作手順

F

1) 予めPuTTY と PuTTYgen をダウロードしインストールしておく必要があります。また、SSH キーペア が登録済みの Linux インスタンスを準備して置く必要もあります。

http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/

2) PuTTYgen を実行します。

3) Type of key to generate の下の、 SSH-2 RSA を選択します。

Parameters		
Type of key to generate: SSH-1 (RSA)	SSH-2 RSA	SSH-2 DSA
Number of bits in a generate	ed key:	2048

4) "Load"をクリックします。保存するファイル形式を.ppk から.pemへ手動で変更をしてください。

ile <u>n</u> ame:	•	PuTTY Private Key Files (*.ppk) 🔻
		PuTTY Private Key Files (*.ppk)
		All Files (*.*)

5) "Open" をクリックし、既存の秘密鍵を選択し、"OK" をクリックします。

6) "Save private key" による秘密鍵を保存します。警告のメッセージが表示後、" Yes" をクリックします。

7) 秘密鍵の名前を指定します。(.ppk という拡張子が自動的に追加されます。)

8) Putty Client を実行します。

9) "Connection"->"SSH"->"Auth" の順で選択し、"Browse…" をクリックし、作成された .ppk ファイルを 選択します。

🕵 PuTTY Configuratio	n	
Category:		
Category: 		Options controlling SSH authentication
Tunnels	-	
About		<u>O</u> pen <u>C</u> ancel

10) "Session" をクリックし、"Host Name" を入力します。"open" をクリックしてインスタンスにログイ

<u>ンします。</u>			
🕵 PuTTY Configuration	ı		×
Category:			
Session		Basic options for your PuTTY ses	sion
Logging		Specify the destination you want to connect to	
Keyboard		Host <u>N</u> ame (or IP address)	<u>P</u> ort
Bell		root@10.2.11.33	22
└── Features └── Window └── Appearance		Connection type: ◯ Ra <u>w</u> ◯ <u>T</u> elnet ◯ Rlogin	Se <u>r</u> ial
Behaviour Translation Selection Colours	Ξ	Load, save or delete a stored session Sav <u>e</u> d Sessions	
Connection		Default Settings	Load
Proxy Telnet			Sa <u>v</u> e
Rlogin SSH Kex			Delete
Auth GSSAPI		Class window on svit	
TTY		Always Never Only on cle	an exit
X11 Tunnels	Ŧ		
About		<u>Open</u>	<u>C</u> ancel

Linux または SSH コマンド対応する OS

ここではSShコマンドをサポートしているLinuxインスタンスや他のシステム(例えばMobaXterm for Windowsなど)でのキーペアを使用してのログイン方法を説明します。

必須要件

インスタンスに紐付けられたLinuxインスタンスが必要です。 詳しくは 「インスタンス作成時に SSH キーペアを使用する方法 」 または 「SSH キーペアのバインド/バインド解除方法」を参照してください。

操作手順

プライベートキーが保存してあるディレクトリーに移動します。 例えば, /root/xxx.pemなど。

xxx.pemのxxxはユーザご自身のプライベートキーに変更してください。

chmod コマンドでプライベートキーの属性を変更してください。: chmod 400 xxx.pem。

ssh コマンドでインスタンスに接続します。: ssh root@10.10.10.100 -i /root/xxx.pem。

上記例でIPアドレスは10.10.10.100となっていますが、ユーザご利用の環境にて適宜読み替 えてください。

Linux インスタンスへのログイン

Linux インスタンスへのログイン

使用するローカル OS によって、ECS インスタンスへのリモートログインに用いるユーティリティは異なり ます。下表に、インスタンスへのリモートログインに用いるユーティリティを示します。

		ログイン方法				
ローカル OS	インスタン スOS	マネジメン トターミナ ル	Putty	SSH コマン ドライン	SSH Control Light	
Linux	Linux			\checkmark		

ndows	\checkmark	\checkmark	
Мас	\checkmark		\checkmark
iPhone			
Android ス マートフォ ン			

Windows からのログイン

ECS インスタンスの作成後に、以下の方法のいずれかでインスタンスにログインします。

- リモートログインソフトウェア (Putty など): この方法を使用する前に、インターネットから対象 のインスタンスにアクセスできることを確認してください。ただし、インスタンスの作成時に帯域 幅を購入していない場合は、このリモートデスクトップ接続方法を利用できません。代わりにマネ ジメントターミナルを使用できます。
- マネジメントターミナル:帯域幅を購入したかどうかにかかわらず、管理コンソールの [マネジメン トターミナル] からインスタンスにログインできます。

リモート接続アプリケーションの使用

各種のリモート接続ユーティリティは、使用法がよく似ています。このドキュメントでは、Putty を例に、 インスタンスへのリモートログイン方法を説明します。Putty は無料で使いやすいユーティリティです。 http://www.putty.org/ でダウンロードすることができます。

1. Putty.exe を起動します。

- 2. インスタンスのパブリック IP アドレスを [Host Name (or IP address)] に入力します。
 - デフォルトポート 22 を使用します。
 - [Connection Type] で [SSH] を選択します。
 - [Saved Sessions] にセッション名を入力し、[Save] をクリックします。こうすることで、次回、IP アドレスを入力せずに直接セッションを読み込むことができます。

[Open] をクリックして接続します。

	Basic options for your PuTTY session		
⊡ Logging ⊡ Terminal Keyboard Bell Features	Specify the destination you want to con Host Name (or IP address)	Port 22	
 Window Appearance Behaviour Translation Selection 	Load, save or delete a stored session Saved Sessions		
Colours Connection Data Proxy	Default Settings CentOS_HZ Win12_HZ	Load	
Telnet Rlogin SSH Serial	Close window on exit: Always Never Only on		

初回接続時に、次のメッセージが表示されます。[Yes] をクリックします。

PuTTY Secu	irity Alert
	The server's host key is not cached in the registry. You have no guarantee that the server is the computer you think it is. The server's rsa2 key fingerprint is: ssh-rsa 2048 03:12:56:8a:06:a6:a6:b6:83:63:c6:18:e0:5f:f7:f7 If you trust this host, hit Yes to add the key to PuTTY's cache and carry on connecting. If you want to carry on connecting just once, without adding the key to the cache, hit No. If you do not trust this host, hit Cancel to abandon the connection.
	Yes No Cancel

5. プロンプトに応じて、Linux ECS インスタンスのユーザー名とパスワードを入力します。パスワ ードは画面に表示されません。**Enter** キーを押します。

🛃 root@iZ23eeaj320Z:~	
login as: root root@ s password:	×
Welcome to aliyun Elastic Compute Service!	
[root@i ~]#	
-	

これでインスタンスに正常に接続され、操作を行うことができます。

マネジメントターミナルの使用

マネジメントターミナルは、他のリモート接続ツール (Putty、Xshell、SecureCRT など) が利用できない ときに、インスタンスにログインするために使用できる便利なツールです。適切な技術力を持つユーザーに とって、手軽に問題解決に利用できるセルフサービスツールです。

シナリオ

帯域幅を購入したかどうかにかかわらず、[マネジメントターミナル] からインスタンスにログインすること ができます。マネジメントターミナルはほかにも、以下のシナリオをはじめ、さまざまなケースに適用でき ます。

- インスタンス起動速度が遅いときに、進行を確認する必要がある場合 (例: セルフチェックの実行時)。
- インスタンスでのソフトウェア設定エラーが原因で、リモート接続 (Putty など) に失敗し、ファイ アウォールの再設定が必要な場合 (例: 誤操作によるファイアウォールの有効化)。
- アプリケーションによる CPU や帯域幅の使用率が高く、リモート接続が妨げられているために、 インスタンスにログインして異常なプロセスを終了させる必要がある場合 (例: ボットネット攻撃に 帰因するプロセスにより CPU または帯域幅が完全に占有されている場合)。

手順

- 1. ECS 管理コンソール にログインします。
- 2. 接続するインスタンスに移動します。
- 3. 右側で [VNC] をクリックします。

ステータス(すべて) -	ネットワークタイプ(すべて) 🗸	スペック	支払い方法 (すべて) -	アクション
🛑 実行中	仮想プライベートクラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適化) 1 Mbps (ピーク値)	サブスクリプション 17-02-24 01:00 有効期限	管理 更新 詳細→

 初回のログイン時に、マネジメントターミナルのパスワードの入力が求められます。このプロンプトは1回のみ表示されます。マネジメントターミナルにログインする際は、毎回このパスワードを入力する必要があります。パスワードは忘れないよう、メモしておきます。 パスワードを忘れた場合は、右上の[管理端末のパスワードの変更]をクリックします。

リモートコマンドの送信・	サーバーが切断されています。			
	管理端末のバスワー	ドの変更	×	管理端末のパスワードの変更
	ビント:VNCパスワード書	で更後は即反映するため、対象インスタンスを再起動する必要がる	りません。	
	*新しいパスワードを入 カレてください:	6文字で入力してください。英字の大文字と小文字、数字が使 用できますが、特殊文字は使用できません。]2	
	*新しいパスワードの再 確認:]3	
		OK	キャンセル	

左上の [**リモートコマンドの送信**] をクリックし、[**管理端末への接続**] をクリックします。マネジ メントターミナルパスワードを入力し、インスタンスに接続します。



ユーザー名とパスワードを入力して、ログインします。画面が真っ黒なままの場合は、Linux イン スタンスがスリープモードになっています。マウスクリックするか、いずれかのキーを押すと、表 示が変わります。

CentOS	release 6.5 (Final)
Kernel	2.6.32-431.23.3.el6.x86_64 on an x86_64
	login: _

Linux または Mac OS X からのログイン

SSH コマンドを使用してインスタンスに直接接続します。例: ssh root@*インスタンスのパブリック IP アドレス*。次に、root ユーザーのパスワードを入力します。

モバイルアプリからのログイン

スマートフォンにインストールしたリモートデスクトップアプリからログインすることができます。たとえ

ば、iPhone ユーザーは App Store から **SSH Control Light** をダウンロードし、それを使用して Linux イ ンスタンスにログインできます。

ログインパスワードを忘れた場合は、どうしたらよいですか

インスタンスのログインパスワード (マネジメントターミナルのパスワードではなく) を忘れた場合は、「パ スワードのリセット」を参照してください。

Windows インスタンスへのログイン

使用するローカル OS によって、ECS インスタンスへのリモートログインに使用するユーティリティは異なります。下表に、インスタンスへのリモートログインに用いるユーティリティを示します。

	インスタン ス OS	ログインユーティリティ					
ローカル OS		マネジメン トターミナ ル	MSTSC	rdesktop	モバイル MSTSC ア プリ		
Linux	Windows			\checkmark			
Windows		\checkmark	\checkmark				
Мас		\checkmark	\checkmark				
iPhone					\checkmark		
Android ス マートフォ ン					\checkmark		

Windows からのログイン

このセクションでは、ローカルの Windows OS から Windows インスタンスにログインする方法について 説明します。

ECS インスタンスの作成後に、以下の方法のいずれかでサーバーにログインします。

- Microsoft ターミナルサービスクライアント(MSTSC): この方法を使用する前に、インターネット から対象のインスタンスにアクセスできることを確認してください。ただし、インスタンスの作成 時に帯域幅を購入していない場合は、このリモートデスクトップ接続方法を利用できません。
- **管理コンソールの マネジメントターミナル**: 帯域幅を購入したかどうかにかかわらず、管理コンソ ールの [**マネジメントターミナルに接続**] からインスタンスにログインできます。

MSTSC の使用

- [スタート]、[リモートデスクトップ接続]の順に選択するか、[スタート]、[検索]の順に選択し「 mstsc」と入力します。また、ショートカットキー Win+R で [ファイル名を指定して実行] ウィ ンドウを開き、「mstsc」と入力して Enter キーを押し、リモートデスクトップ接続を開始する 方法もあります。
- 2. [**リモートデスクトップ接続**] ダイアログボックスに、インスタンスのパブリック IP アドレスを入 力します。[**オプション**] をクリックします。

ユーザー名を入力します。デフォルト値は Administrator です。[資格情報を保存できるようにす る] をクリックします。次に [接続] をクリックします。この方法では、後でログインする際に、パ スワードを手動で再入力する必要がありません。

😼 リモート デ	スクトップ接続
	モート デスクトップ 接続
全般画面	ローカル リソース プログラム エクスペリエンス 詳細設定
	リモート コンピューターの名前を入力してください。 コンピューター(©): 192.168.100.1 ・
	ユーザー名: administrator 1
(接続時には資格情報を要求されます。
接続設定	現在の接続設定を RDP ファイルに保存するか、または保存された接続を 開いてください。 保存(S) 名前を付けて保存(⊻) 開く(E)
)) 3 <u>接続(N)</u> ヘルプ(H)

ローカルファイルをインスタンスにコピーしやすくするために、MSTSC からローカルコンピュー ターリソースの共有を有効化できます。[**ローカルリソース**] タブをクリックします。通常は、[**ク リップボード**] チェックボックスを選択する必要があります。ただし、[クリップボード] オプショ ンを選択しても、インスタンスに直接コピーできるのはローカルテキストメッセージのみであり、 ファイルはコピーできません。

ファイルをコピーするには、[**詳細**] をクリックし、[ドライブ] を選択して、ファイルを格納するディスクを指定します。

😼 リモート デスクトップ接続
リモート デスクトップ 接続
全般 画面 ローカルリソース プログラム エクスペリエンス 詳細設定
リモート オーディオ リモート オーディオの設定を行います。 設定(S)
キーボード
Windows のキーの組み合わせを書り当てます(N): 全画面表示の使用時のみ マ
ローカル デバイスとリソース リモート セッションで使用するデバイスとリソースを選択します。
■ 計約田(M)
▶ リモート デスクトップ接続
リモート デスクトップ 接続
ローカル デバイスとリソース
リモート セッションで使用するこのコンピューター上のデバイスとリソースを選択してください。
☑ スマート カード(M)
● 「シーン ■ OS (C:) ■ DVD RW ドライブ (D:) ■ 2000 FW ドライブ (D:)
■ RCT和元9301212 ■ Eの他のサポートされているプラグ アンド プレイ (PnP) デバイス
としていた。 どのデバイスをリモート セッションで使えるかを表示します。
OK キャンセル

- 5. [画面] タブで、リモートデスクトップウィンドウのサイズを設定できます。通常は [全画面表示] に設定します。
- 6. [**OK**] をクリックし、[**接続**] をクリックします。

これでインスタンスに正常に接続され、操作を行うことができます。

マネジメントターミナルの使用

マネジメントターミナルは、他のリモート接続ツール (Putty、Xshell、SecureCRT など) が利用できない ときに、インスタンスにログインするために使用できる便利なツールです。適切な技術力を持つユーザーに とって、手軽に問題解決に利用できるセルフサービスツールです。

シナリオ

帯域幅を購入したかどうかにかかわらず、[**VNC**] からインスタンスにログインすることができます。VNCは ほかにも、以下のシナリオをはじめ、さまざまなケースに適用できます。

- インスタンス起動速度が遅いときに、進行を確認する必要がある場合 (例: セルフチェックの実行時)。
- インスタンスでのソフトウェア設定エラーが原因で、リモート接続 (Putty など) に失敗し、ファイ アウォールの再設定が必要な場合 (例: 誤操作によるファイアウォールの有効化)。
- アプリケーションによる CPU や帯域幅の使用率が高く、リモート接続が妨げられているために、 インスタンスにログインして異常なプロセスを終了させる必要がある場合 (例: ボットネット攻撃に 帰因するプロセスにより CPU または帯域幅が完全に占有されている場合)。

手順:

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 接続するインスタンスに移動します。
- 3. 右側の[VNC]をクリックします。

1	シスタンス名・	1	シスタン	レス名を入力	検索	€ 90				1		¢
	インスタンス ID/名前		モニ ター	ゾーン	IP アドレス	ステータス(す べて) ・	ネットワークタイプ (すべて) +	スペック	支払い方法 (すべ て) *	74	793	12
0	j- =GweepjqOfomipjpbdFqa Asst_aris	0	×	Asia Pacific NE 1 Zone A	ーネット) ーネット) イベート)	● 実行中	仮想プライベートクラ ウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適化) 1 Mbps (ビーク値)	従量課金 17-01-26 13:40 作成	管理	VN III	c H•
٥	l- 6	-	Ы	Asia Pacific NE 1 Zone A	(インタ ーネット) 10010011116(プライ ベート)	● 実行中	仮想プライベートクラ ウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適化) 1 Mbps (ビーク値)	従量課金 17-01-25 14:59 作成	管理	VN 詳	C ⊞ -

 初回のログイン時に、マネジメントターミナルのパスワードの入力が求められます。このプロンプトは1回のみ表示されます。マネジメントターミナルにログインする際は、毎回このパスワードを入力する必要があります。パスワードは忘れないよう、メモしておきます。 パスワードを忘れた場合は、右上の[管理端末のパスワードの変更]をクリックします。

リモートコマンドの送信・	サーバーが切断されています。			
	管理端末のバスワー	ドの変更	×	管理端末のパスワードの変更
	ビント:VNCパスワード書	で更後は即反映するため、対象インスタンスを再起動する必要がる	りません。	
	*新しいパスワードを入 カレてください:	6文字で入力してください。英字の大文字と小文字、数字が使 用できますが、特殊文字は使用できません。]2	
	*新しいパスワードの再 確認:]3	
		OK	キャンセル	

左上の [**リモートコマンドの送信**] をクリックし、[**管理端末への接続**] をクリックします。マネジ メントターミナルパスワードを入力し、インスタンスに接続します。



マネジメントターミナルインターフェイスで、リモートコマンド **Ctrl+Alt+Delete** を送信します 。Windows サーバーインスタンスへのログインインターフェイスが表示されます。ユーザー名と パスワードを入力して、ログインします。



Linux からのログイン

リモート接続ユーティリティで、リモートログインを実行することができます。帯域幅を購入していない場合は、インスタンスに接続する前に、管理コンソールにログインする必要があります。

リモート接続アプリケーションの使用

Linux システムから Windows インスタンスにリモートログインする場合は、互換性のあるリモートデスクトップ接続ユーティリティを使用する必要があります。rdesktop の使用をお勧めします。

rdesktop を起動して、次のコマンドを入力します (例中のパラメーター値は、実際のデータに置き換えてく ださい)。

• • •

rdesktop -u administrator -p password -f -g 1024*720 192.168.1.1 -r clipboard:PRIMARYCLIPBOARD -r disk:sunray=/home/yz16184

以下に引数の説明を示します。

- --u はユーザー名です。Windows インスタンスのデフォルトユーザー名は、administrator です。
- -p は Windows インスタンスのログインパスワードです。
- -f は全画面表示がデフォルトの表示であることを示します。全画面表示モードから切り替えるには、Ctrl + Alt + Enter キーを使用します。
- --g は解像度です。結合部の "*" が省略されている場合、デフォルト解像度は全画面表示です。
- 192.168.1.1 は該当する Windows インスタンスの IP アドレスに置き換えてください。
- -d はドメイン名です。たとえば INC ドメインであれば、このパラメーターは "-d inc" になります。
- -r はマルチメディアリダイレクトです。たとえば、サウンドを有効にするには、-r sound を使用 し、ローカルサウンドカードを使用する場合は、-r sound : local を使用します。また、Udisk を 有効にするには、-r disk:usb=/mnt/usbdevice を使用します。
- -r clipboard:PRIMARYCLIPBOARD: このパラメーターを使用すると、ローカル Linux システム とリモート Windows インスタンスとの間でテキストを直接コピーアンドペーストすることができ ます。漢字もサポートされます。
- -r disk:sunray=/home/yz16184: これは、ローカル Linux システム上の特定のディレクトリが Windows ハードディスクにマップされることを表します。これにより、Samba や FTP を介さず にファイルを転送できます。

マネジメントターミナルの使用

操作手順はローカル Windows OS の場合と同じです。

Mac OS X からのログイン

Mac OS X 用のリモートデスクトップ接続ユーティリティをダウンロードし、インストールしてください。.

モバイルアプリからのログイン

スマートフォンにインストールしたリモートデスクトップアプリからログインすることができます。たとえ ば、iPhone ユーザーは App Store から **Microsoft リモートデスクトップ**をダウンロードし、それを使用 して Windows インスタンスにログインできます。

ログインパスワードを忘れた場合は、どうしたらよいですか

0

インスタンスのログインパスワード (マネジメントターミナルのパスワードではなく) を忘れた場合は、「パ スワードのリセット」を参照してください。

モバイルデバイス上からインスタンスへの接続

このドキュメントでは、モバイルデバイス上のECSインスタンスに接続する方法について説明します。手順は、インスタンスのオペレーティングシステムによって異なります。

Linuxインスタンスへの接続:iOSデバイス上のLinuxインスタンスへの接続方法を記述する例とし てSSH Control Liteを、JuiceSSHをAndroidデバイス上のLinuxインスタンスに接続する方法につ いて説明しています。

Windowsインスタンスに接続する: Microsoft Remote Desktopを例として、iOSまたは Androidデバイス上のWindowsインスタンスに接続する方法を説明します。

Linuxインスタンスに接続する

前提条件

インスタンスに接続する前に、次の点を確認してください。

- インスタンスの状態は Running です。
- インスタンスにはパブリックIPアドレスがあり、パブリックネットワークからアクセスできます。
- インスタンスのログインパスワードを設定済みです。パスワードが失われた場合は、インスタンス パスワードをリセットする必要があります。
- インスタンスのセキュリティグループには、次のセキュリティグループルールがあります。

ネッ NIC ルー 承認	プロ ポー	認可 権限	優先
トワ NIC ルの ポリ	トコ ト範	タイ オブ	

ーク のタ イプ		方向	シー	ルタ イプ	囲	プ	ジェ クト	
VPC	設定 不要					アドレス		
クラ シッ ク	イン ター ネッ ト	イン バウ ンド	許可 する	SSH (22)	22/2 2	ノードのクス	0.0.0. 0/0	1

- 適切なアプリをダウンロードしてインストールしました:

- iOSデバイスにはSSH Control Liteがインストール済みになっています。
- Android搭載端末にはJuiceSSHがインストール済みになっています。

手順

iOSデバイスについては、SSH Control Liteを使用したLinuxインスタンスへの接続を参照してください。この例では、ユーザー名とパスワードが認証に使用されます。

Androidデバイスの場合は、JuiceSSHを使用してLinuxインスタンスに接続を参照してください。この例では、ユーザー名とパスワードが認証に使用されます。

SSH Control Liteを使用してLinuxインスタンスに接続する

SSH Control Liteを使用してLinuxインスタンスに接続するには、次の手順を実行します。

- 1. SSH Control Lite を起動し、 Hosts をタップします。
- 2. Hosts ページの左上隅にある + アイコンをタップします。
- 3. アクションシートで、Connectionをタップします。
- 4. Connectionページで、接続情報を設定し、Saveをタップします。次の接続情報が必要です。
 - Name:ホスト名を指定します。 この例では、DocTestが使用されています。
 - Protocol: デフォルト値 SSH を使用してください。
 - Host : 接続するLinuxインスタンスのパブリックIPアドレスを入力します。
 - Port: SSHプロトコルのポート番号を入力します。この例では22 が使用されています。
 - Username: ユーザー名は root と入力します。
 - Password:インスタンスのログオンパスワードを入力します。
- 5. ツールバーで、 Remote Controls をタップします。
- 6. Remote Controlsページで、左上隅の + アイコンをタップしてリモート接続セッションを作成し ます。 この例では、New remoteが使用されています。
 - 次の図は、手順1~6を示しています。



- 7. New remoteページで、 Host1 をタップします。
- 8. アクションシートで、 Bind をタップします。
- 9. 新しいLinuxインスタンスを選択します。この例では、 DocTest を選択します。
- 10. New Remoteページで、DoneをタップしてEditモードに切り替え、 DocTest をタップします。
- アクションシートで、 Connect をタップします。
 次の図は、手順7~11を示しています。



- 12. アクションシートで、**Yes, Once**または**Yes, Permanently**を選択します。接続が成功すると、 **DocTest** の前のインジケータが緑色に変わります。
- 13. New remoteページで、 DocTest をタップします。
- 14. アクションシートで、 **Console** をタップしてLinuxインスタンスコンソールを開きます。 次の図は、手順12~14を示しています。



この手順で、Linuxインスタンスに接続可能です。

JuiceSSHを使用してLinuxインスタンスに接続する

JuiceSSHを使用してLinuxインスタンスに接続するには、次の手順を実行します。

1. JuiceSSH を起動し、Connectionsをタップします。



2. Connectionsタブで、 + アイコンをタップします。



3. New Connectionページで接続情報を追加します。



報が必要です。

- **Name** :接続セッションの名前を指定します。この例では、**DocTest**が使用されていま す。
- Type: デフォルト値 SSH を使用します。
- Address: 接続するLinuxインスタンスのパブリックIPアドレスを入力します。
- Identityを設定するには、次の手順を実行します。
 - a. ID をタップし、ドロップダウンリストでNewをタップします。
 - b. New Identityページで、次の情報を追加します。



- NickName:オプション。管理を容易にするためにニックネームを 設定することができます。この例では、DocTestが使用されていま す。
- Username: ユーザー名は root と入力します。
- Password: SET (OPTIONAL) をタップし、インスタンスのログ オンパスワードを入力します。
| Nickname: D | ocTest |
|--|---|
| Username: r | oot |
| Password: | UPDATE / CLEAR |
| Private Key: | SET (OPTIONAL) |
| SNIPPET | |
| JuiceSSH Pro
automatically
to a servers ~/
correct permis | users can take advantage of an
generated snippet to add a public key
/.ssh/authorized_keys file and set the
sions. |
| | GENERATE SNIPPET |
| | |
| | |

- Port: SSHプロトコルのポート番号を入力します。この例では、 22 が使用されてい す。

← Nev	v Connection	3
BASIC SETT	INGS	
Nickname:	DocTest	
Type:	SSH	-
Address:	121.48.176.212	
Identity:	DocTest	*
ADVANCED	SETTINGS	
Port:	22	
Connect Via:	(Optional)	*
Run Snippet:	(Optional)	*
Backspace:	Default (sends DEL)	*
GROUPS		
	ADD TO GROUP	

4. メッセージを確認し、 ACCEPT をタップします。



5. (オプション)最初の接続の場合、アプリケーションはフォント設定などのヒントを提供します。 メッセージを確認し、 **[OK]** をタップしてください。



この手順で、Linuxインスタンスに接続可能です。



Windowsインスタンスに接続する

このセクションでは、アプリケーションを使用してモバイルデバイス上のWindowsインスタンスに接続する 方法を説明するために、Microsoft Remote Desktopを例として取り上げます。

前提条件

インスタンスに接続する前に、次の点を確認してください。

- インスタンスの状態は Running です。
- インスタンスにはパブリックIPアドレスがあり、パブリックネットワークからアクセスできます。
- インスタンスのログインパスワードを設定済みです。パスワードが失われた場合は、インスタンス パスワードをリセットする必要があります。
- インスタンスのセキュリティグループには、次のセキュリティグループルールがあります。

ネッワ ークタ イプ	NIC	ルー ルの 方向	承認 ポリ シー	プロ トコ ルタ イプ	ポー ト範 囲	認可 タイ プ	権限 オブ クト	優先
VPC	設定 不要					アドレス		
クラ シッ ク	イン ター ネッ ト	イン バウ ンド	許可 する	RDP (33 89)	3389 /338 9	ノィル ードのアセ ス	0.0.0. 0/0	1

- Microsoft Remote Desktopをダウンロードしてインストールします。

- iOSデバイスの場合は、iTunesからアプリをダウンロードしてください。
- Android搭載端末の場合は、Google Playからアプリをダウンロードしてください。

手順

Microsoftリモートデスクトップを使用してWindowsインスタンスに接続するには、以下の手順を実行します。



2 >
>
>

[Edit Desktop]ページで接続情報を入力し、[Save]をタップします。次の接続情報が必要です。

- PC name: 接続するWindowsインスタンスのパブリックIPアドレスを入力します。
- User Account: Windowsインスタンスのアカウント名 administrator とログオンパス

Cancel	Edit Desktop	3 ^{Save}
PC Name		116.62.295.129 >
User Account		administrator >
Additional Options		>

Remote Desktopページで、Windowsインスタンスのアイコンをタップします。



確認ページで、メッセージを確認して[同意する]をタップします。

Reject	6 Accept
iZ	Not Verified
Client Authentication	Expires 04/23/2018 08:54:55
More Details	>
Don't ask me again for connection	on to this computer.

この手順で、Linuxインスタンスに接続可能です。

インスタンス

インスタンスの作成

インスタンスの作成

インスタンスの作成

Linux インスタンス、Windows インスタンス、またはカスタムイメージからインスタンスを作成できます。詳細は下記を参照して下さい。

- 新しいインスタンスを作成する手順については、「クイックスタート」を参照してください。
- カスタムイメージからインスタンスを作成する手順については、「イメージを使用したインスタン スの作成」を参照してください。

イメージを使用したインスタンスの作成

既存の ECS インスタンスと同じオペレーティングシステム、ソフトウェアアプリケーション、およびデー タを持つインスタンスを作成するには、既存の ECS インスタンスのコピーをカスタムイメージとして作成 し、それを使用して新しいインスタンスを作成できます。この方法は展開効率を向上させることができます 。

前提条件

- イメージとインスタンスが同じリージョンにある場合は、次のいずれかの方法を使用してカスタム イメージを作成できます。
 - イメージのインポート
 - インスタンスからカスタムイメージの作成
 - スナップショットからカスタムイメージの作成

操作手順

ECS管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、[**インスタンス**]を選択します。

ページの右上にある[インスタンスの作成]をクリックします。

購入ページで、

- 希望する課金方法、対象リージョン、インスタンスタイプ、ネットワークタイプ、およびその他のパラメータを選択します。詳細については、クイックスタートを参照してください。
- カスタムイメージを選択します。

注:選択したカスタムイメージに複数のデータディスクスナップショットが含まれ ている場合、同数のデータディスクが自動的に作成されます。デフォルトでは、各 データディスクのサイズはソーススナップショットのサイズと同じです。データデ ィスクのサイズを増やすことはできますが、減らすことはできません。

[今すぐ購入]をクリックします。

gn5インスタンスを作成する

gn5タイプファミリーの紹介

gn5型のさまざまな型の詳細については、Elastic Compute Serviceの*Product Introductionのインスタン* スタイプファミリー を参照してください。

gn5型のインスタンスを作成する

ECS (Elastic Compute Service) のクイックスタートで ステップ 2. インスタンスの作成で説明した手順 に従って、gn5タイプファミリのインスタンスを作成します。インスタンスを作成するときは、次の項目に 注意してください。

- **リージョン**: 現在、GN5は次の地域で利用可能です:中国東部1、中国東部2、中国北部2、中国南部1、米国東部1(バージニア)、米国西部1、香港、アジア・パシフィックSE1、アジア太平洋 SE 2、ドイツ1
- **ネットワークタイプ**: VPCは、仮想プライベートクラウドネットワークでgn5を使用できるため選 択します。
- インスタンスタイプ: Generation IIIの下にあるGPU Compute Type gn5)を選択します。
- **ネットワーク帯域幅**: 必要に応じてピーク帯域幅を選択します。

Windows 2008 R2イメージを使用していて、gn5タイプのインスタンスに接続する場合は、 ECSコンソールにある**管理端末**を使用してgn5タイプのインスタンスに接続できないため、イ ンスタンスのインターネットアクセスを有効にする必要があります。インターネットIPアドレ スをインスタンスに割り当てる場合は、ピーク帯域幅を0 Mbpsに設定しないでください。

- イメージ: 必要に応じてイメージを選択します。

GPUドライバをダウンロードしてインストールする

gn5タイプファミリのインスタンスを使用する前に、そのインスタンスのGPUドライバをインストールする 必要があります。手順に従って、GPUドライバをダウンロードしてインストールします。

オペレーティングシステムとP100 GPUに対応するドライバをダウンロードするには、NVIDIA公 式サイトを参照してください。ダウンロードURL: http://www.nvidia.com/Download/index.aspx?lang=en-us.

手動でインスタンスのドライバを検索します。パラメータを次のように設定します。

- 製品タイプ: Tesla
- 製品シリーズ: P-Series
- 製品: Tesla P100
- オペレーティングシステム: インスタンスイメージによる対応バージョン
 - オペレーティングシステムがドロップダウンリストに表示されない場合は、ドロップダウンリストの下部にあるすべてのオペレーティングシステムの表示をクリックします。
 - インスタンスがリストにないLinuxイメージを使用する場合は、Linux 64bitを選択します。

NVIDIA Drive	r Downloads	
Option 1: Manually find	drivers for my NVIDIA products.	Help
Product Type:	Tesla 🔻	
Product Series:	P-Series v	
Product:	Tesla P100	
Operating System:	Show less Product Series Windows 10 64-bit Windows 7 64-bit Windows Server 2008 R2 64 Windows Server 2012 R2 64 Windows Server 2016 Linux 64-bit RHEL6 Linux 64-bit RHEL7 Linux 64-bit RHEL7 Linux 64-bit RHEL1 Linux 64-bit Subuntu Linux 64-bit Subuntu Linux 64-bit Ses 12 Linux 64-bit Ses 13.2 Show less Operating Systems	
CUDA Toolkit:	8.0	·
Language:	English (US)	SEARCH

検索をクリックします。

情報を確認したら、**ダウンロード**をクリックしてください。

GPUドライバをインストールするには、ダウンロードページに**ADDITIONAL INFORMATION**を 入力します。

ESLA DRI	VER FOR LI	NUX OPENSUSE 13.2	
rsion: lease Date: erating System nguage: e Size: DOWNLOAD	375.66 2017.5.9 : Linux 64-bit Opens English (US) 133.05 MB	suse 13.2	
DOWNEDAD			
RELEASE	HIGHLIGHTS	SUPPORTED PRODUCTS	
RELEASE	HIGHLIGHTS	SUPPORTED PRODUCTS	
RELEASE ADDITIONAL Once you accept	HIGHLIGHTS INFORMATION the download please	SUPPORTED PRODUCTS	
RELEASE ADDITIONAL Once you accept i) `rpm -i nvidia	HIGHLIGHTS INFORMATION the download please -diag-driver-local-repo	SUPPORTED PRODUCTS follow the steps listed below p-opensuse132-375.66-1.x86_64.rpm'	
RELEASE ADDITIONAL Once you accept i) `rpm -i nvidia ii) `zypper refre	HIGHLIGHTS INFORMATION the download please •diag-driver-local-repo sh`	SUPPORTED PRODUCTS follow the steps listed below 0-opensuse132-375.66-1.x86_64.rpm'	
RELEASE ADDITIONAL Once you accept i) `rpm -i nvidia ii) `zypper refre iii) `zypper insta	HIGHLIGHTS INFORMATION the download please diag-driver-local-repo sh` ill cuda-drivers`	SUPPORTED PRODUCTS follow the steps listed below 0-opensuse132-375.66-1.x86_64.rpm	

Notes

Windows 2008 R2以前のバージョンの場合、GPUドライバのインストール後、EC Sコンソールで接続をク リックして、管理端末を入力すると、管理端末 は黒い画面またはスタートアップインターフェイスになりま す。インスタンスがインターネットにアクセスできる場合は、マイクロソフトが開発したリモートデスクト ッププロトコルなどの他のプロトコルを使用して、ECSインスタンスにリモートで接続する必要があります 。

SCC インスタンスの作成

スーパーコンピューティングクラスタ (SCC) は現在、インビテーション方式で利用可能です。それらを使用 するには申し込みする必要があります。

SCC は、 ECS Bare Metal (EBM) インスタンスに基づいています。 RDMA (Remote Direct Memory Access)技術の高速相互接続性を利用して、 SCC はネットワーク性能を大幅に改善し、大規模クラスタの 加速率を向上させます。したがって、 SCC には EBM インスタンスの利点がすべてあり、高帯域幅と低レ イテンシの高品質ネットワークパフォーマンスを提供できます。詳細は、 ECS ベアメタルインスタンスと スーパーコンピューティングクラスタを参照してください。

この資料では、 SCC インスタンスを作成する際の考慮事項について説明します。 SCC インスタンスの作成の詳細については、インスタンスの作成を参照してください。

SCC インスタンスを作成するときは、次の点を考慮する必要があります。

リージョン:現在、上海 (中国東部 2) のゾーン D のみが SCC インスタンスを提供しています。

インスタンスタイプ:現在、 scch5 タイプのみが利用可能です。インスタンスタイプの詳細については、インスタンスタイプファミリーを参照してください。

イメージ:アカウントに SCC インスタンスを作成する権限が与えられている場合、 Alibaba Cloud ECS はいくつかのイメージを共有し、そのイメージのみが有効です。**共有イメージ**をクリ ックし、イメージを選択します。 CentOS 7.4 のみがサポートされています。

ストレージ: SCC は最大 16 のデータディスクをサポートします。

ネットワーク: VPC のみが SCC をサポートしています。

EBM インスタンスを作成する

ECS Bare Metal (EBM) Instance は、こちらで購入できます。

EBM Instance のインスタンスタイプの詳細については、インスタンスタイプファミリ をご参照ください。

この記事では、EBM Instance を作成する際の考慮事項について説明します。EBM Instance の作成の詳細 については、ECS Instance の作成 をご参照ください。

EBM Instance を作成するときは、次の点を考慮する必要があります。

リージョン:現在、**北京(中国北部2)、上海(中国東部2)**の**ゾーン D**が EBM Instance を提 供しています。

インスタンスタイプ:現在、ebmg5 タイプファミリのみが利用可能です。インスタンスタイプの 詳細については、インスタンスタイプファミリ をご参照ください。

イメージ:以下のパブリックイメージのみサポートしています。

• Linux :

• CentOS 7.2/7.3/7.4/6.9/6.8 64 ビット

- Ubuntu 14.04/16.04 64 ビット
- Debian 8.9/9.2 64 ビット
- OpenSUE 42.3 64 ビット
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2 64 ビット
- Aliyun Linux 17.1 64 ビット
- Windows :
 - 2016 データセンター版 64 ビット中国語版
 - 2016 データセンター版 64 ビット英語版
 - 2012 R2 データセンター版 64 ビット中国語版
 - 2012 R2 データセンター版 64 ビット英語版

ストレージ: EBM インスタンスは最大 16 のデータディスクに対応しています。

ネットワーク: EBM インスタンスは VPC でのみ利用可能です。

インスタンス情報の表示

コンソールでは、次の ECS インスタンスを表示できます。

[概要]ページで、すべてのリージョンのすべての ESC インスタンスとそのアカウントのステータス。

[インスタンスリスト]ページの異なるリージョンにあるすべての ECS インスタンスの情報。

[インスタンス詳細]ページの ECS インスタンスの詳細情報。

概要ページでアカウントのすべての ECS インスタンスを表示

アカウントで作成されたすべての ECS インスタンスの情報は、ECS 概要ページで表示できます。

ECS インスタンスの総数と異なるステータスのインスタンス数

異なるリージョンのリソース数と異なるステータスの ECS インスタンス数。

[ECS コンソール]のホームページは、デフォルトで概要ページです。

インスタンスリストページの指定されたリージョンにあるすべての ECS インスタンスを表示

インスタンスリスト ページに移動するには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール]にログオンします。

左側のメニューで、[インスタンス]をクリックします。

リージョンを選択してください。

ECS インスタンス ID /名前、ゾーン、IP アドレス、ステータス、ネットワークタイプ、課金方法、アクシ ョンなど、選択したリージョンの既存のすべての ECS インスタンスの情報が表示されます。 表示アイテム の設定機能を使用すると、インスタンスの表示情報を表示または非表示にすることができます。



インスタンスリストの右上隅にある

クします。

表示項目 のダイアログボックスで、表示するインスタンス情報を選択し、 OK をクリックします。

表示項目		×
✓ os	 ビモニター ビゾーン ビョアドレス 	
🗷 ステータス	 マークタイプ マークタイプ マペック マークタイプ マペック 	
	☑ インスタンスタイプファミリー ☑ 支払い方法	
✓ 自動更新		
		ок

インスタンスの詳細ページで ECS インスタンスの詳細を表示

インスタンスの詳細に移動して、ECS インスタンスの詳細情報を表示することができます。 インスタンスの詳細ページに移動するには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール]にログオンします。

左側のメニューで、[**インスタンス**]をクリックします。

リージョンを選択してください。

詳細を表示する ECS インスタンスを見つけて、そのインスタンス ID をクリックします。

インスタンスの詳細ページでは、次の情報を表示できます。

基本情報 ECS インスタンス ID、インスタンス名、リージョン、ゾーン、インスタンスタイプ、インスタンスタイプファミリ、イメージ ID、キーペア名 (Linux インスタンスのみに適用)、インスタンス RAM ロール、およびタグ 。

設定情報 CPU、メモリ、I/O 最適化、オペレーティングシステム、IP アドレス、帯域幅の課金方法、現在の帯域幅、および VPC ネットワーク情報 (VPC インスタンスのみに適用されます)。

支払い情報請求方法、インスタンスを停止するモード、作成時間、および自動リリーススケジュール(従量課金インスタンスのみに適用されます)。

モニタリング情報 CPU およびネットワークの使用状況。

インスタンスの詳細ページから**インスタンスディスク、インスタンススナップショット、セキュリティグル** ープページに切り替えて、このインスタンスに関連するリソースを表示することもできます。

オペレーティングシステムの変更

オペレーティングシステムの変更

管理コンソールを使用して、インスタンスの既存 OS を希望の OS に変換することができます。詳細は、シ ステムディスクの変更(カスタムイメージ) または システムディスクの変更(パブリックイメージ) を参 照してください。

注:中国本土以外のリージョンでは、Linux と Windows 間の変換をサポートしていません。インスタンス がこれらのリージョンにある場合、Linux と Windows 間の変換ができませんが、Windows バージョンの 変更、または既存の Linux OS を別の Linux OS に置き換えることができます。

設定のアップグレード

EIPの帯域幅を変更

Elastic IP (EIP) アドレスがバインドされているの VPC インスタンスを使用している場合は、帯域幅の変 更機能を使用してインターネット帯域幅をいつでも変更できます。この機能は、インスタンスの請求方法に 関係なく使用できます。

制限

帯域幅を変更機能は、EIP アドレスがバインドされている VPC インスタンスにのみ適用されます。

手順

EIP アドレスのインターネット帯域幅を変更するには、次の手順を実行します。

ECSコンソールにログオンする。

左側のナビゲーションペインで、[インスタンス]をクリックします。

リージョンを選択してください。

EIP アドレスがバインドされているインスタンスを検索し、 **アクション** 列で **設定の変更** をクリ ックします。

設定変更のダイアログボックスで、帯域幅を変更を選択し、次へをクリックします。

アップグレードページで、新しいピーク帯域幅を設定します。

有効化 をクリックします。

関連する操作

EIP アドレスがバインドされていない Classic ネットワークタイプまたは VPC インスタンスのサブスクリ プションインスタンスの場合、次の機能を使用してインターネット帯域幅を変更できます。

Upgrade Configuration 機能を使用して、すぐにインターネットの帯域幅を変更してください。

設定のダウングレードの更新機能を使用して、次の請求期間のインターネット帯域幅を変更します。

インスタンスのパスワードのリセット

インスタンスのパスワードのリセット

インスタンスを作成する際にパスワードを設定しなかった場合、またはパスワードを忘れた場合は、インス タンスのパスワードをリセットできます。 - Windows インスタンスでは、デフォルトユーザー名は *Administrator* です。 - Linux インスタンスでは、デフォルトユーザー名は *root* です。

注意:パスワードがリセット後、インスタンスの再起動が必要です。サービスへの影響を最小限にする ため、リセット操作はメンテナンスの時間で実施することをお勧めします。

手順は次のとおりです。

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 目的のインスタンスを選択します。複数のインスタンスを選択できますが、すべて同じステータス である必要があります。
- 5. [パスワードのリセット] をクリックします。
- 6. 表示されるダイアログボックスで、新しいパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
- 7. パスワードを変更したインスタンスを選択し、[**再起動**] をクリックします。インスタンス内ではな く、コンソールでインスタンスを再起動しなければ、新しいパスワードは有効になりません。
- 8. 表示されるボックスで [OK] をクリックして、インスタンスを再起動します。

インスタンスの起動、表示、停止

この記事では、インスタンスを起動、表示、および停止する方法について説明します。

インスタンスの起動

コンソールでは、実際のサーバーと同じようにインスタンスを起動できます。

- 1. [ECS 管理コンソール]にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 目的のインスタンスを選択します。複数のインスタンスを選択できますが、すべてのインスタンス が同じステータスになっている必要があります。

5. [起動] をクリックします。

インスタンスの表示

コンソールを使用して、ユーザーのすべてのインスタンスを表示することができます。次の情報が表示されます。

- 各リージョン内のインスタンスの数と実行ステータス
- 特定のインスタンスに関する情報:
 - •基本、設定、支払い、モニタリングの情報
 - ディスク
 - スナップショット
 - セキュリティグループ

インスタンスを表示する手順は、以下のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール]にログインします。
- 2. [概要] ページで、すべてのリージョンの ECS インスタンスの実行ステータスを確認できます。
- 特定のインスタンスの詳細を確認するには、左側のナビゲーションバーで [インスタンス] をクリ ックし、ページの一番上でリージョンをクリックします。次に、確認する [インスタンス] の名前 をクリックします。
- 4. そのインスタンスについての詳細を確認できます。さらに、ページの右側ではインスタンスの CPU およびネットワーク使用状況をモニターできます。

以下の情報のようなインスタンスに関する様々な情報を確認することができます。

- リージョン
- ゾーン
- 構成の詳細
- 支払い状況
- CPU
- ネットワーク使用

さらにディスク、スナップショットやセキュリティグループの情報も確認できます。

インスタンスの停止

注意:

- インスタンスが停止後でも課金されるため、課金を止めるのはインスタンスのリリースが必要です。
- 停止操作は、[実行中] ステータスのインスタンスに対してのみ行うことができます。
- 停止操作を実行すると、インスタンスが停止し、業務が中断されることになるため、注意してくだ さい。

手順は次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール]にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [インスタンス] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 目的のインスタンスを選択します。複数のインスタンスを選択できますが、すべて同じステータス である必要があります。
- 5. [停止] をクリックします。

- 6. 表示されるダイアログボックスで [**停止**] をクリックし、[**OK**] をクリックします。
- 7. 携帯電話に送信された検証コードを入力し、[**OK**] をクリックします。

インスタンスの再起動

コンソールでは、実際のサーバーと同じようにインスタンスを再起動できます。

注意:

- 再起動操作は、実行ステータスのインスタンスにのみ実行できます。
- 再起動によってインスタンスの動作が停止し、業務が中断されることになるため、注意して実行してください。

手順は次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 目的のインスタンスを選択します。複数のインスタンスを選択できますが、すべて同じステータス である必要があります。
- 5. [再起動] をクリックします。
- 6. 表示されるダイアログボックスで [再起動] をクリックし、[OK] をクリックします。

インスタンスのリリースと自動リリースの無効 化

インスタンスのリリース

不要になった従量課金インスタンスは、すぐにリリースすることをお勧めします。従量課金インスタンスは、 , 停止状態でも課金は継続され、リリースによって課金が終了します。

ただし、VPCタイプインスタンスの場合、 **停止済みインスタンスの非課金化**機能を有効にすることができま す。この機能を有効にすると、VPCタイプインスタンスは作成後に秒単位で請求され、**停止済み**ステータス のときに請求が停止され、再開すると再び請求が開始されます。インスタンスタイプ料金を除き、この機能 は他のECSリソースには適用されません。

不要になったインスタンスは、リリースすることができます。これには、次の2つの方法があります。

- 即時リリース: 従量課金インスタンスをすぐにリリースします。
- 時刻指定リリース: 将来のリリース日時を指定して、従量課金インスタンスをリリースします。この日時は、時間単位で設定します。設定をリセットして、前の日時を上書きすることもできます。 インスタンスは毎時、正時と 30 分にリリースされますが、システムは指定したリリース日時に基づいて課金を停止することに注意してください。

手順は次のとおりです。

ECS 管理コンソールにログインします。

左(則のナビ	ゲーショ	ンハ	х <u> —</u>	で「	インス	タン	マーを	モクリック	っします。				
ω	ホーム プロダクトと					Q.検索 🌲 🖸	AccessKeys	テクニカルサオ		>ト → sbmgrp-sbclou**			oftbar	
	Elastic Compute Serv	インスタンスリスト	China South	1 (Shen:	then) Singapor	e China North 1 (Qir	ngdao) China	North 2 (Beijing)	China East 2 (Shanghai) US	East 1 (Virginia) Hong Kong				Í
	板要		China East 1	(Hangzh	iou) Asia Padifi	c NE 1 (Japan) US W	/est 1 (Silicon \	/alley)			0	インス・	タンスを	effect
	インスタンス	インスタンスタ	• 1	ンスタンフ	《名示入力	_	18 <u>5</u>	ねだ			1210197		2 0	2
0	 フロックストレージ クラウドディスク 											8	-	
*	▼ スナップショット	インスタンス ID/名	181	モニター		ロ アドレス	ステータス (すべて) -	ネットワークタイ ブ(すべて) ▼	スペック	VPC 属性	支払い方法 (すべて) ▼	更新	アク	ション
€	スナップショット 自動スナップショット…	Aliyun_LInux_Tes	. 6	9 ⊾	Asia Pacific NE 1 Zone A	ターネット) ライベート)	● 実行中	仮想プライベート クラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の厳違 化) 1 Mbps (ビーク機)	vpc-	従量課金 17-04-24 09:58 作成	1	御理	VNC 詳細→
4 9 5	イメージ ¹¹ セキュリティグループ タグの管理	a and a second		2 ₩	Asia Pacific NE 1 Zone A	ーネット) ライベート)	● 停止済み	仮想プライベート クラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適 化) 30 Mbps (ピーク徳)	vpc-	サブスクリプ ション 17-05-24 01:00 有効 期限	無効	18理	更新 詳細▼

ページの一番上でリージョンを選択します。

1:	ンスタンス	スを選択し	て、右側	のアク	ション	ン列の	「詳細」・	「リリー	ス」を	E クリッ	ックします。
	Elastic Compute Serv	サービス・ インスタンスリスト China	South 1 (Shenzhen) Singap	ore China North 1 (Qi	AccessKeys	テクニカルサイ North 2 (Beijing)	China East 2 (Shanghai) US	East 1 (Virginia) Hong Kong		⊉g.softbank.co.jp ◄	I
	位要	China	East 1 (Hangzhou) Asia Par	afic NE 1 (Japan) US N	West 1 (Silicon \	(alley)			C 1	ンスタンスを作成	
*	インスタンス ブロックストレージ 	インスタンス名	インスタンス名を入力		検索	90			詳細検索	<u>z</u> o ?	
0 *	クラウドディスク マ スナップショット	インスタンス ID/名前	モニ ター ゾーン	IP アドレス	ステータス (すべて) ・	ネットワークタイ プ(すべて) →	スペック	VPC 属性	自 載 支払い方法 更 (すべて) 、 新	アクション	
*	スナップショット 自動スナップショット…	Aliyun_LInux_Test	😸 🗠 Asia Pacific NE 1 Zone A	ターネット) ライベート)	●東行中	仮想プライベート クラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適 化) 1 Mbps (ピーク値)	vpc- vsw-	従量課金 17-04-24 09:58.作成 記動	管理 VNC 詳細+	
4 4 5	イメージ セキュリティグループ タグの管理	C 12 //	Asia Pacific NE 1 Zone A	ーネット) ーネット) ライベート)	● 停止清み	仮想プライベート クラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最速 化) 30 Mbps (ピーク徳)	vpc-	サ: 停止 シ: 17 再起動 01 パスワードの	ロリセット	
× *	タスク管理	i	Asia Pacific NE 1 Zone A	イン ターネット) ライベート)	● 停止済み	仮想プライベート クラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最速 化) 30 Mbps (ビーク徳)	vpc- vsw- orientations/spacesing	システムディ サ ジ ディスクの戸 17 01 リリース 期 信報の定更	- スクの変更 - 初期化	

表示されるウィンドウで、リリースタイプとして 「即時リリース」または 「時刻指定リリース」

	עש–ג ×
	*リリースアクショ ◎ 即時リリー ◎ 時刻指定リリース ン: ス
を選択します。	次へキャンセル

「時刻指定リリース」を選択した場合は、自動リリースの有無とリリース日時を指定する必要が あります。

「次へ]」をクリックし、「OK」 をクリックします。

自動リリースの無効化

従量課金インスタンスの自動リリースが不要になった場合は、自動リリース機能の設定を無効にすることが できます。

手順は次のとおりです。

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで 「**インスタンス**」をクリックします。

ページの一番上でリージョンを選択します。

インスタンスを選択して、右側の「詳細」をクリックします。次に、「リリース設定」を選択し ます。

表示されるウィンドウで、リリースタイプとして「**時刻指定リリース**」を選択します。

「 自動リリース設定 」オフションをオフにします。	
リリース	×
*リリースアクショ	
自動リリース設定:	
*リリース日: 2017-04-25	
*リリース時刻: 11 🔷: 59 🏠	
注意: リリースを実行する時刻は毎時 00 分と 30 分ですが、 に基づいて停止されます。	課金は指定されたリリース日時
	次へキャンセル

-----. _____ ---

7. 「次へ」をクリックし、「OK」をクリックします。

セキュリティグループへのインスタンスの追加 ・削除

セキュリティグループへのインスタンスの追加

コンソールでは、セキュリティグループにインスタンスを追加できます。1 つの ECS インスタンスは、最 大 5 つのセキュリティグループに属することができます。セキュリティグループにインスタンスを追加する と、そのインスタンスにセキュリティグループルールが自動で適用されます。更新は必要ありません。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 目的のインスタンスを選択し、右側のインスタンス名か対応する [**管理**] をクリックして [インスタンスの詳細] ページに移動します。
- 5. [セキュリティグループ] をクリックします。
- 6. [**セキュリティグループに追加**] をクリックします。表示されるダイアログボックスで、適切なセキ ュリティグループを選択します。
- 7. [**OK**] をクリックします。

セキュリティグループからのインスタンスの削除

ビジネスニーズに基づいて、セキュリティグループからインスタンスを削除できます。1 つのインスタンス は少なくとも 1 つのセキュリティグループに属す必要があります。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 目的のインスタンスを選択し、右側のインスタンス名か対応する [管理] をクリックして [インスタンスの詳細] ページに移動します。
- 5. [**セキュリティグループ**] をクリックします。対象のインスタンスが属するセキュリティグループの リストが表示されます。
- 6. 削除するセキュリティグループを選択し、右側の [**削除**] リンクをクリックします。
- 7. 表示されるダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

セキュリティグループの応用例については 適用シナリオ を参照してください。

Management Terminal からインスタンスへの ログイン

管理端末からインスタンスへのログイン

管理端末は、他のリモート接続ツール (Putty、Xshell、SecureCRT など) が利用できないときに、Linux または Windows インスタンスへのログインに使用できる便利なツールです。適切な技術力を持つユーザー にとって、手軽に問題解決に利用できるセルフサービスツールです。

シナリオ

帯域幅を購入したかどうかにかかわらず、管理端末からインスタンスにログインすることができます。管理 端末はほかにも、以下のシナリオをはじめ、さまざまなケースに適用できます。

インスタンス起動速度が遅いときに、進行を確認する必要がある場合 (例: セルフチェックの実行時)。

インスタンスでのソフトウェア設定エラーが原因で、リモート接続 (Putty など) に失敗し、ファイ アウォールの再設定が必要な場合 (例: 誤操作によるファイアウォールの有効化)。

アプリケーションによる CPU や帯域幅の使用率が高く、リモート接続が妨げられているために、 インスタンスにログインして異常なプロセスを終了させる必要がある場合 (例: ボットネット攻撃に よって CPU または帯域幅が完全に占有された場合)。

手順

ECS 管理コンソール にログインします。

接続するインスタンスに移動します。

右側の [VNC] をクリックします。

ステータス(すべて) 👻	ネットワークタイプ(すべて) 👻	スペック	支払い方法 (すべて) 👻	アクション
🛑 実行中	仮想プライベートクラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適化) 200 Mbps (ピーク値)	従量課金 17-02-08 14:32 作成	管理 詳細▼

初回のログイン時に、管理端末 (VNC) のパスワードが表示されます。このプロンプトは 1 回のみ 表示されます。管理端末にログインする際は、毎回このパスワードを入力する必要があります。パ スワードは忘れないよう、メモしておきます。

パスワードを忘れた場合、または使い慣れているパスワードを使用したい場合は、右上の [**管理端 末のパスワードの変更**] をクリックします。

VNC 接約	む、スワード	×
0	VNC 接続パスワード: 821561	
	警告。VNC 接続パスワードは一度しか表示されません。このパスワードは、その後 VNC にログインするたびに入力する必要があるため、必ず記録してください。 注意: Adobe® Flash® Player プラグインをインストールしていない、もしくはパージョンが 低い場合、[パスワードのコピー] は正しく機能しないため、手動でコピーしてください。	
	パスワードのゴビー 閉じる	

右上の [**リモートコマンドの送信**] をクリックし、[**管理端末への接続**] をクリックします。管理端 末 (VNC) パスワードを入力し、インスタンスに接続します。

★VNC パスワードを入 力してください		
	0K キ +ンセル	V

Linux インスタンスの場合は、ユーザー名とパスワードを入力して、ログインします。画面が真っ 暗な場合は、Linux インスタンスがスリープモードになっています。マウスクリックするか、いず れかのキーを押すと、表示が変わります。

Linux では、Ctrl + Alt + F1 ~ F10 のキーで端末を切り替えることができます。



Windows インスタンスの場合は、管理端末のインターフェイスで、リモートコマンド



Ctrl+Alt+Delete を送信します。Windows へのログインインターフェイスが表示されます。ユー ザー名とパスワードを入力して、ログインします。

パスワードの変更

ECS 管理コンソール にログインします。

接続するインスタンスに移動します。

右側の [VNC] をクリックします。

ステータス(すべて) 👻	ネットワークタイプ(すべて) 👻	スペック	支払い方法 (すべて) ▼	アクション
🛑 実行中	仮想プライベートクラウド	CPU: 1 コア メモリ: 2048 MB (I/O の最適化) 200 Mbps (ビーク値)	従量課金 17-02-08 14:32 作成	管理 詳細 🗸

初回のログイン時に、管理端末 (VNC) のパスワードが表示されます。このプロンプトは 1 回のみ 表示されます。管理端末にログインする際は、毎回このパスワードを入力する必要があります。パ スワードは忘れないよう、メモしておきます。 パスワードを忘れた場合、または使い慣れているパスワードを使用したい場合は、右上の 「管理端

末のパスワードの変更] をクリックしてパスワードを変更しま	ミす。
思い画面が表示されている場合、シフテルけ体正式能です」いぞれかのキーを掴って復帰させてください	谷神健士のパフロードの恋雨

6 文字までのパスワードを入力します。英字の大文字と小文字、さらに数字をサポートしています が、特殊文字は使用できません。

管理コンソールから インスタンスの再起動を実行し、パスワードを有効にする必要があります。 インスタンス内での再起動は無効です。

よくある質問

管理端末は排他的ですか。

はい。1人のユーザーの使用中に、他のユーザーが使用することはできません。

パスワードの変更後に、管理端末からログインできません。なぜでしょうか。 (インスタンス内からではなく) 管理コンソールからインスタンスを再起動し、パスワードを有効に する必要があります。

ログインした後、画面が真っ暗です。どのようにすればよいでしょうか。 真っ暗な画面は、インスタンスがスリープモードであることを示します。Linux インスタンスの場 合は、何かキーを押すと起動します。Windows インスタンスの場合は、リモートコマンド Ctrl+Alt+Del を送信し、ログインインターフェイスに戻ります。

管理端末にアクセスできません。どのようにすればよいでしょうか。 次の手順でトラブルシューティングを行います。Chrome を使用して管理コンソールにログイン し、F12 を押して開発者ツールを開き、コンソール内の情報を確認して問題を分析します。

IE8.0 か Firefox を使用していますが、管理端末を開くことができないのはなぜですか。

IE は 10 以降のみをサポートしています。また、Firefox の一部のバージョンはサポートしていま せん。

この問題を解決するには、最新の IE バージョンをダウンロードするか、代わりに Chrome を使用してください。Chrome は、より適切に管理コンソールをサポートしています。

ECSインスタンスのリリース

ECS インスタンスのリリース(削除)

サブスクリプションタイプと従量課金タイプのリリース方法 の違い

- サブスクリプションの場合:

- 手動でリリース(削除)することはできません。
- ECSの自動更新機能を「OFF」にし、期限が切れた日から15日後インスタンスが停止され、30日後は自動的にリリースされます。

- 従量課金の場合:

- 手動でリリースすることができます。
- 不要になった従量課金のECSインスタンスは、コンソールから手動でリリースすることができます。

操作手順

サブスクリプションECSの場合

サブスクリプションインスタンスのリリース手順をご参照ください。

従量課金ECSの場合

従量課金インスタンスのリリース手順と自動リリースの無効化 をご参照ください。

注意: ECSインスタンスをリリースすると、このECSインスタンスに関連付けられているすべてのリソース が削除されます。また削除されたデータは一切復旧できません。

ユーザーデータとインスタンスメタデータ

ECSインスタンスのRAM役割

サブスクリプションインスタンスのリリース (削除)

サブスクリプション インスタンスのリリース手順

[ECS コンソール]にログインし、リリースするサブスクリプションインスタンスを選択します。

自動更新の列を確認し、下図のように「自動更新1ヶ月」の場合には、更新しない設定が必要です

Elastic Compute Serv	インスタンスリスト	China North 1	(Qingdao) China I	North 2 (Beijing) China h	iorth 3 (Zhi	angjiakou) China Na	orth 5 (Huhehaote)					0	- 450	スタンスを
后开		China East 1 ((Hangzhou) China	East 2 (Shanghai) China	South 1 (S	henzhen) Hong Kor	ig(China)							
インスタンス		Asia Pacific NE	E 1 (Japan) Singap	ore Australia 1 (Sydney)	Asia Pac	ific SE 3 (Kuala Lump	ur)							
プロックストレージ クラウドディスク		Asia Pacific SC	OU 1 (Mumbei) US	East 1 (Virginia) US We	it 1 (Silicon	Valley) Dubai								
スナップショット&イー	* インスタンス属性を	羅択するか、キー	ワードを直接入力しま	<i>σ</i> .	Q	90						194	副検索	<u>z</u> o
スナップショット	日 インスタンス ID/名	10 T=1	タ ゾーン	IP アドレス	ステータス・	ネットワークタイプ ・	スペック	ターインスタンスタイプファ グーミリー	VPC 腐性	支払い方法 -	自動更 = 新 3	‡べ S ア ⊮	top nstance	PS
イメージ ネットワーク&セキュー	ー pwd再設定と自由利	RFI 🖊	Asia Pacific NE 1 Zone A	(インターネ ット) 172.24.102.40(プライベ ート)	 ¥i74 	, 仮想プライベートク ラウド	CPU:1コア メモリ: 1GB(I/O の暖達化) 30 Mbps(ピーク値)	ecs.xn4.small コンパクトタイプ	vpc- 6we130133vopg26gm001m vsw- 6wewkmvhrfcejfq763mf2	サブスクリプション 18-03-03 01:00 有 双瞬間	更新し ない			管理 更新
ネットワークインター セキュリティグループ	pwd再設定と自由利	用可 💠 🗠	Asia Pacific NE 1 Zone A	(エラスティッ ク) 172.24.101.143(プライ	• Ri74	仮想プライベートク ラウド	CPU:1コア メモリ: 2 GB (I/O の最適化) 1 Mbps (ビーク値)	ecs.n4.small 一般共有タイプ	vpc- 6we130133vopgz6gm001m v8w-	サブスクリプション 18-04-20 01:00 有 効期限	自動更 新 1ヶ月			管理 更新

左側のナビゲーションにある「Billing Management」をクリックし、開いた画面の「**サブスクリ プション更新**」をクリックします。

۵	Anti-DDoS Service	料金・支払い管理	利用状況
Q	Resource Access Ma	利用状況	
ж,	Auto Scaling	 料金詳細 	2018年03月 🔻
٠	Express Connect	注文履歷	
භ	Resource Orchestra…	▶ リソースパッケージ管理	2018 年 03 月 使用状況
0	DataWorks	使用状況レコード	CDN
۲	Alibaba Cloud DNS	サブスクリプション東新	OSS VPC
V	DataV	ウリハクラクラッションとも	100.0% ODPS
\$	Key Management S…	レロンガマラート	CDN SLS RDS
٩	Log Service	とリンジアリート	
۲	SSL Certificates	Alibaba Cloud AL Store	
۵	ApsaraDB for Memc…	=	2010 4 03 75 281 286. 4 0.000 371
۲	Container Service		
6	NAS		Alibaba Cloud CDN 会社
0	Action Trail		
-	サービス 💠		Elastic Compute Service (ECS) 合計
	Account		Object Storage Service (OSS) 合計
3	Billing Management		Virtual Private Cloud (VPC) 승計
8	Message		Open Data Processing Service (ODPS) 合計
1	Support Center		
	ICR Filing Managemus		ApsaraDB for Redis (KVStore) 合計

新しいタグの中に、「**自動更新**」をクリックし、自動更新のステータスを変更する画面が表示され

	ECS ApsaraDB for RDS	すべての期間 ~ すべてのり	-9a> V				インスタンスID 〜	インスタンスIDを入力してくだ: Q
	ApsaraDB for Redis	Ŧ	動更新		自動更新			折しない
	MaxCompute	自動更新するインスタンス:1						
		インスタンスID	インスタンスステータス リ	ージョン	有効期限	残り日数	更新サイクル	操作
		ai	実行中 日	*	2018-04-20 01:04	45日	1月	自動更新を変更する
		日勤更新を変更する	更新しないと設定する					1件 〈前へ 1 次へ〉
ます。	4							

更新しない				×
リソースを管理するため、 ソースはマークされます。 更新しないことを選択した スタンスが停止する前にし	全リソ を場合は いつでも	ースの期限切れ通知メー 、インスタンスが 終了す 設定を変更できます。	ルが送信されますが、 <mark>る前に1回だけ通知</mark> さ	更新しないリ れます。イン
以下の製品が設定されます。	更新しな	201		
インスタンスID		有効期限		残り日数
В	Bii	2018-04-20 01:04		45日
			設定しない	更新しない

自動更新を無効に設定して、「**更新しない**」をクリックします。

tic Compute Serv	インスタンスリスト Chin	a North 1 (I	Qingdao) China N	iorth 2 (Beijing) Ch	na North 3 (Zha	angjiakou) China M	iorth 5 (Huhehaote)						о <u>к</u> о	292288	27R
	Chin	a East 1 (H	angzhou) China E	iast 2 (Shanghai) C	hina South 1 (S	henzhen) Hong Ko	ing(China)								
ノスタンス	Asia	Pacific NE 1	L (Japan) Singapo	ore Australia 1 (Syd	ney) Asia Pac	ific SE 3 (Kuala Lum	pur)								
コックストレージ	Asia	Pacific SOU	I 1 (Mumbai) US	East 1 (Virginia) US	West 1 (Silicon	Valley) Dubai									
ップショット&イー	 インスタンス層性を選択する 	あか、キーワ	ードを直接入力しま?	r.	Q	90							詳細検索	2 O	?
ナップショット 約フナップショット	◎ インスタンス 10/名前	モニタ -		IP アドレス	ステータ ス *	ネットワークタイフ *	スペック		タ インスタンスタイプファ グ ミリー	VPC 属性	支払い方法 マ	自動更 キー 新 ア	K Stop Instance	アクシ	-
×ージ トワーク&セキュ…	。 pwd再設定と自由利用可	¢ E	Asia Pacific NE 1 Zone A	(インタ ット) 172.24.102.40(プラ ート)	-* イベ • 第行中	仮想プライベートの ラウド	CPU:1コア メモリ: の最適化) 30 Mbps (ビーク徳)	1 GB (I/O	ecs.xn4.smäll コンパクトタイプ	vpc- 6we130133vopgz6gm001m vsw- 6wewkmvhrfcejfq763mf2	サブスクリプション 18-03-03 01:00 有 炊期間	累新し ない		管理 \ 更新 1	NC WHE -
ットワークインター キュリティグループ	pwd再設定と自由利用可	ø 🗠	Asia Pacific NE 1 Zone A	(エラスラ ク) 172-24-101-143(プ	イツ ライ • 東行中	仮想プライベートウ ラウド	CPU:1コア メモリ: の最速化) 1 Mhos (ビーク語)	2 GB (I/O	ecs.n4.small 一般共有タイプ	vpc- 6we130133vopgz6gm001m vsw-	サブスクリプション 18-04-20 01:00 有 01601	更新し ない		222 N 更新 2	INC

更新しない状態で、有効期限が切れてから1ヶ月後に自動リリースされます。

ディスク

クラウドディスクの作成

クラウドディスクはデータディスクとも呼ばれ、管理コンソールから購入できます。各ユーザーアカウント が購入できるクラウドディスクは最大 250 個です。各 ECS インスタンスには、32 TB までの容量を持つデ ータディスクを 16 までアタッチすることができます。

クラウドディスクは以下の手順で購入できます。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。次に、ページの右上隅にある [**インスタンスを作成**] をクリックします。
- 4. [クラウドディスクの購入] をクリックします。
- 5. リージョンとゾーンを選択します。
- 6. クラウドディスクのタイプ、サイズ、数を選択します。次に、ページの右側にある [**今すぐ購入**] をクリックします。

Linux の場合の次のステップ

Linux インスタンスの場合、クラウドディスクをシステムで表示して使用するには、クラウドディスクをア タッチし、パーティションを作成してから、フォーマットする必要があります。

1. データディスクのアタッチの詳細については、「データディスクのアタッチ」を参照してください。

パーティションのフォーマットについて、およびアタッチされたデータディスクへの新しいパーティションのアタッチについては、「データディスクのフォーマットとアタッチ」を参照してください。

Windows の場合の次のステップ

Windows インスタンスの場合、クラウドディスクは使用する前にアタッチしてフォーマットする必要があります。

- 1. データディスクのアタッチの詳細については、「データディスクのアタッチ」を参照してください。
- アタッチされたデータディスクのフォーマットの詳細については、「データディスクのフォーマット」を参照してください。

スナップショットからのクラウドディスクの作 成

既存の**システムディスク**または**データディスク**のスナップショットを撮り、スナップショットからクラウド ディスクを作成できます。新しいディスクは**同じリージョンの同じゾーン**にある任意のインスタンスにアタ ッチすることができます。

シナリオ

スナップショットからデータにアクセスする必要があるが、ディスクをスナップショットにロールバックし たくない場合は、スナップショットからクラウドディスクを作成し、ディスクからデータにアクセスできま す。

たとえば、インスタンスでシステムディスク障害が発生した場合は、既存のスナップショットを使用してク ラウドディスクを作成し、ディスクを正常なインスタンスにアタッチすることができます。このようにして 、障害のあるインスタンスのデータを復元できます。

ディスクのパフォーマンス

スナップショットから作成されない SSD クラウドディスクとウルトラクラウドディスクは、容量の最大性 能を発揮することができます。事前調整は必要ありません。

ただし、スナップショットから作成されたクラウドディスクの場合、ディスクに書き込まれる前に OSS か らデータにアクセスする必要があるため、初期パフォーマンスが低下する可能性があります。 プロダクションを使用する前に、すべてのデータブロックに一度だけ書き込みして読み込むことをお勧めし ます。

前提条件

あなたのインスタンスにスナップショットの作成があります。

手順

スナップショットからクラウドディスクを作成するには、次の手順を実行します。

ECS コンソールにログオンします。

ナビゲーションペインで、スナップショット&イメージ>スナップショットを選択します。

予想されるスナップショットを見つけ、その ID をコピーします。

ナビゲーションペインで、**ブロックストレージ**> **クラウドディスク**を選択します。

[クラウドディスクを追加] をクリックします。

クラウドディスクの作成ページで、次の操作を行います。

- i. リージョンとゾーンを選択します。このディスクをインスタンスに接続するには、ディ スクが同じリージョンとゾーンにあることを確認してください。
- ii. **ストレージの選択****スナップショットでディスクを作成する**をクリックし、必要なスナ ップショットを選択します。
- iii. 購入プランでは、オプションを選択します。
- iv. 概要を確認してください。
- v. 今すぐ購入をクリックします。
- vi. ご注文を確認し、お支払いをしてください。

クラウドディスク ページに戻り、 **クラウドディスクを追加** の横にある更新ボタンをクリックしてください 。 作成したばかりのクラウドディスクは、 **ディスク状態**、 **使用中** で見つけます。

フォローアップ作業

クラウドディスクをインスタンスに接続できます。詳細についてはデータディスクのアタッチにご参照くだ さい。

注意:

- Windows ユーザーの場合、コンソールで **アタッチ** をクリックして、新しいクラウドディス クをインスタンスに接続できます。

- Linux ユーザの場合は、 **アタッチ** をコンソールでクリックすると、 mount コマンドを実行 する必要があります。

データディスクのアタッチ

データディスクのアタッチ

ECS では、データディスクとして使用されるUltra クラウドディスク、および SSD クラウドディスクのア タッチがサポートされます。データディスクをアタッチする方法には、[インスタンス] メニューを使用する ものと、左側のナビゲーションバーにある [ディスク] メニューを使用するものの 2 つがあります。この 2 つの方法について、以下で説明します。

考慮事項

データディスクをアタッチする前には、次の点を考慮します。

- インスタンスは次の条件をすべて満たす必要があります。
 - インスタンスのステータスが [停止済み] である。
 - セキュリティコントロールマーカーが [ロック済み] でない。
 - インスタンスが料金滞納状態でない。
- クラウドディスクのステータスは [利用可能] である必要があります。
- -1 つのインスタンスにはシステムディスクを1 つまで、データディスクを (すべてのディスクカテ ゴリを合わせて) 16個までアタッチできます。
- クラウドディスクは、同じゾーンのインスタンスにのみアタッチできます。ゾーンをまたいでアタ ッチすることはできません。
- クラウドディスクは、一度に 1 つのインスタンスにのみアタッチできます。複数のインスタンスへのアタッチはサポートされていません。
- クラウドディスクは、リージョンおよびゾーンが同じ任意のインスタンス (サブスクリプションまたは従量課金のインスタンス) にアタッチできます。
- クラウドディスクがインスタンスのシステムディスクとして機能している場合、このディスクを個別にアタッチすることはできません。

データディスクをアタッチするには、[**インスタンス**] メニューを使用するか、左側のナビゲーションバーに ある [**ディスク**] メニューを使用します。

- 複数のディスクを 1 つのインスタンスにアタッチする必要がある場合は、[インスタンス] メニュー

から実行する方が簡単です。

- ディスクを複数のインスタンスにアタッチする必要がある場合は、[ディスク] メニューから実行す る方が簡単です。

[インスタンス] メニューの場合

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。

ページの一番上でリージョンを選択します。

アタッチするインスタンスの名前をクリックするか、[**インスタンス**] ページの右側にある [**管理**] をクリックします。

松 帯	German	neuwaukit (Natwarint) i voa kacilic kie it (natkau) i no west ti (nicou kalek).										
インスタンス										U 201	DAT DAE IN	
ディスク	インスタンス名・	インスタン	ス名を入力	8.8	₩90						a •	
▼ スナップショット	目 インスタンス ID/名明	1000 -	所属ワーン	IP アドレス	ステータス(すべて) *	ネットワークタイプ(すべて) *	スペック	9 17	インスタンスタイプファミリー	支払い方法 (すべて)	· 705=>	
スナップショット 自動スナップショッー	i tinfebkt8ryg5fnojg5f	×	Singapore Zone A	47.88.215.01 (インターネット) 10.25.163.118 (イントラネッ ト)	● 第行中	クラシックネットワーク	CPU: 1 コア メモリ: 1024 MB (I/O の範値 化) 1 Mbps (ビーク値)		汎用タイプ n1	従量課金 16-11-18 17:31 作	19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	
イメージ セキュリティグループ	E E FE	10 /C		ス認定 - 詳細					合計:1項目、ページあたり	20 項目 🔍		
タグの管理												

左側のナビゲーションバーで [**インスタンスのディスク**] をクリックします。インスタンスに既に アタッチされているディスクが表示されます。

インスタンスの詳細									クラウドディスクを追加 ディスクのアタッチ
インスタンスのディスク	◎ ディスク ID/ディスク名	ディスク種類(すべて) ×	ディスク状態(すべて) *	支払いタイプ	デタッチ可能(すべて) *		ディスタのプロパティ (すべて) マ	99	アクション
セキュリティグループ	•	Ultra クラウドディスク 40GB	使用中	花量課金	サポート対象外	Singapore Zone A	システムディスク		スナップショットの作成 ディスクの再初時化 自動スナップショットポリシーの変更 IFI通・
	■ ディスクの再初時化								

ページの右側にある [ディスクのアタッチ] をクリックし、[接続先デバイス] と [データディスク] をクリックすると、ディスクがアタッチされます。必要に応じて、インスタンスと共にディスクを リリースするかどうかと、ディスクと共にスナップショットをリリースするかどうかを設定します

- **インスタンスと共にディスクをリリース**: インスタンスをリリースすると、ディスクも同時にリリースされます。
- ディスクと共に自動スナップショットをリリース: ディスクをリリースすると、すべての 自動スナップショットもリリースされます。ただし、手動で作成したスナップショット は保持されます。データのバックアップのためには、このオプションを選択しないこと をお勧めします。
| インスタンス: | - (ゾーン: Singapore Zone A) |
|-----------|--|
| インスタンスでは、 | 引き続き 4 個のデバイスが使用可能です。 |
| *接続先デバイス: | /dev/xvd b 🔻 |
| *データディスク: | ディスク ID を入力してください |
| | インスタンスと共にディスクをリリース |
| | ディスクと共に自動スナップショットをリリー |
| | |
| | |

ディスクをアタッチしたら、インスタンスにログインしてディスクパーティションをフォーマットし、新し いパーティションをアタッチする必要があります。詳細については、このページの最下部にある「**次のステ ップ**」を参照してください。

[Disks] メニューの場合

ECS 管理コンソール にログインします。

左側のナビゲーションバーで [ディスク] をクリックします。

ページの一番上でリージョンを選択します。

アタッチするディスクの名前をクリックします。ディスクのステータスは [**利用可能**] である必要 があります。[**使用中**] ステータスのディスクはアタッチできません。

ディスクリストの右端で、[詳細]、[アタッチ]の順にクリックします。

ターゲットのインスタンスとリリースアクションを選択します。

- **インスタンスと共にディスクをリリース**: インスタンスをリリースすると、ディスクも同時にリリースされます。
- ディスクと共に自動スナップショットをリリース: ディスクをリリースすると、すべての

自動スナップショットもリリースされます。ただし、手動で作成したスナップショット は保持されます。データのバックアップのためには、このオプションを**選択しない**こと をお勧めします。

ディスクをアタッチしたら、インスタンスにログインしてディスクパーティションをフォーマットし、新し いパーティションをアタッチする必要があります。詳細については、このページの最下部にある「**次のステ ップ**」を参照してください。

Linux の場合の次のステップ

ディスクをアタッチしたら、インスタンスにログインしてディスクパーティションをフォーマットし、新し いパーティションをアタッチする必要があります。詳しい手順については、「データディスクのフォーマッ トとアタッチ」を参照してください。

Windows の場合の次のステップ

ディスクをアタッチしたら、インスタンスにログインしてディスクパーティションをフォーマットする必要 があります。詳しい手順については、「データディスクのフォーマット」を参照してください。

データディスクのデタッチ

ECSは、ベーシッククラウドディスク、ウルトラクラウドディスク、およびデータディスクとして機能する SSDクラウドディスクの分離をサポートしています。システムディスクを取り外すことはできません。 Instances ページまたは Disks ページでディスクをデタッチします。

注意

使用中ステータスのデータディスクのみを切り離すことができます。

インスタンスのオペレーティングシステムに基づいて、以下を確認してください。

- Linuxインスタンスの場合、インスタンスにログオンし、 umountコマンドを実行してデータディ スクをアンマウントします。コマンドを実行した後、ECSコンソールにログオンし、ディスクを取 り外します。
- Windowsインスタンスの場合は、ディスクのすべてのファイルシステムで読み取りと書き込み操作 を停止し、データの整合性を確保します。そうしないと、読み書き中のデータが失われます。

手続き

[インスタンス]ページ

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. インスタンスIDをクリックし、[インスタンスの詳細]ページに移動します。
- 5. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンスのディスク**] をクリックします。インスタンスに既に アタッチされているディスクが表示されます。
- 6. デタッチするディスクをクリックします。
- 7. ページの右上隅にある [**デタッチ**] をクリックし、 表示されるダイアログボックスで、[**デタッチの** 確認] をクリックします。

インスタンスからデータディスクを正常に切り離しました。

[ディスク]ページ

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**ディスク**] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. デタッチするディスクをクリックし、ページの右上隅にある [デタッチ] をクリックします。
- 5. 表示されるダイアログボックスで、[デタッチの確認] をクリックします。

インスタンスからデータディスクを正常に切り離しました。

手順の後

インスタンスにアタッチされていなくても、データディスクの代金を支払う必要があります。だから、もう データディスクが必要ない場合は、データディスクの削除をしてください。

ディスクの再初期化

ディスクの再初期化

ディスクを再初期化すると、ディスクを最初に作成した時点の状態に戻すことができます。

ディスクを再初期化した後は、次のようになります。

- インスタンスのオペレーティングシステムとそのバージョンは保持され、初期状態に戻ります。

- ECS インスタンスの IP アドレスは変更されません。元のシステムディスク上のデータはクリアさ れますが、インスタンス上のスナップショットの自動バックアップは保持され、インスタンスにア プリケーションをロールバックするために使用できます。
- ディスクを再初期化する際は、事前に以下の考慮事項に注意する必要があります。
 - ディスクを再初期化すると、そのディスク上のデータは失われます。続行する前に、スナップショットなどを使用して必ずデータをバックアップします。詳細については、「スナップショットの作成」を参照してください。

操作手順

- 1. ECS 管理コンソール にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [インスタンス] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. ディスクを再初期化する前にインスタンスを停止します。ディスクを再初期化するインスタンスを 選択し、一番下の [**停止**] をクリックします。
- 5. インスタンス名をクリックします。左側のナビゲーションバーで [**インスタンスのディスク**] をク リックします。
- 6. 再初期化するディスクを1つ以上選択します。その後、[ディスクの再初期化] をクリックします



7. 再初期化が完了したら、ログインのための新しいパスワードを入力します。[ディスクの再初期化の確認] をクリックします。

ディスクのロールバック

ディスクのロールバック

ディスクロールバックにより、ディスクのデータを以前のある時点までロールバックできます。

重要:

 - スナップショットロールバックは、不可逆的な操作です。ロールバックが完了すると、元のデータ を復元することはできません。したがって、この操作を実行する場合は十分に注意してください。
 - ディスクロールバックは、インスタンスが停止している場合に実行可能です。 ディスクをロールバックするには、次の手順を実行します。

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [インスタンス] をクリックします。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. ディスクをロールバックする前にインスタンスを停止します。ディスクをロールバックするインス タンスを選択し、一番下の [**停止**] をクリックします。
- 5. インスタンス名をクリックします。左側のナビゲーションバーで [**スナップショット**] をクリック します。
- 6. ロールバックするスナップショットを選択します。一度に選択できるスナップショットは1つだけです。
- 7. [ディスクのロールバック] をクリックします。
- 8. 表示されるダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

システムディスクの変更(パブリックイメージ)

システムディスクを変更することによってオペレーティングシステムを別のパブリックイメージに変更でき ます。例えば、Windows Server 2003 から Windows 2012 に変更できます。

注意: 中国本土以外のリージョンは、Linux と Windows 間での交換をサポートしていません。Linux または Windows は、同じオペレーティングシステムの別のバージョンにのみ交換できます。

システムディスクの変更に関する考慮事項

リスク

- この操作を実行するにはインスタンスを停止する必要があるため、業務は中断されます。したがって、この操作は注意して実行する必要があります。
- 交換後は、新しいシステムディスクに実行環境を再デプロイする必要があります。これは、業務を 長時間中断することになる可能性があります。したがって、この操作は注意して実行する必要があ ります。
- システムディスクを交換すると、元のシステムディスク上の自動スナップショットとデータは失われます。必ず事前にバックアップを作成してください。

注意

- 新しいディスクの自動スナップショットポリシーに合った十分なスナップショットクォータを確保 するために、不要なスナップショットを削除することができます。

- システムディスクを変更しても、インスタンスの IP アドレスは変更されません。
- 手動で作成したスナップショットは交換後も保持されます。ただし、ディスク ID が変更されるため、元のシステムディスクから手動で作成したスナップショットを使用して新しいシステムディスクにロールバックすることはできません。保持されたスナップショットを使用してカスタムイメージを作成することはできます。
- システムディスクの交換後、元のディスクは削除されます。

自動スナップショットを保持する

デフォルトの場合、自動スナップショットはディスクと共にリリースされます。自動スナップショットを保 持するため、ディスクリリースに伴う自動スナップショットリリースの設定を参照してください。

操作手順

完全なシステムディスク変更する手順は、次の手順が含まれます。

- 1. 該当システムディスクのスナップショットの作成
- 2. システムディスクの変更
- 3. 自動スナップショットポリシーの設定
- 4. データディスクのアタッチ (Linux インスタンスの場合のみ)

ステップ 1: 該当システムディスクのスナップショットの作成

システムディスクのデータを保持したくない場合は、この手順をスキップしてください。

忙しい時間にスナップショットを作成しないこと。40GBのスナップショットを作成するため約40分掛かり ますので、十分な時間を確保してください。

注意: 容量不足でインスタンスが起動しない場合があるため、ディスク・スペースを十分に(最低 1GB) 確保 してください。

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。次に、ページの一番上でリージョンを選択します。

システムディスクを変更するインスタンスをクリックします。

左側のナビゲーションバーの [**インスタンスのディスク**] をクリックします。

変更するシステムディスクを見つけて [スナップショットの作成] をクリックします。

スナップショットの名前を入力します。

左側のナビゲーションバーの[**インスタンスのスナップショット**] をクリックすると、スナップショ ットの進行状況とステータスを確認できます。

ステップ 2: システムディスクの変更

システムディスクを変更には:

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。次に、ページの一番上でリージョンを選択します。

システムディスクを変更する前にインスタンスを停止します。インスタンスリストで、システムディスクを交換するインスタンスを選択し、一番下の [**停止**] をクリックします。

インスタンスが停止したら、インスタンステーブルの右端で [**詳細**]、[**システムディスクの変更**] の 順にクリックします。

考慮事項を示すダイアログボックスが表示されます。考慮事項を注意深く読んでから、操作を確認 します。

オペレーティングシステムを選択します。

管理者または root のパスワードを設定します。

[変更の確認] をクリックします。発生する支出があれば、支払います。

重要なプロンプトが表示されます。注意深く読みます。間違いがないことを確認したら、[**OK**] を クリックします。

ステップ 3: 自動スナップショットポリシーの設定

システムディスクを変更すると、ディスクIDが変更されたため、設定した自動スナップショットポリシーは 新しいシステムディスクでは作動しなくなります。この場合、新しいシステムディスクの自動スナップショ ートポリシーを設定する必要があります。詳細については、ディスクに対する自動スナップショットポリシ ーの設定 を参考ください。

ステップ 4: データディスクのアタッチ (Linux インスタンスの場合のみ)

Linux インスタンスの場合、システムディスクを変更した後、データディスクを再度アタッチする必要があ りますが、パーティションを分割する必要はありません。詳細については データディスクのアタッチ を参考 してください。

システムディスクの変更(カスタムイメージ)

システムディスクを変更するときに、オペレーティングシステム、環境設定、および/またはデータを保持す る場合は、インスタンスまたはシステムディスクを使用してカスタムイメージを作成し、そのイメージを使 用してシステムディスクを変更できます。このドキュメントでは、このシナリオを使用して、システムディ スク上のイメージをカスタムイメージに変更する方法について説明します。

システムディスクを変更することによってオペレーティングシステムをカスタムイメージに変更できます。 システムディスクをパブリックイメージに変更する方法については、「システムディスクの変更(パブリッ クイメージ)」を参照してください。

- 「インスタンスを使用してカスタムイメージの作成」
- 「スナップショットを使用してカスタムイメージの作成」
- 「別のリージョンからカスタムイメージのコピー」
- 「イメージのインポート」
- 「カスタムイメージの共有」

システムディスクの変更では、インスタンスの IP アドレスを変えることがありません。

注意: 中国本土以外のリージョンは、Linux と Windows 間での交換をサポートしていません。Linux または Windows は、同じオペレーティングシステムの別のバージョンにのみ交換できます。

考慮事項:

- 交換操作を実行するにはインスタンスを停止する必要があるため、業務は中断されます。
- 交換後は、新しいシステムディスクに実行環境を再デプロイする必要がありますので、業務を長時 間中断する可能性があります。
- システムディスクを交換すると、元のシステムディスク上の自動スナップショットとデータは失われます。必ず事前にバックアップを作成してください。自動スナップショットを保持するため、ディスクリリースに伴う自動スナップショットリリースの設定を参照してください。
- 手動で作成したスナップショットは交換後も保持されます。ただし、ディスク ID が変更されるため、元のシステムディスクから手動で作成したスナップショットを使用して新しいシステムディスクにロールバックすることはできません。保持されたスナップショットを使用してカスタムイメージを作成することはできます。
- システムディスクを交換後、元のディスクは削除されます。

- システムディスクに 1 GB 以上のフリースペースがない場合、交換後インスタンスが起動できない 可能性があります。

操作手順

完全なシステムディスク変更する手順は、次の手順が含まれます。

- 1. 該当システムディスクのスナップショットの作成
- 2. スナップショットに基づいてイメージの作成
- 3. システムディスクの変更
- 4. 自動スナップショットポリシーの設定
- 5. データディスクのアタッチ (Linux インスタンスの場合のみ)

システムディスクのデータを保持しないでオペレーティングシステムを変更したい場合は、単に [ステップ 3] に跳ばしてシステムディスクを直接変更できます。

ステップ 1: 該当システムディスクのスナップショットの作成

注意

- システムディスクのデータを保持したくない場合は、この手順をスキップしてください。
- 忙しい時間にスナップショットを作成しないこと。
- 40GBのスナップショットを作成するため約40分掛かりますので、十分な時間を確保してください。
- 容量不足でインスタンスが起動しない場合があるため、ディスク・スペースを十分に(最低 1GB) 確 保してください。

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。

該当リージョンを選択します。

システムディスクを変更するインスタンスをクリックします。

左側のナビゲーションバーの [インスタンスのディスク] をクリックします。

変更するシステムディスクを見つけて [スナップショットの作成] をクリックします。

スナップショットの名前を入力します。

左側のナビゲーションバーの[インスタンスのスナップショット] をクリックすると、スナップショ

ットの進行状況とステータスを確認できます。

ステップ 2: スナップショットに基づいてイメージの作成

注意:

- システムディスクのデータを保持したくない場合は、この手順をスキップしてください。
- 現在のシステムディスクにデータを保持する場合は、システムディスク上のデータをコピーするイ メージを作成必要があります。
- 容量不足でインスタンスが起動しない場合があるため、ディスク・スペースを十分に(最低 1GB) 確 保してください。

ステップ1 で作成したスナップショットを探し、カスタムイメージの作成 をクリックします。

イメージの名前と説明を入力します。

ナビゲーションバーに戻り、**イメージ**をクリックします。

イメージ作成の進度とステータスを確認できます。

ステップ 3: システムディスクの変更

システムディスクを変更には:

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。

該当リージョンを選択します。

システムディスクを変更する前にインスタンスを停止します。インスタンスリストで、システムディスクを交換するインスタンスを選択し、一番下の [**停止**] をクリックします。

インスタンスが停止したら、インスタンステーブルの右端で [**詳細**]、[**システムディスクの変更**] の 順にクリックします。

カスタムイメージをクリックし、ステップ2で作成したイメージを選択します。

[変更の確認] をクリックします。発生する支出があれば、支払います。

ステップ 4: 自動スナップショットポリシーの設定

システムディスクを変更すると、ディスクIDが変更されたため、設定した自動スナップショットポリシーは 新しいシステムディスクでは作動しなくなります。この場合、新しいシステムディスクの自動スナップショ ートポリシーを設定する必要があります。詳細については、ディスクに対する自動スナップショットポリシ ーの設定 を参考ください。

ステップ 5: データディスクのアタッチ (Linux インスタンスの場合のみ)

Linux インスタンスの場合、システムディスクを変更した後、データディスクを再度アタッチする必要があ りますが、パーティションを分割する必要はありません。詳細については データディスクのアタッチ を参考 してください。

ディスクのモニタリング情報の表示

ディスクのモニタリング情報の表示

ディスクの IOPS、BPS などのモニタリング情報を表示することができます。

手順は次のとおりです。

ECS 管理コンソールにログインします。

モニタリング情報を表示するディスクを選択します。ディスクを特定する方法には、次の 2 つが あります。

 インスタンスリストのページで、ディスクをアタッチするインスタンスをクリックして から、[インスタンスのディスク]をクリックします。
 「ディスクリスト]でディスクを特定します。

[ディスクのモニタリング] をクリックすると、IOPS、BPS などのモニタリング情報が表示されます。

注記:

右上隅にある時間の欄を使用して、1時間、6時間、1日、7日などのモニタリング期間を選択できます。 また、モニタリングの開始時間および終了時間をカスタマイズして使用することもできます。

データディスクの削除

データディスクが不要になった場合は、以下を実行して削除することができます。

警告:データディスクの削除は恒久的な操作であり、元に戻すことはできません。一度削除すると、データ ディスク上の元のデータを復元することはできません。慎重に進めることをお勧めします。

前提条件

データディスクのステータスが [利用可能] になっていることを確認します。もし、ステータスが [使用中]の場合、ディスクをインスタンスからデタッチするを参照してください。

データディスクに格納されているデータが全てバックアップ済みであることを確認します。そうで ない場合、スナップショットを作成して、データのバックアップを行ってください。

手順

データディスクのリリース手順は以下になります。

[ECS 管理コンソール] にログインします。

左側のナビゲーションバーで [**ディスク**] をクリックします。

該当リージョンを選択します。

削除したいディスクを確認し、[詳細]、[削除]の順にクリックします。

[削除の確認]をクリックして削除します。

上記の手順でデータディスクがリリースされます。

スナップショット

スナップショットの作成

手軽にインスタンスのスナップショットを作成して、ある時点のシステムデータのステータスを保存し、デ ータバックアップとしたりイメージを作成したりすることができます。

注記:

- ディスクのスナップショットを初めて作成する場合は、フルスナップショットになるため、比較的 長い時間がかかります。
- ディスクのスナップショットを追加で作成する場合、処理は早くなりますが、最後にスナップショ ットを作成した後に変更されたデータの量に応じて所要時間が変わります。変更されたデータが多 ければ多いほど、処理時間は長くなります。
- スナップショットを作成中は、そのディスクのパフォーマンスがわずかに低下する場合があります。スナップショットを作成している間はディスクパフォーマンスが低下するため、業務に直接的な影響が及ぶ可能性があります。影響の程度は、変更されたデータ量に応じて変わります。業務のピーク時間にスナップショットを作成しないでください。
- 自動スナップショットとは異なり、手動で作成したスナップショットは手動で削除するまで保持されます。

手順は次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [ディスク] をクリックします。ディスクのリストが表示されます。
- 3. スナップショットを作成するディスクを選択します。
- 4. 一度に選択できるディスクは1 つだけです。システムディスクとデータディスクの両方を選択で きます。
- 5. [スナップショットの作成] をクリックします。
- 6. スナップショット名を入力して、[**OK**] をクリックします。

左側のナビゲーションバーで [**スナップショット**] をクリックすると、すべてのスナップショットが表示され ます。あるいは、[**インスタンス**]、[**インスタンスのスナップショット**] の順に移動すると、特定インスタンス のスナップショットが表示されます。

自動スナップショットポリシーの作成

ディスクに適用する自動スナップショットポリシーを作成し、自動スナップショットの作成日時、繰り返し

日、保持期間などのパラメーターを定義できます。各リージョンに最大 100 までの自動スナップショットポ リシーの作成ができます。

手順は次のとおりです。

[ECS 管理コンソール] にログインします。

左側のナビゲーションバーで、[**スナップショット**]、[**自動スナップショットポリシー**] の順にクリ ックします。自動スナップショットポリシーのリストが表示されます。

右上の [ポリシーを作成] をクリックします。

自動スナップショットポリシーのパラメーターを定義します。

- ポリシー名: 自動スナップショットポリシーの名前です。長さは 2 ~ 128 文字にする必要があります。先頭の文字は大文字または小文字のアルファベットとする必要があります。数字、"_"、"-" を含めることができます。
- 作成時刻: 00:00 ~ 23:00 の 24 時点から、スナップショットの作成時点を指定します。
- 繰り返し日: 月~日までの7曜日から、毎週、作成を行う曜日を指定します。
- 期間: スナップショットを保持する日数を1~65536日で指定するか、永続的な保持を 指定します。デフォルトは **30**日です。
- 注意事項: スナップショット作成のデフォルトの実行時刻は UTC+08:00 です。詳細は 作成時刻と繰り返し日の設定に関する注意事項を参照してください。



その後、[OK] をクリックします。

自動スナップショットポリシーの削除

自動スナップショットポリシーが不要になった場合は、そのポリシーを特定し、右側の [**ポリシーの削除**] を クリックします。

ディスクに対する自動スナップショットポリシ 一の設定

ビジネスニーズに基づいて、ディスクに対する自動スナップショットポリシーを設定することができます。

注意:

- スナップショットの作成は、ディスクの読み書き操作を妨げる場合があります。サービスへの影響 を小さくするために、自動スナップショットはサービスの負荷が少ない時間帯に実行することを強 くお勧めします。
- 使用されていない汎用クラウドディスクに、自動スナップショットポリシーは適用されません。
- 手動で作成したスナップショットは、自動スナップショットと競合しません。ただし、ディスクが 自動スナップショットを実行している場合は、それが完了するまで、手動によるスナップショット の作成を待機する必要があります。

ディスクまたはスナップショットを通じて、自動スナップショットポリシーを設定し実行することができます。

ディスク:

特定のディスクに自動スナップショットポリシーを適用します。

スナップショット:

複数またはすべてのディスクに、統一的な自動スナップショットポリシーを適用します。

ディスクを指定する方法

この方法では、特定のディスクに対する自動スナップショットポリシーを指定します。手順は次のとおりで す。

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**ディスク**] をクリックします。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. ポリシーを実行するディスクを特定し、右側の [**自動スナップショットポリシーの変更**] をクリックします。
- 5. 自動スナップショット機能を有効にして、必要なスナップショットポリシーを選択することができ ます。
- 6. [OK] をクリックします。

スナップショットを指定する方法

この方法では、複数のディスクに対する自動スナップショットポリシーを指定します。

- 1. ECS 管理コンソール](https://ecs.console.aliyun.com/#/home "ECS Console")にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[**スナップショット**]、[**自動スナップショットポリシー**] の順にクリ

ックします。

3. リージョンを選択します。このリージョンの自動スナップショットポリシーが、すべてリスト表示 されます。

適用する自動スナップショットポリシーを特定し、右側の [ディスクの設定] をクリックします。

自動スナップポリシーを有効にする場合、[ポリシーが事前設定されていないディスク] タブをクリックし、目的のディスクを特定して、ディスクの右にある [自動スナップショ ットの有効化] をクリックします。または、複数のディスクを選択し、最下部の [自動ス ナップショットの有効化] をクリックします。

自動に	スナップショットポリシーの)変更		×
自	助スナップショットポリシーを有	効化すると、スナップショット	はその自動スナップショットポリシ	ーに従って管理されます。
ポ	リシーが事前設定されていないう	ディスクポリシーが事前設	定されているディスク	
ディ	マスク名	▼ ディスク名を入力してくけ	ださい 検索	
	ディスク ID/ディスク名	ディスク種類(すべて) 👻	ディスクのプロパティ (すべて)	▼ アクション
•	d-t4na47skez7xw7pl2eyj -	高効率クラウドディスク 40GB	システムディスク	自動スナップショットの有効化
	自動スナップショットの有	劝化	合計:1項目, ペ-	ージあたり: 20 項目 🥢 < 1 > »

自動スナップポリシーを無効にする場合、[ポリシーが事前設定されているディスク] タ ブをクリックし、目的のディスクを特定して、ディスクの右にある [自動スナップショッ トの無効化] をクリックします。または、複数のディスクを選択し、最下部の [自動スナ ップショットの無効化] をクリックします。

自動スナップショットポリシーの変更			×
自動スナップショットポリシーを有効化す	すると、スナップショットはその自動スナッ	プショットポリシーに従って管理さ	れます。
ポリシーが事前設定されていないディスク	クポリシーが事前設定されているディ	20	
ディスク名・	ディスク名を入力してください	検索	
ディスク ID/ディスク名	ィスク種類(すべて) ▼ ディスクのプロ	コパティ (すべて) 🔻	アクション
d-t4na47skez7xw7pl2eyj 高 - 40	効率クラウドディスク システムディン IGB	20	自動スナップショットの無効化
✓ 自動スナップショットの無効化	1	合計: 1 項目, ページあたり: 20 項	

ディスクリリースに伴う自動スナップショット リリースの設定

データディスクのリリース時に自動スナップショットを保持するよう指定すると、そのスナップショットを 手動で設定できます。

[ECS 管理コンソール] にログインします。

リージョンを選択します。

左側のナビゲーションバーで [クラウドディスク] をクリックします。

設定するディスクを特定し、[詳細]、[属性を変更]の順にクリックします。

[ディスクと共に自動スナップショットをリリース] を選択またはキャンセルし、[OK] をクリック します。

ディスク属性の変更	×
ディスク: d-t4r	na47skez7zaq
ディスク種類:	Ultra クラウドディスク
リリースアクショ	□ インスタンスと共にディスクをリリース
>:	ディスクと共に自動スナップショットをリリース ?
	OK キャンセル

スナップショットの削除

スナップショットまたは自動スナップショットポリシーを削除することができます。

スナップショットを削除する

スナップショットが不要になったとき、またはスナップショットクォータに達したときは、スナップショットを削除して領域を解放することができます。

注意:

- スナップショットの削除は永続的なアクションであり、元に戻すことはできません。削除が完了す ると、元のスナップショットは復元できません。慎重に行ってください。
- スナップショットを使用してカスタムイメージを作成した場合は、スナップショットを削除する前 に関連付けられたイメージを削除する必要があります。

スナップショットを削除するには、次の手順を実行します。

[ECS管理コンソール] にログオンします。

左側のナビゲーションバーの**スナップショット**> **スナップショット**をクリックします。

リージョンを選択します。

削除するスナップショットを選択します。

ウィンドウの下部にある[**削除**]をクリックします。

[**OK**]をクリックします。

自動スナップショットポリシーを削除する

[ECS管理コンソール] にログオンします。

左側のナビゲーションペインで、**スナップショットとイメージ**> **自動スナップショットポリシー**を 選択します。

リージョンを選択します。

対象の自動スナップショットポリシーを見つけ、**アクション**列で**自動スナップショットポリシーの 削除**をクリックします。

ダイアログボックスで情報を確認し、[**OK**]をクリックします。

作成時刻と繰り返し日の設定に関する注意事項

作成時刻と繰り返し日の設定に関する注意事項

スナップショット作成のデフォルトの実行時刻は UTC+08:00 の時刻です。 UTC+08:00 以外の地域では、実際のタイムゾーンと合わせて調整する必要があります。

下記の2パターンではUTC+09:00(大阪、札幌、東京)タイムゾーンのユーザの調整方法を説明します。

パターン1

スナップショットの希望作成時刻が【0:00以外】の場合

- 作成時刻:希望作成時刻から1時間引いた時刻を設定します。
- 繰り返し日:希望繰り返し日をそのまま設定します。(考慮する必要はありません)

希望作成時刻 UTC+09:00	コンソール設定時刻 UTC+08:00	希望作成時刻 UTC+09:00	コンソール設定時刻 UTC+08:00
1:00	0:00	13:00	12:00
2:00	1:00	14:00	13:00
3:00	2:00	15:00	14:00
4:00	3:00	16:00	15:00
5:00	4:00	17:00	16:00
6:00	5:00	18:00	17:00
7:00	6:00	19:00	18:00
8:00	7:00	20:00	19:00
9:00	8:00	21:00	20:00
10:00	9:00	22:00	21:00
11:00	10:00	23:00	22:00
12:00	11:00		

パターン2

スナップショットの希望作成時刻が【0:00】の場合

- 作成時刻:希望作成時刻から1時間引き、【23:00】を設定します。
- 繰り返し日: 希望繰り返し日から1日前の曜日を設定します。

希望作成時刻	コンソール設定時刻
UTC+09:00	UTC+08:00
月曜日 0:00	日曜日 23:00

火曜日 0:00	月曜日 23:00
水曜日 0:00	火曜日 23:00
木曜日 0:00	水曜日 23:00
金曜日 0:00	木曜日 23:00
土曜日 0:00	金曜日 23:00
日曜日 0:00	土曜日 23:00

イメージ

カスタムイメージの作成

スナップショットからカスタムイメージの作成

カスタムイメージを使用すると、ECS インスタンスを効果的に実行できます。カスタムイメージにより、同 ーの OS と環境データで同時に複数の ECS インスタンスを有効化して、拡張ニーズに柔軟に応えることが できます。

カスタムイメージは、ある時点での ECS システムディスクのスナップショットに基づいています。イメージに基づいて作成された複数の ECS インスタンスは、設定が同じ場合も異なる場合もあります。



考慮事項

カスタムイメージを作成する際には以下の制限があります。

- カスタムイメージの作成に使用された ECS の有効期限が切れた場合、またはデータが消去された

(スナップショット用のシステムディスクの有効期限が切れるかリリースされた)場合でも、イメージから作成されたカスタムイメージおよび ECS インスタンスは影響を受けません。ただし、自動スナップショットは、ECS インスタンスがリリースされるとクリアされます。

- カスタムイメージを使用することにより、有効化されている ECS インスタンスの CPU、メモリ、 帯域幅、ハードドライブなどの設定をアップグレードすることができます。
- リージョンをまたいでカスタムイメージを使用することはできません。
- カスタムイメージは、年間または月間サブスクリプションか従量課金かを問わず、すべての ECS セールスモードに適用されます。年間または月間サブスクリプションプランにおける ECS インス タンスのカスタムイメージは従量課金インスタンスの作成に使用でき、その逆も同様です。

Linuxインスタンスからイメージを作成する際には、以下の点も制限となります。

- インスタンスが起動しなくなる可能性がありますので、 /etc/fstab は編集しないでください。
- カスタムイメージを作成する際にはすべてのデータディスクをアンマウントすることをお勧めします。

- rootユーザがログインできない状態で、カスタムイメージを作成しないでください。

操作手順

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、**[スナップショット&イメージ]>[スナップショット]** をクリックします。スナップショットのリストが表示されます。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. ディスクの属性が [システムディスク] であるスナップショットを選択します。[カスタムイメージ の作成] をクリックします。データディスクを使用してカスタムイメージを作成することはできま せん。



- 5. 表示されるダイアログボックスで、スナップショット ID を確認できます。
- 6. データディスクを含める場合、[データディスクのスナップショットの追加]を選択することで、複数のデータディスクをイメージに含めることができます。

注記: ディスク容量を指定しない場合は、デフォルトで 5GB の容量で作成されます。利用可能な スナップショットを選択した場合は、ディスク容量はスナップショットと同じ大きさで作成されま

	1.スナップショット ID を空白にすると、空のディス? までサポートされます	フが作成されます。デフ	?ォルトの容量: 5 GB、	最大 2,000 G
	s-6welzxshvcy6gtlu3nlv(システムディスク)	/dev/xvda	40 GB	削陽
スナップショットの詳細:	スナップショット ID	デバイス名:	ディスク容量:	アクショ
	 ビデータディスクのスナップショットの追加 	00/0 C C IA (C A C /	0	
	目さけ 0 _ 056 文字で、 http:// 主たけ http:// つわ	4477 L(+752 ± ++ /		
* イメージの説明:				
	長さは 2 ~ 128 文字で、先頭は大文字または小文字の 字には、数字、"."、"_"、"-" を使うことができます。	D英字、漢字、平仮名、	片仮名である必要があ	うります。後続
・イメージ名:				
システムスナップショット ID:	s-6welzxshvcy6gtlu3nlv/			
カスタムイメージを Linux システ. ジから作成されたインスタンスを起	ムで作成するときは、/etc/fstab ファイル内のデータディ G動できなくなります。	スク情報をロードしな	いでください。ロード	すると、イメー
snapshot fees.				

す。

- 7. カスタムイメージの名前と説明を入力します。[作成]をクリックします。
- 8. 作成したイメージを確認する場合は、左側のメニューから[スナップショット&イメージ]>[イメージ]を選択します。

作成 キャンセル

Linux インスタンスイメージのFAQ

ディスクのデタッチ方法およびディスクテーブルデータの削除方法

/dev/hda5 が /mnt/hda5 にアタッチされている場合、次の 3 つのコマンドのいずれかを実行してファイ ルシステムをデタッチできます。

umount /dev/hda5 umount /mnt/hda5 umount /dev/hda5 /mnt/hda5

/etc/fstab は、Linux の重要な設定ファイルです。ファイルシステムおよび起動時に接続されているストレージデバイスの詳細が含まれています。指定されたパーティションが VM の起動時にアタッチされることを避けるには、この設定ファイルから該当する行を削除する必要があります。たとえば、起動時に xvdb1 を切断するには、次のステートメントを削除します。

/dev/xvdb1 /leejd ext4 defaults 0 0

データディスクがデタッチされていてカスタムイメージを作成できるかどうかを判断 する方法

自動的にデータディスクをアタッチするステートメント行が fstab ファイルから削除されていることを確認 する必要があります。mount コマンドを使用して、アタッチされているすべてのデバイスの情報を表示しま す。実行結果に、データディスクのパーティションに関する情報が含まれていないことを確認します。

関連する設定ファイル

イメージを作成する前に、次の表に示す重要な設定ファイルが変更されていないことを確認します。変更さ れていると、新しいインスタンスを起動できません。

設定ファイル	目的	変更した場合のリスク
/etc/issue*, /etc/*-release, /etc/*_version	システムのリリースおよびバー ジョン	/etc/issue [*] を変更すると、シ ステムのリリースバージョンを 特定できなくなり、インスタン スの作成が失敗します。
/boot/grub/menu.lst, /boot/grub/grub.conf	システムの起動	/boot/grub/menu.lst を変更 すると、カーネルのロードが失 敗し、システムを起動できませ ん。
/etc/fstab	起動時にパーティションをアタ ッチ	これを変更すると、パーティシ ョンのアタッチが失敗し、シス テムを起動できません。
/etc/shadow	システムパスワードの保存	このファイルを読み取り専用に 設定すると、パスワードファイ ルを編集できなくなり、インス タンスの作成が失敗します。
/etc/selinux/config	システムのセキュリティポリシ ー	/etc/selinux/config を変更し て SELinux を有効化すると、 起動が失敗します。

インスタンスからカスタムイメージの作成

インスタンスからカスタムイメージを作成することができます。インスタンスのシステムディスクとデータ ディスクを含む全てのディスクをカスタムイメージに複製することが可能です。カスタムイメージを作成中 、該当インスタンスの全てのディスクが自動的にスナップショットを作成し、これらのスナップショットが 一つのカスタムイメージを構成します。



さらに、スナップショット

に基づいてカスタムイメージを作成することもできます。「スナップショットを使用してカスタムイメージ を作成する」を参照してください。

注意:

- データのプライバシー侵害を防ぐため、カスタムイメージを作成する前に、ECSインスタンス内の すべての機密データを削除してください。
- 作成中は、インスタンスの状態を変更しないでください。インスタンスを停止、開始、再起動しないでください。
- カスタムイメージにデータディスク上のデータが含まれている場合、ECSインスタンスとともに新しいデータディスクが一緒に作成されます。データディスク上のデータは、マウントデバイスに従って、カスタムイメージ内のデータディスクスナップショットを複製します。
- データディスク上のデータを含むカスタムイメージをエクスポートすることはできません。
- データディスク上のデータを含むカスタムイメージを使用して、システムディスクを置き換えることはできません。

操作手順:

コンソールにログインします。

左側ナビゲーションの[Elastic Compute Service]、[インスタンス]の順でをクリックします。

インスタンスリストページで該当リージョンを選択します。

該当インスタンスを選択し、[詳細] - [カスタムイメージの作成]をクリックします。

カスタムイメージの作成画面で、イメージ名と説明を入力します。

[作成]をクリックします。

スタムイメージの作成	? >
イメージを作成すると同時にスナい たします。	ップショットも作成されます。 スナップショットは有料サービスですので、スナップショットイメージの料金が発生い
カスタムイメージを Linux システ ジから作成されたインスタンスを	ムで作成するときは、/etc/fstab ファイル内のデータディスク情報をロードしないでください。ロードすると、イメー 起動できなくなります。
すべてのディスクを含む現在の E(作成されます。これらはスナップ を待つ必要があります。しばらく;	S インスタンスの完全なイメージテンプレートを作成できます。各インスタンスディスクの新しいスナップショットが ショットリストに表示されます。イメージが使用できるようになるまで、各ディスクのスナップショットが作成されるの 5待ちください。
* イメージ名:	
	長さは 2 ~ 128 文字で、先頭は大文字または小文字の英字、漢字、平仮名、片仮名である必要があります。後続の 字には、数字、"."、"_"、"-" を使うことができます。
* イメージの説明:	
	長さは 2 ~ 256 文字で、http:// または https:// で始めることはできません。

全てのディスクのスナップショットが作成後、イメージの使用が可能になります。

Packer を使ってカスタムイメージを作成

Packerは、カスタム画像を作成するのに便利なオープンソースのツールです。主要なオペレーティングシス テム上で動作します。このドキュメントでは、Packerをインストールして使用する方法について説明します 。Packerを使用すると、1 行または2 行のコマンドだけを使用して簡単にカスタムイメージを作成できま す。

前提条件

AccessKeyを準備しておく必要があります。詳細は、 AccessKey作成を参照してください。

注:

AccessKeyには高いレベルのアカウント権限があります。不適切な操作やデータの破損を避けるため に、RAMユーザーの作成を実行し、ユーザーのAccessKeyを作成するのRAMユーザーとして機能させ ることをお勧めします。

カスタム画像を作成する

ステップ1.Packerをインストールする

Packerの公式Packerのダウンロードページにアクセスして、お使いのオペレーティングシステム用の

Packerのバージョンを選択してダウンロードしてください。Packerのインストール方法については、以下の手順を実行するか、公式のPackerのインストールページを参照してください。

LinuxサーバにPackerをインストールするには

CentOS 6.8 64ビットの例

1. Linuxサーバーに接続してログオンします。接続先のサーバがECS Linuxインスタンスの場合は、 Linuxインスタンスに接続を参照してください。

cd / usr / local / binを実行して/ usr / local / binディレクトリに移動します。

注:/usr/local/binディレクトリは環境変数ディレクトリです。Packerは、このディレクトリまたは環境変数に追加された別のディレクトリにインストールできます。

- wget https://releases.hashicorp.com / packer / 1.1.1 / packer_1.1.1_linux_amd64.zipを実行して、Packerインストーラーをダウンロードしてください。Packerの他のバージョンのインストーラをダウンロードするには、Packerの公式のPackerのダウンロードページにアクセスしてください。
- 4. パッケージを解凍するには unzip packer_1.1.1_linux_amd64.zipを実行してください。
- 5. packer -vを実行して、Packerのインストール状況を確認します。Packerのバージョン番号が返 された場合、Packerが正常にインストールされています。エラー command not foundプロンプ トが返された場合、Packerは正しくインストールされていません。

WindowsサーバーにPackerをインストールするには

Windows Server 2012 64ビットの例

- 1. Windowsサーバーに接続してログオンします。接続先のサーバがECS Windowsインスタンスの 場合は、Windowsインスタンスに接続を参照してください。
- 2. 公式のPackerのダウンロードページを開き、64ビットWindows用の適切なPackerインストーラ を選択します。
- 3. パッケージを指定されたディレクトリに解凍し、Packerをインストールします。
- 4. PATH環境変数でPackerのディレクトリを定義します。
 - i. **コントロールパネル**を開きます。
 - ii. **すべてのコントロールパネル項目> システム> 高度なシステム設定**を選択します。
 - iii. 環境変数をクリックします。
 - iv. システム変数リストでパスを検索します。

この例のように、 C:\ Packerに **Variable Value** にPackerインストールディレクトリを追加し てください。複数のディレクトリを半角のセミコロン(;)で区切ります。 **OK** をクリックします 。

Packerのインストール状況を確認するには、CMDで packer.exe -vを実行してください。 Packerのバージョン番号が返された場合、Packerが正常にインストールされています。エラー command not foundプロンプトが返された場合、Packerは正しくインストールされていません。

ステップ2. Packer テンプレートを定義する

Packerを使用してカスタムイメージを作成するには、まずJSON形式のテンプレートファイルを作成し ます。テンプレートでAlibaba Cloud イメージビルダーとプロビジョナを作成します。Packerには、 カスタム画像のコンテンツ生成モードを設定するときに選択できる多様なプロビジョニング機能があり ます。次の alicloud JSONファイルでは、Shellプロビジョナを例としてPackerテンプレートの定義方 法を示しています。

alicloudという名前のJSONファイルを作成し、次の内容を貼り付けます:

```
{
"variables": {
"access_key": "{{env `ALICLOUD_ACCESS_KEY`}}",
"secret_key": "{{env `ALICLOUD_SECRET_KEY`}}"
},
"builders": [{
"type":"alicloud-ecs",
"access_key":"{{user `access_key`}}",
"secret_key":"{{user `secret_key`}}",
"region":"cn-beijing",
"image_name":"packer_basic",
"source_image":"centos_7_02_64_20G_alibase_20170818.vhd",
"ssh_username":"root",
"instance_type":"ecs.nl.tiny",
"internet_charge_type":"PayByTraffic",
"io_optimized":"true"
}],
"provisioners": [{
"type": "shell",
"inline": [
"sleep 30",
"yum install redis.x86_64 -y"
]
}]
}
```

注:次のパラメータの値をカスタマイズする必要があります。

パラメータ	説明
access_key	あなたのアクセスキー ID。
secret_key	あなたのシークレットキー。
region	カスタムイメージの作成に使用された一時インスタンスの 領域。詳細は、 リージョンとゾーン を参照してください。
image_name	カスタムイメージの名前。

source_image	Alibaba Cloudのパブリックイメージリストから基本イメ ージ名を取得できます。
instance_type	カスタムイメージを作成するために生成された一時インス タンスのタイプ。 詳細については、 インスタンスタイプフ ァミリーを参照してください。
internet_charge_type	カスタムイメージを作成するために生成された一時インス タンスのインターネット帯域幅請求方法。オプションの値 : - PayByTraffic - PayByBandwidth
provisioners	カスタムイメージの作成に使用されるPacker プロビジョナ のタイプ

ステップ3.Packerを使用してカスタムイメージを作成する

次の手順に従って、Packerテンプレートファイルを指定してカスタムイメージを作成します。

- 1. export ALICLOUD_ACCESS_KEY=your AccessKeyIDコマンドでアクセスキーIDをインポート する。
- 2. export ALICLOUD_SECRET_KEY=your AccessKeySecretコマンドでシークレットキーをイン ポートする。
- 3. packer build alicloud.jsonコマンドでカスタムイメージを作成する。

サンプルは次のように実行されます。サンプルはApsaraDB for Redis含むカスタムイメージを作成し、次のように実行されます。

alicloud-ecs output will be in this color.

==> alicloud-ecs: Prevalidating alicloud image name...

alicloud-ecs: Found image ID: centos_7_02_64_20G_alibase_20170818.vhd

==> alicloud-ecs: Start creating temporary keypair: packer_59e44f40-c8d6-0ee3-7fd8-b1ba08ea94b8 ==> alicloud-ecs: Start creating alicloud vpc

==> alicloud-ecs: Provisioning with shell script: /var/folders/3q/w38xx_js6cl6k5mwkrqsnw7w0000gn/T/packershell257466182 alicloud-ecs: Loaded plugins: fastestmirror

alicloud-ecs: Total 1.3 MB/s | 650 kB 00:00 alicloud-ecs: Running transaction check

==> alicloud-ecs: Deleting temporary keypair... Build 'alicloud-ecs' finished.

==> Builds finished. The artifacts of successful builds are: --> alicloud-ecs: Alicloud images were created:

cn-beijing: m-2ze12578be1oa4ovs6r9

##次のステップ

このカスタムイメージを使用してECSインスタンスを作成できます。詳細については、カスタムイメージを 使用してインスタンスを作成するを参照してください。

参考文献

- 詳細については、Alibaba Cloud GithubのPackerリポジトリであるPacker-プロバイダを参照してください。

- Packerの使用方法の詳細については、Packer オフィシャルドキュメントを参照してください。

イメージのコピーは、カスタムイメージをあるリージョンから別のリージョンにコピーするプロセスです。 リージョン間でイメージをコピーすると、複数のリージョンをまたいでバックアップイメージシステムまた は同一のアプリケーション環境をデプロイできます。

カスタムイメージのコピーするには、先ず、コピー元のリージョンでスナップショットを作成し、Alibaba Cloud はそのスナップショットをコピーし、ターゲットリージョンにスナップショットからカスタムイメー ジを作成します。リージョン間でスナップショットをコピーするプロセスの速度はネットワークの状況によ って異なり、Alibaba Cloud は イメージコピーの並行処理をサポートするためのキューを使用しており、コ ピーを完了するまでに時間がかかることがあります。

制限

現在、中国本土のリージョンのみイメージのコピーが許可されています。ただし、国際リージョン 間でイメージコピーを行いたい場合、チケットを起票して申請することができます。チケット内で コピー元のリージョン、コピー先のリージョン、イメージID などの情報を記入してください。

カスタムイメージが100 GBを超える場合、イメージコピー機能を利用する際に、チケットを起票 して申請してください。

カスタムイメージをコピーする

カスタムイメージをコピーするための手順は次のとおりです。

[ECS 管理コンソール] にログインします。

左側のナビゲーションバーで **[スナップショット & イメージ]** > **[イメージ]**の順でクリックします 。

リージョンを選択します。

コピーするイメージを選択します。イメージのタイプは、[**カスタムイメージ**] である必要がありま す。次に、イメージテーブルの右端にある [**イメージのコピー**] をクリックします。

カスタムイメージが100GB以上ある**イメージコピー**を実行するとチケットを起票ページにリ ダイレクトされます。

表示される[**イメージのコピー**]のダイアログボックスで、イメージ ID を確認できます。下記の項 目を入力します。

ターゲットリージョンを選択します。現在、イメージのコピーは中国本土のリージョン 間でのみ許可されています。

ターゲットイメージの名前と説明を入力します。今後の管理する上で名前をつけておく ほうが良いでしょう。

OKをクリックします。

ターゲットリージョンをクリックして進行状況を確認します。100%と表示されたらイメージコピーは完了です。

進行状況が100%ではなくイメージの作成状況が**作成中**になっている場合、**コピーのキャン セル**をクリックしてコピーをキャンセルできます。キャンセルするとイメージ情報はターゲ

ツ	トリージョン	ンから	削除され	<i>こ</i> ます。								
-	メージ名 • イメージ	洺を入力してくだ	さい	検索	♥タウ					2	٥	?
	イメージ ID/名前	イメージタ	マイプ OS	ビット 数	作成日時	ステータ ス	進行 度	タ グ		7	クショ	=>
6	m-m5ebqngpatc1avrb4kp6	かスタム4 ジ	(メー CentOS	64년ッ ト	2018-03-21 11:03:07	作成中	0%		イメージの説明の変更 コピーのキャンセル イメー	関連インス イメージ0 -ジのエクス	スタン) の共有 スポー	

その後の操作

コピーされたイメージが準備完了した後、「使用可能」な状態に変更されます。ターゲットイメージの**スナ** ップショットリストでカスタムイメージを作成するスナップショットを確認することができます。

カスタムイメージを使用してECSインスタンスの作成またはシステムディスクの変更を行うことができます。

よくある質問

イメージのコピーの詳細については、イメージのコピーに関するよくある質問を参照してください。

イメージの共有

カスタムイメージを他のユーザーと共有できます。管理コンソールまたは ECS API を使用することにより、他のアカウントが自分と共有したイメージを照会できます。他のアカウントが共有したイメージを使用して ECS インスタンスを作成できます。

イメージを他のアカウントと共有する前に、そのイメージに機密性のある、または重要なデータやソフトウ ェアが含まれていないことを確認します。

注意: Alibaba Cloud は、他のアカウントが共有したイメージの完全性またはセキュリティを保証しません 。信頼できるアカウントが共有したイメージだけを使用するように注意してください。そのようなイメージ を使用して ECS インスタンスを使用する際は、必ず ECS インスタンスにログインして、イメージが安全か つ完全であることを確認します。

考慮事項

制約

- -1 つのイメージを、最大 50 人のユーザーと共有できます。
- 共有されたイメージは、イメージクォータの一部としては扱われません。
- 共有されたイメージを使用してインスタンスを作成できるのは、元のイメージと同じリージョンに 限られます。
- イメージを他のアカウントと共有できるのは、そのイメージのオーナーだけです。アカウント A の イメージをアカウント B と共有することはできません。

共有イメージの削除による影響

- カスタムイメージを他のアカウントと共有しても、そのイメージは削除できます。ただし、削除す る前に、そのイメージとのすべての関係を削除する必要があります。
- カスタムイメージを共有したアカウントを削除すると、その共有イメージのユーザーは管理コンソールまたは ECS API を使用してイメージを見つけることも、イメージを使用して ECS インスタンスを作成することもできなくなります。
- 共有されたカスタムイメージを削除すると、そのイメージから作成した ECS インスタンスでシス テムディスクの再初期化が失敗する可能性があります。

手順

コンソールを使用してイメージを共有する手順は次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[**イメージ**] をクリックします。イメージのリストが表示されます。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 共有されたいイメージを選択します。イメージのタイプは、[**カスタムイメージ**] である必要があり ます。次に、[**イメージの共有**] をクリックします。
- 5. 表示されたダイアログボックスで、アカウントタイプを選択し、Alibaba Cloud アカウントを入 力します。アカウントには次の 2 つのタイプがあります。
 - Alibaba Cloud アカウント: イメージを共有する相手ユーザーの Alibaba Cloud アカウント (ログインアカウント) を入力します。
 - Account ID: イメージを共有する相手ユーザーの Alibaba CloudID を入力します。
 Account ID は、Alibaba Cloud Web サイトのユーザーセンターで [アカウント管理]、
 [セキュリティ設定]、[アカウントID] の順にクリックすることによって取得できます。次のリンクからログインできます。
- 6. [イメージの共有] をクリックします。

共有のキャンセル

イメージを共有する許可はキャンセルできます。共有を無効にすると、そのアカウントはイメージの照会、 使用ができなくなります。

注意: ECS インスタンスを作成するために他のアカウントが使用していたイメージの共有をキャンセルする と、そのインスタンスのシステムディスクを再初期化できなくなります。

手順は次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール]にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[**イメージ**] をクリックします。イメージのリストが表示されます。 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 共有を停止するイメージを選択します。イメージのタイプは、[**カスタムイメージ**] である必要があ ります。[**イメージの共有**] をクリックします。
- 5. このイメージを共有している相手ユーザーのリストを表示できます。アカウントの後ろの [**共有の** *キャンセル*] をクリックします。

共有しているユーザーのリストの表示

自分のイメージを共有している相手アカウントのリストを照会できます。

イメージを共有しているユーザーのリストをコンソールで照会する手順は、次のとおりです。

1. [ECS 管理コンソール] にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、[イメージ]をクリックします。イメージのリストが表示されます。

3. ページの一番上でリージョンを選択します。

- 表示するイメージを選択します。イメージのタイプは、[カスタムイメージ] である必要があります。 [イメージの共有] をクリックします。
- 5. このイメージを共有している相手ユーザーのリストを表示できます。

共有されたイメージのリストの表示

他のユーザーから自分に共有されたイメージのリストを照会できます。

共有されているイメージのリストをコンソールで表示する手順は、次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 照会するリージョンを選択します。
- 3. イメージリストのヘッダーで、[**イメージタイプ**] として [**イメージの共有**] をクリックすると、他 のアカウントが自分と共有したイメージのリストが表示されます。_____

Elastic Comp	イメージリスト China South 1 (Shenzhen) Singapore China North 1 (Qingdao) China North 2 (Beijing) China East 2 (Shanghai) US East 1 (Virginia) Hong Kong Duba 2 愛新
	Australia 1 (Sydney) China East 1 (Hangzhou) Germany 1 (Frankfurt) Asia Pacific NE 1 (Japan) US West 1 (Silicon Valley)
CL#	
インスタンス	注意:現在、イメージ機能はフリートライアル中です。現在までに 1 個のカスタムイメージを作成消みです。あと 29 個のカスタムイメージを作成できます。
ティスク	イメージ名 イメージ名を入力してください 検索
▼ スナップショット	□ イメージ10/名類 (メージタイプ(カスタムイメージ) OS ビット数 作項日時 ステータス 進行変 タグ アクション
スナップショット	7AT
自動スナップショッ…	□ m-6we44y0xo12796● A /プリックイメージ CentOS 64ビット 2016-10-31 16:40:43 利用可能 100% イメージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ オスージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ イメージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ イメージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ イメージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ イメージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ イメージの説明の変更 酸塩インスタンス ・ イメージの説明の変更 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
1×-5	
セキュリティグループ	■ 別珍 別珍
タグの管理	
Cloud Morehov	

イメージのインポート

イメージをインポートする際の注意事項

インポートされたイメージの有用性を確保し、イメージのインポート効率を向上させるには、イメージをイ ンポートする前に次の点に注意してください。

注意事項は、インスタンスのオペレーティングシステムによって異なります。

- Linux イメージ
- Windows イメージ

Linux イメージをインポートする際の注意事項

Linux イメージをインポートするときは、次の点に注意してください。

制限事項

イメージのインポートは、複数のネットワークインターフェイスまたは IPv6 アドレスの使用をサ ポートしていません。

パスワードの長さは8~30文字で、大文字と小文字、数字、特殊記号を含む必要があります。

XEN および KVM 仮想化プラットフォームドライバをインストールする必要があります。

ファイアウォールは無効になっており、ポート 22 はデフォルトで有効になっています。

イメージで DHCP が有効になっています。

ホスト名、NTP ソース、yum ソースの設定を正しく行うためには、cloud-init をインストールを お勧めします。

注意

Linux イメージをインポートする場合は、以下表に記載されている注釈に注意する必要があります。

項目	標準オペレーティングシステム のイメージ	非標準オペレーティングシステ ムのイメージ
定義	Alibaba Cloud がサポートす るオペレーティングシステムの 公式ディストリビューションエ ディション: - Aliyun - CentOS 5, 6, 7 - CoreOS 681.2.0+ - Debian 6, 7 - FreeBSD - OpenSUSE 13.1 - RedHat - SUSE Linux 10, 11, 12 - Ubuntu 10, 12, 13, 14	非標準のオペレーティングシス テムとは、次のいずれかを指し ます。 - Alibaba Cloud で現 在サポートされてい るオペレーティング システムのリストに 含まれていないオペ レーティングシステム ム - 重要なシステム構成 ファイル、システム の基本環境、および アプリケーションに 関して、標準オペレ ーティングシステム の要件に準拠してい ない標準オペレーティングシステム。

	非標準オペレーティングシステ ムのイメージを使用する場合は 、次のもののみを選択すること ができます。 - カスタマイズされた Linux : カスタマイズ されたイメージこの	
	タイプのオペレーティングシステムのイ	
	メージをインポート すると、Alibaba	
	Cloud はあらかじめ 定義された設定基準	
	に従って必要なネッ トワークまたはパス ワードの設定を行い	
	ます。設定の詳細に ついては、カスタマ	
	イズされた Linux の 設定を参照してくだ	
	さい。 - その他 Linux:Alibaba	
	Cloudは、これらのイ メージすべてを他の	
	システムタイプとし て識別します。この	
	ようなオペレーティ ングシステムのイメ	
	ーシをインホートす ると、Alibaba Cloud は作成されたインス タンスに対して処理	
	を実行しません。イ ンスタンスの作成が 完了したら、コンソ	
	ールの Management Terminal (VNC) を使 用した FCS インスタ	
	ンスへの接続 機能を 使用してインスタン スに接続し、IP アド	
	レス、ルーター、お	
		よびパスワードを手 動で構成する必要が あります。
---------------	--	---------------------------------
重要なシステム構成ファイル	 - /etc/issue*は変更しないでください。変更されていると、システムの配布を正しく認識できず、システムの配布を正しく認識できず、システムの配が失敗します。 - /boot/grub/menu.lstは変更しないでください。変更されていると、システムの起動に失敗することがあります。 - /etc/fstabは変更しないでください。これが変更された場合、例外が発生してパーティションがロードされず、システムの起動に失敗する可能性があります。 - /etc/shadowを読み取り専用に変更しないでください。変更されている場合、パスワードファイルは変更できず、システムの起動は失敗します。 - /etc/selinux/configを変更してSELinuxを有効にしないでください。変更されていると、システムの起動に失敗することがあります。 	標準オペレーティングシステム の要件に準拠していない。
システム基本環境の要件	- システムディスクの	標準オペレーティングシステム の要件に準拠していない。

	パーティションを調 整しないでください 。現在、単一のルー トパーティションの みがサポートされて います。 ・システムディスクに 十分な空き容量があ ることを確認してく ださい。 ・重要なシステムファ イル (/sbin, /bin, or /lib*) は変更しないで ください。 ・イメージをインポー トする前に、ファイ ルシステムの整合性 を確認してください 。 ・ファイルシステム : Linux イメージは 、ext3 および ext4 ファイルシステムの みをサポートします 。 MBR が使用され				
アプリケーション	インポートしたイメージに qemu-gaをインストールしな いでください。インストールさ れている場合、Alibaba Cloud が必要とするサービスの一部が 利用できなくなることがありま す。	標準オペレーティングシステム の要件に準拠していない。			
ファイル形式	現在、RAW 形式と VHD 形式の ます。他のフォーマットでイメー ジを取り込む前にuse a tool to c 伝送容量の小さい VHD 形式でイ 勧めします。	タのイメージがサポートされてい ジを取り込みたい場合は、イメー onvert the formatを使います。 メージをインポートすることをお			
ファイルサイズ					

Windows イメージをインポートする際の注意事項

Windows イメージをインポートするときは、次の注意に注意してください。

制限事項

パスワードの長さは 8~30 文字で、3 種類の文字(大文字、小文字、数字、特殊文字)が含まれ ている必要があります。

ファイアウォールは無効になっており、ポート 3389 はデフォルトで有効になっています。

Windows オペレーティングシステムのディストリビューションエディ ション

以下の Windows オペレーティングシステムのディストリビューションエディションをインポートすること ができます。

Microsoft Windows Server 2016

Microsoft Windows Server 2012 R2 (Standard Edition)

Microsoft Windows Server 2012 (Standard Edition, Data Center Edition)

Microsoft Windows Server 2008 R2 (Standard Edition, Data Center Edition, Enterprise Edition)

Microsoft Windows Server 2008 (Standard Edition, Data Center Edition, Enterprise Edition)

Microsoft Windows Server 2003 (Standard Edition, Data Center Edition, Enterprise Edition), including R2 and with Service Pack 1 (SP1)

注意: Windows XP、Windows 7(Professional EditionとEnterprise Edition の両方)、Windows 8、およびWindows 10 はサポートされていません。

システム基本環境の要件

システムディスクと複数のパーティションがサポートされています。

システムディスクに十分な空き容量があることを確認してください。

重要なシステムファイルを変更しないでください。

イメージをインポートする前に、ファイルシステムの整合性を確認してください。

ファイルシステム:NTFS ファイルシステムと MBR のみがサポートされています。

アプリケーション

インポートしたイメージにqemu-gaをインストールしないでください。インストールされている場合、 Alibaba Cloud が必要とするサービスの一部が利用できなくなることがあります。

サイズとフォーマット

現在、RAW 形式と VHD 形式のみのイメージがサポートされています。他のフォーマットでイメ ージを取り込みたい場合は、イメージを取り込む前に イメージファイル形式の変換 を使います。 伝送容量が小さい VHD 形式でイメージをインポートすることをお勧めします。

イメージをインポートするときのシステムディスクサイズの設定:イメージの仮想ファイルサイズ (使用法ではない)に基づいて、インポートするシステムディスクサイズを構成することをお勧め します。インポートするディスクのサイズは、40 GB から 500 GB でなければなりません。

cloud-init のインストール

インポートされたイメージのホスト名、NTP ソース、および yum ソースの設定を正しく行うために、イメ ージをインポートする前に、オンプレミスサーバ、仮想マシン、またはクラウドホストに cloud-init をイン ストールすることをお勧めします。

現在、cloud-init は以下の Linux ディストリビューションをサポートしています:

- CentOS
- Debian
- Fedora
- FreeBSD

- Gentoo
- RHEL (Red Hat Enterprise Linux)
- SLES (SUSE Linux Enterprise Server)
- Ubuntu

前提条件

次のプログラムがインストールされていることを確認してください。

git: cloud-init のソースコードパッケージをダウンロードします。

コマンド: yum install git

python2.7: cloud-init の実行とインストールの基礎です。

コマンド: yum install python

pip:python2.7 にはないが、cloud-init が依存しているライブラリをインストールします。

コマンド: yum install python-pip

このドキュメントでは、インストールを説明するために yum を例として使用します。パッケージを管理す るために zypper または apt-get を使用している場合、インストール方法は同様になります。

cloud-init のインストール

cloud-init をインストールするには、次の手順を実行します。

オンプレミスサーバー、仮想マシン、またはクラウドホストに接続します。クラウドホストが ECS インスタンスの場合は、Linux インスタンスへのログインを参照してください。

git clone https://git.launchpad.net/cloud-init を実行して、公式サイトから cloud-init のソー スコードパッケージをダウンロードしてください。

cd cloud-init を実行して、ディレクトリを cloud-init に変更します。

python setup.py install を実行して、setup.py をインストールします。これは、cloud-init のインストールファイルです。

vi/etc/cloud/cloud.cfg を実行して、設定ファイル cloud.cfg を変更します。



cloud_init_modules の前の内容を以下のように変更してください。

```shell

- # Example datasource config
- # The top level settings are used as module
- # and system configuration.

# A set of users which may be applied and/or used by various modules

- # when a 'default' entry is found it will reference the 'default\_user'
- # from the distro configuration specified below

users:

- default

user: name: root lock\_passwd: False

# If this is set, 'root' will not be able to ssh in and they # will get a message to login instead as the above \$user disable\_root: false

# This will cause the set+update hostname module to not operate (if true) preserve\_hostname: false

syslog\_fix\_perms: root:root

datasource\_list: [ AliYun ]

# Example datasource config
datasource:
AliYun:
support\_xen: false
timeout: 5 # (defaults to 50 seconds)
max\_wait: 60 # (defaults to 120 seconds)
# metadata\_urls: [ 'blah.com' ]

# The modules that run in the 'init' stage

cloud\_init\_modules:

トラブルシューティング

**注**:欠落しているライブラリは、オペレーティングシステムによって異なる場合があります。 pip を使用して不足しているライブラリをインストールすることができます。不足しているライブラリをインストールした後、再度 python setup.py install を実行して setup.py をインストールしてください。

### 1. ライブラリ6またはライブラリoauthlibがありません。

インストール中に、以下のメッセージが表示されることがあります。 つまり、6つのライブラリが Python にないということです。pip install six を実行して6つのライブラリをインストールします

File "/root/cloud-init/cloudinit/log.py", line 19, in <module> import six ImportError: No module named six )

## 2. インストール中にエラーが発生すると、ライブラリは指定されません 。

エラー出力に従って依存関係ライブラリが指定されていない場合、 pip install -r requirements.txt を実行 して、cloud-initの requirements.txt ファイルにリストされているすべての依存関係ライブラリをインスト ールすることができます。

### 次のステップ

ECS コンソールでイメージのインポートを行うことができます。

## イメージ形式の変換

RAW または VHD 形式の画像ファイルのみをインポートできます。他のフォーマットでイメージをインポートする場合は、イメージをインポートする前にフォーマットを変換してください。

このドキュメントでは、qemu-img ツールを使用してイメージファイルを RAW、Qcow2、VMDK、VDI、

VHD(vpc)、VHDX、qcow1、QED などの VHD または RAW 形式に変換する方法を紹介します。

さまざまな方法で qemu-img をインストールし、ローカルコンピュータのオペレーティングシステムに基づ いてイメージファイル形式を変換することができます。

- Windows

- Linux

## Windows

Windows システムに qemu-img をインストールしてイメージファイル形式を変換するには、次の手順を実行します。

qemu をダウンロードしてインストールします。ダウンロードアドレス: https://qemu.weilnetz.de/w64/。インストールパス:C:\Program Files\qemu。

次の手順を実行して環境変数を作成します(Windows 7 の場合)。

i. スタート> コンピュータを選択し、プロパティ を右クリックします。

- ii. 左側のナビゲーションペインで、高度なシステム設定 をクリックします。
- iii. システムの属性 ダイアログボックスで、 詳細設定 タブをクリックし、環境変数をクリックします。
  - a. 環境変数ダイアログボックスのシステム変数で Path 変数を見つけ、 編集 を クリックします。 Path 変数が存在しない場合は、 新規 をクリックします。
     b. 変数値を追加します。
    - a. **システム変数の編集**: *C*:\*Program Files*\*qemu*を**変数値**に追加 します。異なる変数値は、セミコロン(;) で区切られます。
    - b. **新しいシステム変数**: **変数名**として *Path* を入力し、**変数値**として *C:*¥*Program Files*¥*qemu* を入力します。

Windowsで**コマンド**プロンプトを開き、 qemu-img --helpコマンドを実行します。表示されたら、インストールは成功しています。

コマンドのプロンプトで、 cd [ソースイメージファイルのディレクトリ]コマンドを実行してディレクトリを変更します。たとえば、 cd D:\ ConvertImageのようになります。

コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、イメージファイル形式を変換します。

qemu-img convert -f raw -O qcow2 centos.img centos.qcow2

コマンドパラメータは次のように記述されています。

--fの後にソースイメージ形式が続きます。

--O(大文字が必要です)の後に、変換されたイメージ形式、ソースファイル名、および

ターゲットファイル名が続きます。

### Linux

qemu-img をインストールしてイメージファイル形式を変換するには、次の手順を実行します。

qemu-img をインストールします。例:

- Ubuntu の場合、 apt install qemu-imgコマンドを実行します。
 - CentOS の場合、 yum install gemu-imgコマンドを実行します。

次のコマンドを実行してイメージファイル形式を変換します。

qemu-img convert -f raw -O qcow2 centos.img centos.qcow2

コマンドパラメータは次のように記述されています。

--fの後にソースイメージ形式が続きます。

--O(大文字が必要です)の後に、変換されたイメージ形式、ソースファイル名、および ターゲットファイル名が続きます。

# イメージのインポート

物理イメージファイルを ECS 環境にインポートして、カスタムイメージを作成することができます。その 後、このイメージを使用して ECS インスタンスを作成できます。

**注意**: インポートイメージ機能を使用したい場合は、機能を有効するようにサポートチケットを起票してくだ さい。

## 前提条件

- 制限事項や要件については、イメージインポートの注意事項、カスタマイズされたLinuxの設定、 イメージ形式の変換 を参照してください。
- OSS を有効化していない場合は、最初に「OSS の有効化」を参照してください。イメージをイン ポートするには、手動で公式 ECS サービスアカウントに OSS アクセス権限を与える必要がありま す。
- 同じリージョンの OSS のイメージファイルのみをインポートすることができます。イメージと OSS は 1 つのアカウントに属している必要があります。
- OSS のサードパーティツールクライアント、OSS API、または OSS SDK を使用して、インポー

トする ECS カスタムイメージと同じリージョン内のバケットにファイルをアップロードします。

### 操作手順

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、[スナップショット & イメージ] > [イメージ] をクリックします。

[**イメージのインポート**] をクリックします。

[イメージのインポート手順] の三行目にある [アドレスの確認] をクリックします。

[権限付与に同意] をクリックします。

左側のナビゲーションバーで、[スナップショット & イメージ] > [イメージ] をクリックします。

リージョンを選択します。

[イメージのインポート] をクリックし、イメージインポートフォームに記入します。

イメージのリージョン: アプリケーションをデプロイするリージョンを選択します。

OSSオブジェクトアドレス: OSS コンソールからオブジェクトのアドレスをコピーします。

**イメージ名:** 長さは 2 ~ 128 文字です。先頭には、大文字または小文字の英字、または漢字を使い ます。数字、"\_"、"-" を含めることができます。

**オペレーティングシステム:** 現在サポートされている OS リリース:

- Windows
- Linux

システムディスクのサイズ:

- Windows システムディスクのサイズ: 40 ~ 500 GiB、
- Linux システムディスクのサイズ: 20 ~ 500 GiB。

システムアーキテクチャ:

64 ビット OS: x86\_64、32 ビット OS: i386。

#### システムプラットフォーム

現在サポートされている OS リリース:

- Windows: Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012
- Linux: CentOS、SUSE、Ubuntu、Debian、FreeBSD、CoreOS 注意:
  - (Linux エディションのみ)サポートされているエディションを確認 するにはチケットを送信してください。
  - イメージの OS が Linux コア上で開発されたカスタムエディション である場合は、チケットを送信して Alibaba Cloud に連絡してくだ さい。

### イメージの形式:

RAW 形式と VHD パーティションがサポートされます。成功率を高めるために、RAW 形式を使用することをお勧めします。 **注意:**QEMU イメージを使用して VHD イメージを作成することはできません。

### イメージの説明:

イメージの説明を入力します。

[OK] をクリックしてイメージインポートタスクを作成します。

**注意**:イメージのインポートには、通常は 1-4 時間かかります。タスクにかかる時間は、イメージファ イルのサイズと、同時に実行中の他のインポートタスクの数に依存します。タスクの進捗は、インポー ト領域のイメージリスト内で確認できます。

また、タスクマネージャでイメージインポートタスクを見つけて、キャンセルすることもできます。

### 次の操作手順

カスタマイズイメージをインポート完了後、イメージを使用したインスタンスの作成を参照してください。

# virtio ドライバーのインストール

サーバー、仮想マシン、またはクラウドホストの イメージのインポート により作成された Linux インスタ

ンスの起動失敗を回避するには、Xen(pv) または virtio ドライバーをオンプレミスにインストールする必要 があります。次の手順に従って、ドライバを手動でインストールする必要があるかどうかを確認し、必要に 応じて Linux サーバ田の virtio ドライバをインストールして設定します

## 手動インストール不要のイメージ

下記のオペレーティングシステムがインポートされた場合、Alibaba Cloud によって自動的に virtio ドライ バが処理されますので、一時ファイルシステム (initramfs、initrd) の修復 部分から確認してください。

- Windows Server 2008
- Windows Server 2012
- Windows Server 2016
- CentOS 6/7
- Ubuntu 12/14/16
- Debian 7/8/9
- SUSE 11/12

## 手動インストール必要のイメージ

前述のリストに含まれていない Linux イメージの場合は、イメージをインポートする前にオンプレミスの virtio ドライバをインストールする必要があります。

### サーバ上の virtio ドライバの可用性のチェック

virtio ドライバがすでにサーバのカーネルに組み込まれているかどうかを調べるには grep -i virtio /boot/config-\$(uname -r)を実行します。



説明:

- 説明 1. 出力に VIRTIO\_BLKとVIRTIO\_NETが存在しない場合、virtio ドライバはカーネ ルに組み込まれておらず、virtio ドライバのインストールと設定 を実行する必要があり ます。

- 説明 2. CONFIG\_VIRTIO\_BLKとCONFIG\_VIRTIO\_NETの値が yの場合、virtio ドライ バはすでにカーネルに組み込まれています。イメージインポートの注意事項 を確認し、 イメージのインポート を実行することができます。
- **説明 3**.CONFIG\_VIRTIO\_BLKとCONFIG\_VIRTIO\_NETの値が mの場合、ステップ2に進みます。

lsinitrd /boot/initramfs-\$(uname -r).img | grep virtio を実行します。 virtio ドライバが一時 ファイル initramfs、initrd に含まれるかどうかを確認します。

| [root@     | 11168   | ee foj i | Herendelt Le  | ~]# lsinitrd | /boc  | t/initra | m <del>fs-\$(uname</del> | r).im    | g   grep | virtio  |                |             |               |             |
|------------|---------|----------|---------------|--------------|-------|----------|--------------------------|----------|----------|---------|----------------|-------------|---------------|-------------|
| Arguments  | : -f    | add-     | drivers '     | xen-blkfront | xen-  | blkfront | virtio_blk               | virtio   | blk vir  | tio_pci | virtio_pci vi  | rtio_consol | e virtio_cons | sole'       |
| - rw- r r  | - 1     | root     | root          | 7628         | Sep 1 | 3 07:14  | usr/lib/moc              | ules/3.  | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/b | lock/virtio_l | olk.ko.xz   |
| -rw-rr     | - 1     | l root   | root          | 12820        | Sep 1 | 3 07:15  | usr/lib/mod              | lules/3. | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/c | har/virtio_co | onsole.ko.x |
| -rw-rr     | - 1     | l root   | root          | 7980         | Sep 1 | 3 07:16  | usr/lib/moc              | lules/3. | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/s | csi/virtio_so | csi.ko.xz   |
| drwxr-xr-> | x 2     | 2 root   | root          |              | Oct 2 | 4 14:09  | usr/lib/mod              | ules/3.  | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/v | irtio         |             |
| -rw-rr     | - 1     | l root   | root          | 4340         | Sep 1 | 3 07:16  | usr/lib/moc              | ules/3.  | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/v | irtio/virtio  | .ko.xz      |
| - rw-rr    | - 1     | root     | root          | 9480         | Sep 1 | 3 07:16  | usr/lib/moc              | ules/3.  | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/v | irtio/virtio  | pci.ko.xz   |
| - rw-rr    | - 1     | l root   | root          | 8136         | Sep 1 | 3 07:16  | usr/lib/mod              | ules/3.  | 10.0-693 | .2.2.el | 7.x86_64/kerne | l/drivers/v | irtio/virtio  | ring.ko.xz  |
| [root@lube | ol i ca | ee fait  | Revealed that | ~1#          |       |          |                          |          |          |         |                |             |               |             |

説明:

- 説明1 上図のように、virtio\_blk ドライバ(その依存関係 virtio.ko、virtio\_pci.ko、および virtio\_ring.ko) は一時ファイル initramfs に含まれる場合、イメージインポートの注意事項 を確認し、イメージのインポート を実行することができます。
- 説明 2 一時ファイル initramfs に virtio ドライバが含まれてない場合、イメージをイン ポートする前に 一時ファイルシステム (initramfs、initrd) の修復 する必要がありま す。

### 一時ファイルシステムの修復

virtio ドライバがカーネルでサポートされますが、一時ファイルシステムに含まれてない場合は、一時ファ イルシステムの修復する必要があります。修復の例を説明します。

### - CentOS/RedHat 5

mkinitrd -f --allow-missing \
--with=xen-vbd --preload=xen-vbd \
--with=xen-platform-pci --preload=xen-platform-pci \
--with=virtio\_blk --preload=virtio\_blk \
--with=virtio\_pci --preload=virtio\_pci \
--with=virtio\_console --preload=virtio\_console \

### - CentOS/RedHat 6/7

mkinitrd -f --allow-missing \
--with=xen-blkfront --preload=xen-blkfront \
--with=virtio\_blk --preload=virtio\_blk \
--with=virtio\_pci --preload=virtio\_pci \
--with=virtio\_console --preload=virtio\_console \
/boot/initramfs-\$(uname -r).img \$(uname -r)
fi

- Debian/Ubuntu

echo -e 'xen-blkfront\nvirtio\_blk\nvirtio\_pci\nvirtio\_console' >> \ /etc/initramfs-tools/modules mkinitramfs -o /boot/initrd.img-\$(uname -r)"

## virtio ドライバのインストール

Redhat の例を説明します。

カーネルパッケージのダウンロード

- 1. カーネルをコンパイルするのに必要なコンポーネントをインストールするには yum install -y ncurses-devel gcc make wgetを実行します。
- 2. uname -rを実行してカーネルバージョンを照会します。例は 4.4.24-2.a17.x86\_64 となります

[root@iZbp1127hr3wi6p2cq9lnbZ ~]# uname -r 4.4.24-2.al7.x86\_64

3. Linux カーネルアーカイブ から該当バージョンのカーネルソースをダウンロードします。例、カ ーネルバージョン 4.4.24 のダウンロートリンクは

https://www.kernel.org/pub/linux/kernel/v4.x/linux-4.4.24.tar.gz です。

| $\leftarrow \rightarrow$ C $\triangle$ $\triangleq$ Secure https://www.kernel | .org/pub/linux/kernel/v4.x/ |           |
|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------|
| Apps Apps                                                                     |                             |           |
| linux-4.4.22.tar.sign                                                         | 24-Sep-2016 08:13           | 801       |
| linux-4.4.22.tar.xz                                                           | 24-Sep-2016 08:13           | 87339320  |
| linux-4.4.23.tar.gz                                                           | 30-Sep-2016 08:54           | 132981677 |
| linux-4.4.23.tar.sign                                                         | 30-Sep-2016 08:54           | 801       |
| linux-4.4.23.tar.xz                                                           | 30-Sep-2016 08:54           | 87355844  |
| linux-4.4.24.tar.gz                                                           | 07-Oct-2016 13:42           | 132983580 |
| linux-4.4.24.tar.sign                                                         | 07-Oct-2016 13:42           | 801       |
| linux- <mark>4.4.24</mark> .tar.xz                                            | 07-Oct-2016 13:42           | 87357412  |
| linux-4.4.25.tar.gz                                                           | 16-Oct-2016 16:05           | 132985513 |

4. cd /usr/src/を実行してディレクトリを変更します。

5. インストールパッケージをダウンロードするには、 wget

https://www.kernel.org/pub/linux/kernel/v4.x/linux-4.4.24.tar.gzを実行します。

6. tar -xzf linux-4.4.24.tar.gzを実行してパッケージを解凍します。

- 7. ln -s linux-4.4.24 linuxを実行してリンクを作成します。
- 8. cd /usr/src/linuxを実行してディレクトリを変更します。

### カーネルのコンパイル

次のコマンドを実行して、ドライバをカーネルにコンパイルします。

make mrproper symvers\_path=\$(find /usr/src/ -name "Module.symvers") test -f \$symvers\_path && cp \$symvers\_path . cp /boot/config-\$(uname -r) ./.config make menuconfig 以下のウィンドウで、virtio ドライバの対応する設定を行います。

**注意**:ドライバをカーネルにコンパイルするには \*を選択します。ドライバをモジュールとしてコンパイルするには mを選択します。

| rrow keys navigate the menu. <<br>ress <esc><esc> to exit, <? > fo</esc></esc> | Enter> selects submenus>. Highlighted letters are hotkeys. Pro<br>r Help,  for Search. Legend: [*] built-in [] excluded <m> mon</m> |
|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                |                                                                                                                                     |
|                                                                                | General setup>                                                                                                                      |
|                                                                                | [*] Enable loadable module support>                                                                                                 |
|                                                                                | -*- Enable the block layer>                                                                                                         |
|                                                                                | Processor type and features>                                                                                                        |
|                                                                                | Power management and ACPI options>                                                                                                  |
|                                                                                | Bus options (PCI etc.)>                                                                                                             |
|                                                                                | Executable file formats / Emulations>                                                                                               |
|                                                                                | -*- Networking support>                                                                                                             |
|                                                                                | Device Drivers>                                                                                                                     |
|                                                                                | Firmware Drivers>                                                                                                                   |
|                                                                                | File systems>                                                                                                                       |
|                                                                                | Kernel hacking>                                                                                                                     |
|                                                                                | Security options>                                                                                                                   |
|                                                                                | -*- Cryptographic API>                                                                                                              |
|                                                                                | [] Virtualization>                                                                                                                  |
|                                                                                | ibrary routines>                                                                                                                    |
|                                                                                |                                                                                                                                     |
|                                                                                | Load an Alternate Configuration File                                                                                                |
|                                                                                | Save an Alternate Configuration File                                                                                                |

スペースバー を押して Virtualization を選択します。

KVM(Kernel-based Virtual Machine)のオプションを選択していることを確認します。



Processor type and features --->

- [\*] Paravirtualized guest support --->
- --- Paravirtualized guest support
- (128) Maximum allowed size of a domain in gigabytes
- [\*] KVM paravirtualized clock
- [\*] KVM Guest support

Device Drivers ---> [\*] Block devices ---> <M> Virtio block driver (EXPERIMENTAL) -\*- Network device support ---> <M> Virtio network driver (EXPERIMENTAL)

\*\* Escキーを押してカーネル設定ウィンドウを終了し、.configファイルに保存します。

virtio ドライバのすべての設定が正しく構成されているかどうかを確認します。

(オプション) 確認後、virtio ドライバの設定が完了してない場合は、次のコマンドを実行して .configファイルを手動で編集します。

make oldconfig make prepare make scripts make make install

virtio ドライバのインストール状況は、次のコマンドで確認できます。

find /lib/modules/"\$(uname -r)"/ -name "virtio.\*" | grep -E "virtio.\*" grep -E "virtio.\*" < /lib/modules/"\$(uname -r)"/modules.builtin

出力に virtio\_blk と virtio\_pci.virtio\_console が含まれている場合、 virtio ドラ イバは正しくインストールされています。

## フォローアップ作業

virtio ドライバをインストール後:

- Alibaba Cloud コンソールに イメージのインポート を実施できます。

# カスタムイメージの名前と説明の変更

# カスタムイメージの名前と説明の変更

カスタムイメージの説明および名前は、いつでも変更できます。

手順は次のとおりです。

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[イメージ]をクリックします。イメージのリストが表示されます。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. 編集するイメージを選択します。イメージのタイプは、[**カスタムイメージ**] である必要があります。
- 5. 名前の変更: イメージ名の上にマウスを移動します。小さいペンアイコンが表示されます。このア イコンをクリックしてイメージ名を変更します。
- 6. <u>説明の変更:</u> [**イメージの説明の変更**] をクリックします。

| C-D | ホーム プロダクトと           |                                | Q、検索                                  | AccessK            | eys テクニカルサポー              | ト・ ヘルプとドキュ:              | X>>                          | ••••                                          |
|-----|----------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------|
| =   | Elastic Compute Serv | イメージリスト China South 1 (        | Shenzhen) Singapore China North 1 (   | Qingdao) China Nor | th 2 (Beijing) China East | : 2 (Shanghai) US East : | L (Virginia) Hong Kong Dubai | ♀更新                                           |
| -   | 权要                   | Arran and a Calo               | (interfactor a (intergenous) - derine | any a (Frankrait)  | a Pacific NE 1 (Japan)    | o mean a (onicon voney)  |                              |                                               |
| æ   | インスタンス               | 注意:現在、イメージ機能はフリート              | ライアル中です。現在までに 1 個のカスタムイ               | (メージを作成済みです。       | あと 29 個のカスタムイメー           | シを作成できます。                |                              |                                               |
| 4   | ディスク                 | 1x-58 • 1x-58                  | 5を入力してください                            | 秋雨                 |                           |                          |                              | <u>×</u> •                                    |
| \$  | ▼ スナップショット           | <ul><li>ー イメージ ID/名前</li></ul> | イメージタイプ(カスタムイメージ) マ                   | OS ビット数            | 作成日時                      | ステータス 進行度                | タヴ                           | アクション                                         |
|     | スナップショット             |                                |                                       |                    |                           |                          |                              |                                               |
| Θ   | 自動スナップショッ…           | •                              | ☆ カスタムイメージ                            | CentOS 64분ット       | 2016-10-31 16:40:43       | 利用可能 100%                | イメージの説明の変更                   | <ul> <li>関連インスタンス</li> <li>イメージの共有</li> </ul> |
| ø   | イメージ                 |                                |                                       |                    |                           |                          |                              |                                               |
| *   | セキュリティグループ Ξ         | 副時                             |                                       |                    |                           | 合計: 1 項                  | 目, ページあたり: 20 項目 。           | < 1 × ×                                       |

7. [保存] をクリックします。

# カスタムイメージの削除

不要になったカスタムイメージを削除することができます。

### 手順

ECS コンソールにログオンします。

左側のナビゲーションペインで、**スナップショット&イメージ**> **イメージ**を選択します。

```
リージョンを選択してください。
```

削除するイメージを選択します。

注:イメージタイプはカスタムイメージでなければなりません。

| Elastic Compute Serv | イメージリスト     | China North 1 (Qingdao)   | China North 2 (Beijing)  | ) China North 3 (Zhangjiak  | ou) China North 5 (Huheha | ote)                                        |
|----------------------|-------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------------------------|
| 約里                   |             | China East 1 (Hangzhou)   | China East 2 (Shangha    | China South 1 (Shenzhe      | n) Hong Kong(China)       |                                             |
| インスタンス               |             | Asia Pacific NE 1 (Japan) | Singapore Australia      | 1 (Sydney) Asia Pacific SE  | 3 (Kuala Lumpur)          |                                             |
| ▼ ブロックストレージ          |             | Asia Pacific SOU 1 (Mum   | bai) US East 1 (Virginia | ) US West 1 (Silicon Valley | ) Dubai                   |                                             |
| クラウドディスク             |             |                           |                          |                             |                           | C イメージのインボート                                |
| ▼ スナップショット&イ…        |             |                           |                          |                             |                           |                                             |
| スナップショット             | イメージ パン     | プリックイメージ イメー              | シの共有                     |                             |                           |                                             |
| 自動スナップショッ…           | 注意:現在、イメー   | ·ジ機能はフリートライアル中            | です。現在までに 32 個の2          | カスタムイメージを作成済みです             | す。あと 368 個の力スタムイメー        | -ジを作成できます。 イメージはスナップショットか                   |
| イメージ                 | ら作成できます。    |                           |                          |                             |                           |                                             |
| ▼ ネットワーク & セキュ…      | イメージ名       | ▼ イメージ名を入力し               | てください                    | 検索 シタグ                      |                           | <u>.</u> ¢ ?                                |
| ネットワークインター・          |             |                           |                          |                             |                           |                                             |
| セキュリティグループ           | ✓ イメージ ID/条 | イメージ<br>3前 プ              | 0S                       | ビット<br>数 作成日時               | ステー 進行 タ<br>タス 度 グ        | アクション                                       |
| キーペア管理               | m-          |                           |                          |                             |                           |                                             |
| タグの管理                | uf6518p4y4p | j2x3yd1p8 😝 カスタム          | イメ Windows Server        | 32ビッ 2018-02-24             | 利用可 100%                  | イメーシの説明の変更   関連インスタンス<br>イメージのコピー   イメージの共有 |
| タスク管理                | Image       | -9                        | 2008                     | 1. 07.24.33                 | HC                        | イメージのエクスポート                                 |
|                      | ✓ 削除        | タグの編集                     |                          |                             | 合計: 1 項目, ページ             | びあたり: 100 ▼ 項目 《 < 1 > ≫                    |

**削除**をクリックします。

ダイアログボックスで、 [OK] をクリックします。

## よくある質問

# ECS インスタンスが作成された特定のカスタムイメージを削除できますか?

はい、**イメージを強制的に削除**することができます。ただし、カスタムイメージが削除された後、インスタ ンスのシステムディスクを再初期化することはできません。

| 通知 | ? ×                                                                              |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|
| ?  | 選択された 1 個のイメージ ~ に対して操作を実行します。よろしい<br>ですか?<br>要求: ○ 削除<br>● 強制削除                 |
|    | イメージを強制的に削除すると、そのイメージで作成されたインスタンス<br>はシステムディスクを再初期化できなくなります。<br>☑ 削除 を強制的に実行しますか |
|    | このイメージを削除すると、システムディスクを再初期化することはでき<br>ません。1 個のインスタンス 、 イメージの使用                    |
|    | OK キャンセル                                                                         |

# カスタムイメージのエクスポート

イメージエクスポート機能は、テスト目的またはオフラインプライベートクラウドにカスタムイメージをロ ーカルデバイスにエクスポートする際に使用します。このドキュメントでは、イメージのエクスポート機能 の制約と制限について説明し、ECS コンソールでイメージをエクスポートする方法について説明します。

**注意**:エクスポートされたイメージは、カスタムイメージとして同じリージョンである OSS バケットに 保存されています。OSS のストレージとダウンロードのトラフィック料金が生成されます。

### 制限

現在、イメージエクスポート機能には次の制約と制限があります。

イメージエクスポート機能を使用するには、ホワイトリストに登録が必要です。

システムディスクスナップショットによって作成されたカスタムイメージをマーケットプレイスか らエクスポートすることはできません。

データディスクの4つのスナップショットを含むカスタムイメージをエクスポートすることができます。単一データディスクの場合、最大ボリュームは100 GB 未満である必要です。

エクスポートされたイメージファイルのデフォルトの形式は RAW です。

### 前提条件

チケット を起票し、イメージのエクスポート機能を有効にします。

OSS の有効化とリージョンカスタムイメージが配置されている場所と利用できる OSS のバケット を確認します。OSS の作成方法についてはバケットの作成を参照してください。

### カスタムイメージのエクスポート

カスタムイメージをエクスポートするには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール]にログインします。

以下の手順に従って、ECS インスタンス ID に OSS リソースへのアクセスを許可します。

- i. 左側のナビゲーションペインで**[スナップショット&イメージ]**> **[イメージ]**を選択します 。
- ii. リージョンを選択します 。
- iii. エクスポートするカスタムイメージを探します。[アクション]列で、[イメージのエクス ポート]をクリックします。
- iv. [イメージのエクスポート]ダイアログボックスで、[アドレスの確認]をクリックします。
- v. [クラウドリソースアクセス権限付与]ウィンドウで、[権限付与に同意]をクリックします 。ECS コンソールのホームページに戻ります。

左側のナビゲーションペインで、[スナップショット&イメージ]> [イメージ]を選択します。

リージョンを選択します。

エクスポートするカスタムイメージを探します。[**アクション**]列で、[**イメージのエクスポート**]を クリックします。

**イメージのエクスポート**ダイアログボックスで、

- 指定されたリージョンにおける OSS のバケットを選択します。
- エクスポートされたイメージのオブジェクト名のプレフィックスを設定します。接頭辞 としてデモを設定した場合、エクスポートしたイメージファイルは、OSS バケットで Demo- [自動的に生成されたファイル名]という名前が付けられます。

イメージをエクスポートするには、OKをクリックしてください。

| イメージを作成すると<br>スですので、スナップ<br>イメージのインポート<br>1、最初に、以下す<br>2、イメージをエク<br>てください。<br>3、公式 ECS サー<br>ください。ア<br>4、イメージをイン | 同時にスナップショットも作成されます。 スナップショットは有料サービ<br>ショットイメージの料金が発生いたします。<br>手順:<br>な実行する必要があります: OSS の有効化<br>マスポートするリージョン内に OSS バケットが作成済みであることを確認し<br>ビスアカウントに自分の OSS へのアクセスを許可してあることを確認して<br>ドレスの確認<br>ンポートする前に、注意事項をよく確認してください。注意事項 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イメージ名:                                                                                                           | weiyong_test0112_image                                                                                                                                                                                                  |
| システムディスクの<br>サイズ (GB):                                                                                           | 40                                                                                                                                                                                                                      |
| オペレーティングシ<br>ステム:                                                                                                | windows                                                                                                                                                                                                                 |
| システムプラットフ<br>オーム:                                                                                                | Windows Server 2012                                                                                                                                                                                                     |
| システムアーキテク<br>チャ:                                                                                                 | x86_64                                                                                                                                                                                                                  |
| イメージのリージョ<br>ン:                                                                                                  | China North 1 (Qingdao)                                                                                                                                                                                                 |
| * OSS バケットアド<br>レス:                                                                                              | イメージのエクスポート先のバケット…                                                                                                                                                                                                      |
| * 0SS オブジェクト<br>プレフィックス:                                                                                         | DEMO                                                                                                                                                                                                                    |
|                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                         |

エクスポートの継続時間は、イメージファイルのサイズとキュー内の他のエクスポートタスクの数によって 異なります。エクスポートが完了するまで待ちます。タスク ID に基づいてタスクの進捗状況を照会するには 、ECS コンソールの**タスクの管理**ページに移動します。**タスクのステータス**が**タスクが完了しました**の場合 、イメージは正常にエクスポートされます。

エクスポートタスクをキャンセルするには、[**タスクの管理**]ページに移動してタスクを見つけ、**タスクのキャンセル**をクリックします。

注意:エクスポート結果を照会するには、[OSS コンソール]にログインします。

## 次のステップ

エクスポートされたイメージファイルをダウンロードするには、OSS コンソールにログインし、オブジェクト URL の取得を参照します。

セキュリティグループ

## 適用シナリオ

このドキュメントで紹介する例は、クラシックネットワークにのみ該当します。

セキュリティを保証する以外に、セキュリティグループは次のような目的で使用できます。

- 安全なイントラネット通信の提供
- 特定の IP アドレスまたはポートの遮断
- 特定の IP アドレスのリモートログインのみの許可
- インスタンスに特定の IP アドレスへのアクセスのみの許可

### 安全なイントラネット通信の提供

クラシックネットワークで、異なる ECS インスタンス間でのイントラネット通信にセキュリティグループ を使用できます。次の 2 つの状況があります。

- 各インスタンスが同じリージョンに属し、アカウントも同じ

- 各インスタンスが同じリージョンに属しているが、アカウントが異なる

### 各インスタンスが同じリージョンに属し、アカウントも同じ

セキュリティグループルールを設定することで、リージョンとアカウントが同じであるクラシックネットワ ーク ECS インスタンス間でのイントラネットを介した通信を許可できます。

同じセキュリティグループ内の ECS インスタンスどうしは、デフォルトでイントラネット通信を行います 。一方、異なるセキュリティグループに属する ECS インスタンスどうしは、デフォルトでイントラネット 通信を行いません。

以下の解決策で、イントラネット通信を許可できます。

- 解決策 1: 同じセキュリティグループに ECS インスタンスを配置して、イントラネット通信を許可

する。

- 解決策 2: ECS インスタンスが同じセキュリティグループに含まれない場合は、アクセスタイプの セキュリティグループルールを設定して、2 つのセキュリティグループ間でのイントラネット通信 を許可します。[**権限付与オブジェクト**] で、他のインスタンスの IP アドレスを追加します。

### 各インスタンスが同じリージョンに属しているが、アカウントが異なる

セキュリティグループのルールを設定することで、同じリージョン異なるアカウントに属するクラシックネ ットワーク ECS インスタンスがイントラネット経由で通信できるようにすることができます。

同じで異なるアカウントに属するインスタンス間のイントラネット通信達成するためにリージョン 、各ユー ザーは次のことを実行する必要があります。

- インバウンドイントラネットに他のユーザーのセキュリティグループを追加します。
- 他のユーザーのセキュリティグループの ECS インスタンスに、そのアカウントのすべてのインス タンスにアクセスする権限を与えます。

**注意**:インスタンスのセキュリティを確保するため、従来のネットワークタイプのセキュリティグループの イントラネットインバウンドルールを設定する場合は、**セキュリティグループアクセスが認証タイプ**の最優 先事項です。**アドレス範囲アクセス**を選択する場合は、CIDR接頭辞 "/32"を持つ IP アドレスを a.b.c.d/32の形式で入力する必要があります。 IPv4 のみがサポートされています。

### 特定の IP アドレスまたはポートの遮断

セキュリティグループを使用して、特定の IP による ECS インスタンスアクセスを遮断、阻止、ブロックするか、特定のサーバーポートを IP アクセスから遮断します。手順は次のとおりです。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 設定するインスタンスを特定します。
- 3. <u>対象のインスタンスの [セキュリティグループ]</u>を開き、[ルール設定] をクリックします。

| <           | CCS1_TEST        |                  |     | ○ 奥新          |
|-------------|------------------|------------------|-----|---------------|
| インスタンスの詳細   | セキュリティグループリスト    |                  |     | セキュリティグループに追加 |
| インスタンスのディスク | セキュリティグループ ID/名前 | 22.48            | VPC | アクション         |
| インスタンスのスナッー |                  |                  |     |               |
| セキュリティクルーフ  | 13 ·             | System created s |     |               |

4. [イントラネット入力] をクリックし、[セキュリティグループルールを追加] をクリックします。

| <           |              |          | <ul> <li>・・ セキュリティク</li> </ul> | ループリスト        |            | 設定のチュートリアル 〇 亜新 | 戻る セキュリティグループルールを追加 |
|-------------|--------------|----------|--------------------------------|---------------|------------|-----------------|---------------------|
| セキュリティグループー | イントラネット入力 イン | >ラネット出力  |                                |               |            |                 |                     |
| セキュリティグループー | 確認付与ポリシー     | プロトコルタイプ | ポート範囲                          | 確認付与タイプ       | 権限付与オブジェクト | プライオリティ         | 日本                  |
|             | 許可           | すべて      | -1/-1                          | アドレスフィールドアクセス | 0.0.0/0    | 110             | クローン   制味           |

5. 権限付与ポリシーに [**拒否**] を選択し、[**権限付与オブジェクト**] に遮断する IP アドレスを入力しま す。[**OK**] をクリックします。

| 2キュリティグルーフ      | 『ルールを追加                                                                                                                     | × |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| NIC タイプ:        | インターネット                                                                                                                     |   |
| ルールの方向:         | 受信                                                                                                                          |   |
| 権限付与ポリシー:       | 拒否                                                                                                                          |   |
| プロトコルタイプ:       | <b>すべて</b> ▼                                                                                                                |   |
| * ポート範囲:        | -1/-1<br>値の範囲は 1 ~ 65535 です。例:<br>"1/200"、"80/80"                                                                           |   |
| 権限付与タイプ:        | アドレスフィールドアクセス                                                                                                               |   |
| 権限付与オブジェク<br>ト: | x.x.x.x/xx<br>権限付与オブジェクトの設定に習熟し<br>てください。権限付与ポリシーによっ<br>て、0.0.0.0/0 ですべての IP によるア<br>クセスが許可されるか拒否されるかが<br>決まります。 設定のチュートリアル |   |
| プライオリティ:        | 1<br>プライオリティ値は 1 ~ 100 です。デ<br>フォルトは、最も高いプライオリティ<br>を表す 1 です。                                                               |   |

6. 特定のポートへのアクセスを制限する (例: 特定の IP アドレスから ECS インスタンスのポート
 22 へのアクセスを遮断する) 場合は、権限付与ポリシーに [拒否] を選択し、プロトコルタイプに
 [TCP] を選択し、ポート範囲として [22/22] を入力して、権限付与オブジェクトには遮断する IP アドレスを入力します。その後、[OK] をクリックします。

キャンセル

 $\times$ 

| セキュリティグルーフ | プルールを追加                                  |   |
|------------|------------------------------------------|---|
| NIC タイプ:   | インターネット                                  | v |
| ルールの方向:    | 受信                                       | v |
| 権限付与ポリシー:  | 拒否                                       | v |
| プロトコルタイプ:  | ТСР                                      | v |
| * ポート範囲:   | 22/22                                    |   |
|            | 値の範囲は 1 ~ 65535 です。例:<br>"1/200"、"80/80" |   |

| 権限付与タイプ:  | アドレスフィールドアクセス                                                                                                 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 権限付与オブジェク | x.x.x.x/xx                                                                                                    |
|           | 権限付与オブジェクトの設定に習熟し<br>てください。権限付与ポリシーによっ<br>て、0.0.0.0/0 ですべての IP によるア<br>クセスが許可されるか拒否されるかが<br>決まります。 設定のチュートリアル |
| プライオリティ:  | 1<br>プライオリティ値は 1 ~ 100 です。デ<br>フォルトは、最も高いプライオリティ<br>を表す 1 です。                                                 |



## 特定の IP アドレスのリモートログインのみの許可

セキュリティグループを設定することで、特定の IP アドレスに対してのみ、インスタンスへのリモートログ インを許可できます。インターネットからの流入ルールを設定する必要があります。

Linux インスタンスを例に説明します。特定の IP アドレスからポート 22 へのアクセスを許可します。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 設定するインスタンスを特定します。
- 3. 対象のインスタンスの [セキュリティグループ] を開き、[ルール設定] をクリックします。
- 4. [インターネット入力] をクリックし、[セキュリティグループルールを追加] をクリックします。
- 5. 権限付与ポリシーに [許可]、プロトコルタイプに [TCP] を選択し、ポート範囲として「22/22」 を入力します。さらに対象のインスタンスにアクセスできる特定の IP アドレスを入力します (こ の例では 1.2.3.4)。優先順位は「1」を入力します。[OK] をクリックします。

 $\times$ 

キャンセル

セキュリティグループルールを追加

| NIC タイプ:        | インターネット                                                                                                                     |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ルールの方向:         | 受信 <b>*</b>                                                                                                                 |
| 権限付与ポリシー:       | 許可 <b>▼</b>                                                                                                                 |
| プロトコルタイプ:       | ТСР 🔻                                                                                                                       |
| * ポート範囲:        | 22/22<br>値の範囲は 1 ~ 65535 です。例:<br>"1/200"、"80/80"                                                                           |
| 権限付与タイプ:        | アドレスフィールドアクセス                                                                                                               |
| 権限付与オブジェク<br>ト: | 1.2.3.4/32<br>権限付与オブジェクトの設定に習熟し<br>てください。権限付与ポリシーによっ<br>て、0.0.0.0/0 ですべての IP によるア<br>クセスが許可されるか拒否されるかが<br>決まります。 設定のチュートリアル |
| プライオリティ:        | 1<br>プライオリティ値は 1 ~ 100 です。デ<br>フォルトは、最も高いプライオリティ<br>を表す 1 です。                                                               |

6. 他のセキュリティグループルールを追加します。権限付与ポリシーに [**拒否**]、プロトコルタイプに [**TCP**] を選択し、ポート範囲として「22/22」を、権限付与オブジェクトとして「0.0.0.0/0」を 入力します。優先順位は「2」を入力します。

| セキュリティグルーフ      | $\times$                                                                                                                   |       |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| NIC タイプ:        | インターネット 🔻                                                                                                                  |       |
| ルールの方向:         | 受信 <b>v</b>                                                                                                                |       |
| 権限付与ポリシー:       | 拒否                                                                                                                         |       |
| プロトコルタイプ:       | ТСР 🔻                                                                                                                      |       |
| * ポート範囲:        | 22/22<br>値の範囲は 1 ~ 65535 です。例:<br>"1/200"、"80/80"                                                                          |       |
| 権限付与タイプ:        | アドレスフィールドアクセス                                                                                                              |       |
| 権限付与オブジェク<br>ト: | 0.0.0.0/0<br>権限付与オブジェクトの設定に習熟し<br>てください。権限付与ポリシーによっ<br>て、0.0.0.0/0 ですべての IP によるア<br>クセスが許可されるか拒否されるかが<br>決まります。 設定のチュートリアル |       |
| プライオリティ:        | 2<br>プライオリティ値は 1 ~ 100 です。デ<br>フォルトは、最も高いプライオリティ<br>を表す 1 です。                                                              |       |
|                 | ОК                                                                                                                         | キャンセル |

2つのルールを設定すると、以下の結果が得られます。

- 優先順位 1 のルールに従い、1.2.3.4 からポート 22 へのアクセスリクエストが許可されます。
- 優先順位 2 のルールに従い、他の IP アドレスからポート 22 へのアクセスリクエストが拒否されます。

### インスタンスに特定の IP アドレスへのアクセスのみの許可

これを実現するには、まず、あらゆる IP (0.0.0/0) へのインターネット出力を拒否するよう設定します。 そのうえで、もう 1 つ別のルールを追加し、インスタンスがアクセスする特定の IP に対するインターネッ ト出力を許可します。許可ルールの優先順位を拒否ルールより高くします。

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 設定するインスタンスを特定します。
- 3. 対象のインスタンスの [セキュリティグループ] を開き、[ルール設定] をクリックします。

4. 権限付与ポリシーに [**拒否**] を選択し、権限付与オブジェクトとして「0.0.0.0/0」を入力します。 優先順位には 1 以上の値、たとえば 2 を入力します。[OK] をクリックします。 セキュリティグループルールを追加

| NIC タイプ:        | インターネット 🔻                                                                                                                  |    |       |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| ルールの方向:         | 送信    ▼                                                                                                                    |    |       |
| 権限付与ポリシー:       | 拒否                                                                                                                         |    |       |
| プロトコルタイプ:       | র্মন্য <b>•</b>                                                                                                            |    |       |
| * ポート範囲:        | -1/-1<br>値の範囲は 1 ~ 65535 です。例:<br>"1/200"、"80/80"                                                                          |    |       |
| 権限付与タイプ:        | アドレスフィールドアクセス 🔹                                                                                                            |    |       |
| 権限付与オブジェク<br>ト: | 0.0.0.0/0<br>権限付与オブジェクトの設定に習熟し<br>てください。権限付与ポリシーによっ<br>て、0.0.0.0/0 ですべての IP によるア<br>クセスが許可されるか拒否されるかが<br>決まります。 設定のチュートリアル |    |       |
| プライオリティ:        | 2<br>プライオリティ値は 1 ~ 100 です。デ<br>フォルトは、最も高いプライオリティ<br>を表す 1 です。                                                              |    |       |
|                 |                                                                                                                            | ОК | キャンセル |
|                 |                                                                                                                            |    |       |

5. 別のルールを追加します。権限付与ポリシーに [許可] を選択し、権限付与オブジェクトとしてイ ンスタンスがアクセスする特定の IP を入力します。優先順位は「1」を入力します。[OK] をクリ ックします。

インスタンスにログインして、ping または telnet でテストを行い、指定した IP 以外の IP アドレスにはア クセスできないことを確認できれば、設定は有効になっています。

デフォルトルール

このドキュメントでは、システムと自分で作成されたセキュリティグループの既定のルールについて説明します。

## システムで作成されたセキュリティグループ

システムによって作成されたセキュリティグループには、すべてのICMPポート、TCPポート22、および TCPポート3389にアクセスするためのルールしかありません。

- すべてのICMPポートは、エラーメッセージと運用情報を送信するために、ルータを含むネットワ ークデバイスによって使用されます。
- TCPポート22は、SSHを使用してLinuxインスタンスに接続するために使用されます。
- TCPポート3389は、Windowsリモートデスクトップを使用してWindowsインスタンスにリモー ト接続するために使用されます。

### クラシックネットワーク用

クラシックネットワークにおけるデフォルトセキュリティグループのデフォルトルールは次のとおりです。

- イントラネットの受信方向すべてを拒否し、イントラネットの送信方向すべてを許可します。
- インターネットの送信方向すべてを許可し、インターネットの受信方向はTCPプロトコルの22ポート(SSH接続用)と3389ポート(リモートデスク接続用)とICMPプロトコル(リモート接続用)のみ許可します。

### VPC 用

VPC におけるデフォルトセキュリティグループのデフォルトルールは次のとおりです。

- イントラネット受信とイントラネット送信の両方とも 0.0.0.0/0 宛てのすべてを許可します。つまり、VPC 内の全インスタンスの相互通信を許可します。
- VPC セキュリティグループルールでは、イントラネットかインターネットかにかかわらず、すべて のルールが**イントラネット**の送信方向と受信方向に対して設定されます。

| イントラネット入力 | イントラネット出力  |           |               |            |    |         |
|-----------|------------|-----------|---------------|------------|----|---------|
| 権限付与ポリシー  | プロトコルタイプ   | ポート範囲     | 権限付与タイプ       | 権限付与オブジェクト | 說明 | プライオリティ |
| 許可        | Custom TCP | 22/22     | アドレスフィールドアクセス | 0.0.0/0    | Ξ. | 110     |
| 許可        | Custom TCP | 3389/3389 | アドレスフィールドアクセス | 0.0.0/0    | 2  | 110     |
| 許可        | All ICMP   | -1/-1     | アドレスフィールドアクセス | 0.0.0/0    | ×  | 110     |

優先度110のルールは、追加するルールによって隠される可能性があります。優先度は1~100の数値 にしか設定できません。

### カスタムセキュリティグループ用

ユーザー定義のセキュリティグループの場合、既定のセキュリティグループの既定のルールは次のとおりで す。

- すべての送信トラフィックに許可します。

- イントラネットとインターネットの両方の受信トラフィックをすべて破棄します。

# セキュリティグループの作成

# セキュリティグループの作成

セキュリティ分離の重要な方法として、セキュリティグループは仮想的なファイアウォールとして機能し、1 つ以上の ECS インスタンスに対するネットワークアクセス制御の設定に用いられます。ECS インスタンス の作成時に、セキュリティグループを選択する必要があります。セキュリティグループルールを追加して、 セキュリティグループ内のすべての ECS インスタンスに関するアウトバウンドとインバウンドのネットワ ークアクセスを制御することもできます。

手順は次のとおりです。

- 1. ECS 管理コンソール にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[**セキュリティグループ**] をクリックします。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. [セキュリティグループの作成] をクリックします。
- 5. セキュリティグループを作成するダイアログボックスが表示されたら、次の情報を入力します。
   セキュリティグループ名: 長さは 2 ~ 128 文字とします。名前の先頭は、大文字/小文 字の英字または漢字を使います。数字、"\_"、"-"を含めることができます。
  - 説明: 長さは 2 ~ 256 文字とします。http:// または https:// を先頭にすることはできません。
  - ネットワークタイプを選択します。クラシックネットワークと VPC という 2 種類のネ ットワークタイプがあります。VPC を選択する場合は、特定の VPC を選択する必要が あります。現在のリージョンで VPC をまだ作成していない場合は、最初の 1 つを作成 する必要があります。
- 6. [OK] をクリックして、セキュリティグループを作成します。

## セキュリティグループルールの権限付与

権限を付与されたセキュリティグループルールは、特定のセキュリティグループに属する ECS インスタン スに対して、インターネットやイントラネットを介したインバウンド/アウトバウンドのアクセスを許可また は禁止します:

- VPC ネットワーク:入力と出力の設定が可能です。プライベートとインターネットに異なったルー ルを設定できません。
- クラシックネットワーク: インターネットとイントラネットそれぞれに別々の入力と出力のルール が必要です。

変更したセキュリティグループルールは、そのセキュリティグループに関連する ECS インスタンスに自動 で適用されます。

### 事前準備

セキュリティグループを作成します。詳細は、セキュリティグループの作成 を参照してください。

インスタンスに対するインターネットとイントラネットとプライベートの許可と拒否を知っておく必要があります。

### 操作手順

[ECS 管理コンソール] にログインします。

左側のナビゲーションバーで、[**セキュリティグループ**] をクリックします。

リージョンを選択します。

ルールを許可するセキュリティグループを特定し、[**ルール設定**] をクリックします。

[セキュリティグループルールを追加] をクリックします。

ダイアログボックスで、次のパラメータを設定します。

- [NICタイプ]:

- 対象のセキュリティグループが VPC に属している場合、NICを選択する必要が ありません。
  - インスタンスがインターネットにアクセスできる場合、ルールはイン ターネットとイントラネット両方で有効です。
  - インスタンスがインターネットにアクセスできない場合、ルールはイントラネットでのみ有効です。

 対象のセキュリティグループがクラシックネットワークに属している場合、 [インターネット] または [イントラネット] を選択します。

### - [ルールの方向]:

- アウトバウンド: ECSインスタンスは、イントラネット、プライベートネット ワーク、またはインターネットリソースを介して他のECSインスタンスにアク セスします。
- インバウンド:イントラネットまたはプライベートネットワーク内の他の ECSインスタンスとインターネットリソースがECSインスタンスにアクセスします。

### **権限付与ポリシー: [許可]** または [拒否] を選択します。

### 注意:

0

[拒否]ポリシーは、応答を返さずにデータパケットを破棄します。 認証ポリシー以 外の2つのセキュリティグループが重複している場合は、 [拒否] ルールが [許可] ル ールよりも優先されます。

[プロトコルタイプ] および [ポート範囲]: ポート範囲の設定は、選択したプロトコルタイ プの影響を受けます。次の表は、プロトコルタイプとポート範囲の関係を示しています

| プロトコルタイプ   | ポート範囲                                                                 | シナリオ                                                            |
|------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| All        | -1/-1 はすべてのポート<br>を示します。                                              | 両方のアプリケーション<br>が完全に信頼されるシナ<br>リオで使用されます。                        |
| All ICMP   | -1/-1 はすべてのポート<br>を示します。                                              | Pingツールを使用して<br>インスタンスのネットワ<br>ーク接続ステータスを検<br>出するために使用されま<br>す。 |
| All GRE    | -1/-1 はすべてのポート<br>を示します。                                              | VPNサービスに使用さ<br>れます。                                             |
| Custom TCP | カスタムポートの場合、                                                           | 1つまたは複数の連続す                                                     |
| Custom UDP | 有効なポート値は<br>1~65535で、 有効な<br>ポート範囲の形式は <b>開</b><br><b>始ポート/ 終了ポート</b> | るポートを許可または拒<br>否するために使用されま<br>す。                                |
| SSH        | 22/22、デフォルトは<br>SSHポート22として表<br>示されます。                                | Linuxインスタンスへの<br>リモート接続に使用され<br>ます。                             |
| TELNET     | 23/23と表示されます。                                                         | Telnetを使用してインス<br>タンスにリモートログオ<br>ンするために使用されま<br>す。              |
| HTTP       | 80/80と表示されます。                                                         | このインスタンスは、<br>Webサイトまたは                                         |

|            |                                                    | Webアプリケーション<br>のサーバーとして使用さ<br>れます。                                                 |
|------------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| HTTPS      | 443/443と表示されま<br>す。                                | このインスタンスは、<br>HTTPSプロトコルをサ<br>ポートするWebサイト<br>またはWebアプリケー<br>ションのサーバーとして<br>使用されます。 |
| MS SQL     | 1433/1433と表示され<br>ます。                              | インスタンスはMS<br>SQLサーバーとして使用<br>されます。                                                 |
| Oracle     | 1521/1521と表示され<br>ます。                              | インスタンスはOracle<br>SQL Serverとして使用<br>されます。                                          |
| MySQL      | 3306/3306と表示され<br>ます。                              | インスタンスは<br>MySQLサーバーとして<br>使用されます。                                                 |
| RDP        | 3389/3389と表示され<br>ます, デフォルトの<br>RDPポートは3389です<br>。 | Windowsインスタンス<br>へのリモート接続に使用<br>されます。                                              |
| PostgreSQL | 5432/5432と表示され<br>ます。                              | インスタンスは<br>PostgreSQLサーバとし<br>て使用されます。                                             |
| Redis      | 6379/6379と表示され<br>ます。                              | インスタンスはRedisサ<br>ーバーとして使用されま<br>す。                                                 |

ポート25はデフォルトで無効になっており、セキュリティグループルールを追加す ることで有効にすることはできません。

**認可タイプ**および**認可オブジェクト**:認可オブジェクトは認可タイプの設定に影響しま す。次の表は、それらの関係を示しています。

| 承認タイプ                 | 権限オブジェクト                                                                                                                             |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Address Field Access  | <i>10.0.0.0</i> または <i>192.168.0.0 / 24</i> な<br>どのIPまたはCIDRブロック形式を使用<br>します。IPv4アドレスのみがサポート<br>されています。0.0.0.0/0はすべての<br>IPアドレスを示します |
| Security Group Access | アカウントまたは別のアカウントのセ<br>キュリティグループ内のインスタンス<br>にこのセキュリティグループ内のイン<br>スタンスにアクセスする権限を与えま<br>す。<br>• <b>このアカウントの認証</b> :アカ                    |

|  | ウントのセキュリティグルー                              |
|--|--------------------------------------------|
|  | プを選択します。                                   |
|  | <ul> <li>他のアカウントの認証</li> <li>シー</li> </ul> |
|  | ゲットセキュリティグループ                              |
|  | IDとアカウントIDを入力しま                            |
|  | す。 <b>アカウント管理</b> > <b>セキュ</b>             |
|  | <b>リティ設定</b> でアカウントIDを                     |
|  | 表示できます。                                    |
|  | VPCネットワークインスタンスの場合                         |
|  | 、セキュリティグループアクセスはプ                          |
|  | ライベートIPアドレスに対してのみ機                         |
|  | 能します。インターネットIPアドレス                         |
|  | へのアクセスを許可する場合は、アド                          |
|  | レスノイールトアクセスを使用します                          |
|  | 0                                          |

注:

インスタンスのセキュリティを保証するために、クラシックネットワークタイプの セキュリティグループのイントラネットインバウンドルールを設定する場合、セキ ュリティグループアクセスが認証タイプの最優先事項です。 Address Field Access を選択し、CIDR形式でIPアドレスを入力する場合は、IPアドレスを abcd/32の形式で入力する必要があります。有効なCIDR接頭辞は32だけです。

- **優先度**: 1-100。数値が小さいほど優先度が高くなります。優先順位の詳細については、セキュリ ティグループルールの優先順位を参照してください。

7. OK をクリックして、指定したセキュリティグループにセキュリティグループルールを追加します。

## セキュリティグループが有効かどうかの確認

Web サービスのサーバーにセキュリティグループを追加する場合を想定します: TCP 80番からの入力を許可します。

セキュリティグループは通常適用後、すぐに有効になりますが、状況によってはしばらく時間がかかる ことがあります。

### Linux インスタンス

セキュリティグループを Linux インスタンスに適用した場合、以下の手順で有効化されているか確認します 。

リモートから ECS へ接続します。

TCP 80 がリッスン中か以下のコマンドで確認します。

netstat -an | grep 80

以下のように表示される場合、TCP 80 はリッスン中です。

tcp 0 0.0.0.0:80 0.0.0.0:\* LISTEN

ブラウザのアドレスに http://IP address を入力します。ルールが行こうになっている場合、ア クセスは成功します。

### Windows インスタンス

セキュリティグループを Windows インスタンスに適用した場合、以下の手順で有効化されているか確認します。

リモートから ECS へ接続します。

cmd を実行します。TCP 80 がリッスン中か以下のコマンドで確認します。

netstat -aon | findstr :80

以下のように表示される場合、TCP 80 はリッスン中です。

TCP 0.0.0.080 0.0.0.0 LISTENING 1172

ブラウザのアドレスに http://IP address を入力します。ルールが行こうになっている場合、ア クセスは成功します。

セキュリティグループルールの優先順位について

セキュリティグループの **優先度** は 1 から 100 までの数字で決まります。値が小さいほど優先度が高くなります。

ECS インスタンスは、異なるセキュリティグループに属します。一つ以上のグループで、同じプロトコルタ イプ、ポート範囲、認証タイプ、認証オブジェクトのルールがある場合、以下のテーブルの動作に従います 。詳細は、**結果**列を参照してください。

| 番号 | セキュリティグ<br>ループルール | 優先度 | 認証ポリシー | 結果       |
|----|-------------------|-----|--------|----------|
| i  | А                 |     | Allow  | B が有効化され |
| 1  |                   |     |        | より。问し優先  |
|    | В                 |     | Drop   |          |
|    |                   |     |        |          |

|    |   |   |       | 度であった場合<br>、認証ポリシー<br>は Drop が優先<br>されます。 |
|----|---|---|-------|-------------------------------------------|
|    | С | 1 | Allow | C が有効化され                                  |
| ii | D | 2 | Drop  | ょぅ。優先度か<br>高い方が有効に<br>なります。               |

# セキュリティグループリストの照会

## セキュリティグループリストの照会

管理コンソールで、セキュリティグループを照会することができます。手順は次のとおりです。

- 1. ECS 管理コンソール にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[**セキュリティグループ**] をクリックします。
- 3. リージョンを選択して、そのリージョンの全セキュリティグループを含むリストを表示します。
- 4. フィルター入力ボックスに VPC ID を入力し、この VPC に属するセキュリティグループをすべて 表示できます。

## セキュリティグループのプロパティ変更

セキュリティグループの名前と説明を変更することができます。

手順は次のとおりです。

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、[**セキュリティグループ**] をクリックします。

リージョンを選択して、そのリージョンの全セキュリティグループを含むリストを表示します。

変更するセキュリティグループを特定します。次の2つの方法が利用できます。
- 名前の変更: 名前の上にマウスを移動して、表示された変更アイコンをクリックし、セキュリティグループ名を変更します。
- 名前と説明の変更: 変更するセキュリティグループの右にある [**変更**] をクリックします 。表示されるダイアログボックスで、グループ名と説明を変更できます。

[OK] をクリックして、セキュリティグループを変更します。

# セキュリティグループルールの照会

# セキュリティグループルールの照会

セキュリティグループルールを照会できます。次の手順で行います。

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、[ネットワーク&セキュリティ] > [セキュリティグループ] をクリックします。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. セキュリティグループを選択し、[**ルール設定**] をクリックします。
- 5. 内容はクラシックネットワークと VPC で異なります。
  - セキュリティグループが VPC の場合は、[イントラネット入力] と [イントラネット出力]
     ] の 2 つのセキュリティグループルールタブが表示されます。
  - セキュリティグループがクラシックネットワークの場合は、[インターネット入力]、[イ ンターネット出力]、[イントラネット入力]、[イントラネット出力] の 4 つのセキュリテ ィグループルールタブが表示されます。

6. タブをクリックすると、指定したタイプのセキュリティグループルールが表示されます。

# セキュリティグループルールの取り消し

# セキュリティグループルールの取り消し

今後適用しないセキュリティグループルールを取り消すことができます。次の手順で行います。

1. ECS 管理コンソールにログオンします。

- 2. 左側のナビゲーションバーで、[**セキュリティグループ**] をクリックします。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. ルールを取り消すセキュリティグループを選択し、[**ルール設定**] をクリックします。
- 5. セキュリティグループの管理ページで、取り消すルールのタイプ:
- VPCの場合は、[イントラネット入力]、[イントラネット出力] から選択します。 クラシックネットワークの場合は、 [インターネット入力]、[インターネット出力]、[イントラネッ ト入力]、[イントラネット出力] から選択します。
- 6. セキュリティグループルールを選択し、[**削除**] をクリックします。
- 7. 表示されるダイアログボックスで、[**OK**] をクリックします。セキュリティグループルールがキャンセルされます。

# セキュリティグループの削除

不要になったセキュリティグループは削除できます。

#### 注意:

- 特定のセキュリティグループが ECS インスタンスを含んでいない、または他のセキュリティグル ープのルールで参照されていない場合は、そのセキュリティグループを削除できます。
- セキュリティグループを削除すると、そのセキュリティグループルールもすべて削除されます。

コンソールを使用してセキュリティグループを削除する手順は、次のとおりです。

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションバーで、[**ネットワーク&セキュリティ**] > [**セキュリティグループ**] をクリッ クします。

リージョンを選択して、そのリージョンの全セキュリティグループを含むリストを表示します。

1 つまたは複数の (あるいはすべての) セキュリティグループを選択します。

[**削除**] をクリックします。

表示されたダイアログボックスで [**OK**] をクリックし、選択したセキュリティグループを削除します。

# セキュリティグループのクローン

Alibaba Cloud では、異なるリージョン間および異なるネットワークタイプ間でのセキュリティグループの クローン作成に対応しています。

### 適用シナリオ

以下のシナリオでは、セキュリティグループのクローンを作成する必要があります。

リージョン A に SG1 という名前のセキュリティグループを既に作成していて、SG1 と同じルー ルをリージョン B の ECS インスタンスに適用しようとしています。この場合、リージョン B に新 しいセキュリティグループを作成せずに、リージョン B に SG1 のクローンを作成することができ ます。

クラシックネットワークで SG2 という名前のセキュリティグループを既に作成していて、SG2 と 同じルールを VPC ネットワークタイプのインスタンスに適用したい場合、設定の際にVPCを選ん で SG2 のクローンを作成することができます。つまり VPC ネットワーク内で SG2 と同じルール の新しいセキュリティグループとなります。

オンラインビジネスアプリケーションを実行する ECS インスタンスに新しいセキュリティグルー プルールを適用する場合、ルールを変更する前にバックアップとしてセキュリティグループのクロ ーンを作成しておくことをお勧めします。そうすることで、新しいセキュリティグループルールが オンラインビジネスアプリケーションにとってマイナスの影響を及ぼす場合、そのルールの全部ま たは一部を元に戻すことができます。

### 前提条件

セキュリティグループのネットワークタイプをクラシックから VPC に変更する場合は、まずターゲットリ ージョンに VPC と VSwitch を作成する必要があります。

#### 手順

セキュリティグループのクローンを作成するには、次の手順に従います。

ECS 管理コンソール にログインします。

左側のナビゲーションペインで、[ネットワーク&セキュリティ] > [セキュリティグループ] をク

リックします。

[**セキュリティグループリスト**] ページでターゲットリージョンを選択します。

ターゲットセキュリティグループを特定して、[アクション]列で [クローン] をクリックします。

[**クローン**] ダイアログボックスで、新しいセキュリティグループに次の情報を設定します。

- **コピー先のリージョン**: 新しいセキュリティグループに適したリージョンを選択します。 現時点ではすべてのリージョンがサポートされているわけではありません。サポートさ れているリージョンはドロップダウンリストに表示されます。
- セキュリティグループ名: 新しいセキュリティグループの名前を指定します。
- **ネットワークタイプ**:新しいセキュリティグループに適したネットワークタイプを選択します。VPC を選択する場合は、ドロップダウンリストから1 つの VPC を選択します。

[OK] をクリックします。

新しいセキュリティグループが [セキュリティグループリスト] に表示されます。

### セキュリティグループルールの復元

セキュリティグループルールの復元とは、元のセキュリティグループのルールをターゲットセキュリティグ ループのルールに完全または部分的に復元するプロセスを表します。具体的には次のとおりです。

完全な復元は、ターゲットセキュリティグループに存在しないルールを元のセキュリティグループ から移動し、ターゲットセキュリティグループにのみ存在するルールを元のセキュリティグループ に追加することを意味します。復元後、元のセキュリティグループのルールはターゲットセキュリ ティグループのルールと同じになります。

**部分的な復元**は、ターゲットセキュリティグループにのみ存在するルールを元のセキュリティグル ープに追加し、元のグループにのみ存在するルールは無視することを意味します。

#### 制約

セキュリティグループルールの復元には、次の制限があります。

元のセキュリティグループとターゲットセキュリティグループは同じリージョンにある必要があり

ます。

元のセキュリティグループとターゲットセキュリティグループは同じネットワークタイプである必要があります。

優先度が 110 の任意のシステムレベルのセキュリティグループルールがターゲットセキュリティ グループに存在する場合、それらは復元時に作成されません。復元後、元のセキュリティグループ のルールは予想されるルールと異なる場合があります。システムレベルのセキュリティグループル ールが必要な場合は、ルールを手動で作成し、優先度を 100 に設定する必要があります。

#### ユースケース

オンラインビジネスアプリケーションを実行する ECS インスタンスに新しいセキュリティグループルール を適用する場合、以前のセキュリティグループのクローンをバックアップとして作成し、その中のルールを 変更できます。新しいセキュリティグループルールがオンラインビジネスアプリケーションを害する場合、 そのルールの全部または一部を復元できます。

#### 前提条件

同じリージョン内の同じネットワークタイプのセキュリティグループを少なくとも 1 つ所有している必要が あります。

### 手順

セキュリティグループのルールを復元するには、次の手順を実行します。

ECS 管理コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、[**ネットワークとセキュリティ**] > [**セキュリティグループ**] をクリ ックします。

[**セキュリティグループリスト**] ページでターゲットリージョンを選択します。

元のセキュリティグループとしてルールを復元するセキュリティグループを探し、[**アクション**] 列 で [**ルールの復元**] をクリックします。

[ルールの復元] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

i. [**ターゲットセキュリティグループ**] を選択します。元のセキュリティグループとは異な るルールを持つ必要があるターゲットセキュリティグループとしてセキュリティグルー プを選択します。

ii. [**復元のタイプ**] を選択します。

- i. 元のセキュリティグループがターゲットセキュリティグループと同じルールを 持つようにする場合は、[**完全に復元**] を選択します。
- ii. ターゲットセキュリティグループにのみ存在するルールを元のセキュリティ グループに追加するだけの場合は、[**部分的に復元**]を選択します。
- iii. [**結果のプレビュー**] 領域で、復元結果をプレビューします。
  - i. 緑色で表示されているルールはターゲットセキュリティグループにのみ存在します。[完全に復元] と [部分的に復元] のどちらを選択するかにかかわらず、これらのルールは元のセキュリティグループに追加されます。
  - ii. 赤色で表示されているルールはターゲットセキュリティグループに存在しないルールです。[完全に復元] が選択されている場合、これらのルールは元のセキュリティグループから削除されます。[部分的に復元] が選択されている場合、ルールは元のセキュリティグループに維持されます。

[OK] をクリックします。

正常に作成されると、[**ルールの復元**] ダイアログボックスが自動的に閉じます。[**セキュリティグループリス** ト] で、ルールを復元した元のセキュリティグループを探します。[**アクション**] 列で、[**ルール設定**] をクリ ックして [**セキュリティグループルール**] ページを開き、更新されたセキュリティグループルールを表示しま す。

キーペア

# SSH キーペアの作成

# 制限

Alibaba Cloud では RSA 2048bit の SSH キーペアのみ対応しています。

- Alibaba Cloud には SSH キーペアの公開鍵を保管しています。
- キーペアが作成された段階でユーザーが秘密鍵をダウンロードする必要があります。
- 秘密鍵は暗号化されていない PEM の PKCS#8 形式を採用しています。

1アカウントの各リージョンにつき、最大 500 個の秘密鍵を作成することができます。

#### 操作手順

[ECS コンソール] にログインします。

ナビゲーションの [キーペア管理] をクリックします。

[キーペア作成] をクリックします。

| Elastic Compute Serv | キーペア管理   | China South 1 (She | enzhen) Singap | ore China North 1 (Qingdao) | China North 2 (BeiJing) | China East 2 (Shanghai) | US East 1 (Virginia) | Hong Kong | China East 1 (Hangzhou) | Asia Pacific NE 1 (Japan) | :                | - 4   | -~7/112    |
|----------------------|----------|--------------------|----------------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|-----------|-------------------------|---------------------------|------------------|-------|------------|
| 61 <del>10</del>     |          | US West 1 (Silicon | Valley)        |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| インスタンス               | キーペア名    | + +                | - ペア名で検索       |                             | k.R                     |                         |                      |           |                         |                           |                  |       | ?          |
| ▼ プロックストレージ          | ■ #-478  |                    |                | キーペアフィンガープリント               |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       | 作成         |
| クラウドディスク             | ■ テストキーペ | ア住畜                |                | 4d95a4f48a18fc6be825abf5a   | c9844ce                 |                         |                      |           |                         | 4-                        | -1070016128   #- | -ペアの/ | (HID FREIR |
| ▼ スナップショット&イー        | e Mitt   |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         | 合計:1項目, ページあた!            | 2:50 • 제터 💡      |       |            |
| スナップショット             |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| 自動スナップショット…          |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| イメージ                 |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| ▼ ネットワーク&セキュー        |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| セキュリティグループ 亜         |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| キーペア管理               |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| クグの管理                |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
| クスク管理                |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |
|                      |          |                    |                |                             |                         |                         |                      |           |                         |                           |                  |       |            |

新しくウィンドウを開き、キーペア名を設定すると同時に **[キーペアを自動新規作成]** を選択しま す。

ECS にバインドされているキーペアを、バインド解除しなくても削除してしまうことは可能ですが、この場合、同じキーペア名称の利用が以後できなくなりますのでご注意ください。

対象となるキーペア名称を指定した場合、コンソールでは【キーペアがすでに存在しています。】 というエラーメッセージが表示されます。

キーペアを削除する前に ECS とのバインドの解除を行うことで、同じキーペア名称を繰り返し使 用することは可能です。

| *キーペア名:  | テストキーペア                                                                                |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 長さは 2 ~ 128 文字で、先頭は大文字または小文字の英字、漢字、平仮名、片仮名である必要があります。後続の文字には、数字、"、"、"、" を使<br>ことができます。 |
| 新規タイプ作成: | ◉ キーペアを目動新規作成 ◎ 既存麺をインボート                                                              |
|          | 秘密キー作成後に必ずダウンロードしてください。一回のみダウンロード可能です。                                                 |
|          | ок <i>キャン</i> セル                                                                       |

[OK] をクリックし、秘密鍵をダウンロードします。

注意: 必ず秘密鍵をダウンロードする必要があります。秘密鍵がない場合、ECS にログインすることができません。 \*\*\*\*\*

キーペア作成後、キーペア管理ページに作成したキーペアの **キーペア名、キーペアフィンガープリント** などの情報を確認することができます。

### 次の操作

SSHキーペア作成後、SSH キーペアのバインド/バインド解除を参照してください。

# SSH キーペアのインポート

他の方法で SSH キーペアを作成し、公開鍵を Alibaba Cloud ECS にインポートすることができます。インポート可能の公開鍵形式は SSH キーペアについて を参照してください。

注意: 秘密鍵はユーザー自身が保管し、Alibaba Cloud にはインポートしないでください。

SSH キーペアをインポートするには、キーペアを作成し、公開鍵を Base64 コーディングの形で Alibaba Cloud ECS にインポートする必要があります。

### 操作手順

[ECS コンソール] にログインします。

ナビゲーションの [ネットワーク&セキュリティ] - [キーペア管理] をクリックします。

[キーペア作成] をクリックします。リージョンを選択し、[キーペア作成]を<u>クリ</u>ックします。



新しくウィンドウを開き、キーペア名を設定すると同時に [既存鍵をインポート] を選択し、公開 鍵を入力します。

ECS にバインドされているキーペアを、バインド解除しなくても削除してしまうことは可能ですが、この場合、同じキーペア名称の利用が以後できなくなりますのでご注意ください。

対象となるキーペア名称を指定した場合、コンソールでは【キーペアがすでに存在しています。】 というエラーメッセージが表示されます。

キーペアを削除する前に ECS とのバインドの解除を行うことで、同じキーペア名称を繰り返し使用することは可能です。

| キーペア作成 🔹 | キーペア作成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| *キーペア    | 名:                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| *新規タイプ作  | 滅: ◎ キーペアを自動新規作成 ⑧ 既存録をインボート                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| * 公禄     | 1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAAQAQABAAAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/939/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAAQAQABAAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/939/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAAQAQABAAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/932/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAAQAQABAAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/932/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAAQAQABAAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/932/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAQAQABAAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/932/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAQAQABAEQC/vz2jH00509d70/uviq0lz1f8/932/YMMcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAQAQABAEQC/vz2jH004/ymmcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAQAQABAEQC/vz2jH004/ymmcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAQAQABAEAQAEQC/vz2jH004/ymmcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAQAQABAEAQAEQC/vz2jH004/ymmcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAQAQABAEAQAEQC/vz2jH004/ymmcHBL           1         Skin-ras AAAA314cdyc2EAAAAAQABAEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA |
|          | ( base64エンコード ) インボートサンプル                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|          | OK キャンセル                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

OK をクリックし、公開鍵をインポートします。

インポート完了後、キーペア管理ページにインポートしたキーペアの **キーペア名、キーペアフィンガープリ ント** などの情報を確認することができます。

# SSH キーペアのバインド/バインド解除

#### 制限

- Linuxインスタンスにのみ適用されます。
- ECSインスタンスが実行中の状態の場合、SSHキーペアをインスタンスにバインドした後にインス タンスの再起動を実行します。
- インスタンスからキーペアのバインドを解除したら、インスタンスを再起動するを実行してSSHキ ーペアを無効にする必要があります。
- Linuxのログオンにパスワードベースの認証を使用すると、キーペアがバインドされた後にパスワード認証機能が自動的に無効になります。
- SSHキーペアがアンバインドされた後、接続を成功させるにはインスタンスのパスワードのリセットを実行する必要があります。
- I/Oに最適化されていない世代Iのインスタンスを除いて、インスタンス世代とタイプファミリのす べてのLinuxインスタンスインスタンスタイプファミリーは、SSHキーペアの認証方法をサポート しています。

### SSHキーペアをバインドする

SSHキーペアをECSインスタンスにバインドするには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール]にログオンします。

左側のナビゲーションペインで、**ネットワークとセキュリティ > キーペア**を選択します。

リージョンを選択します。

キーペアを選択し、インスタンスをバインドするをクリックします。バインドインスタンス ダイ アログボックスのインスタンス選択ボックスで、1つまたは複数のインスタンスを選択し、アイコ ン>をクリックします。

#### 注意:

インスタンスの選択ボックスでは、グレーのインスタンス名は、Windowsインスタンスまた はGeneration IのI / Oに最適化されていないインスタンスです。これらのインスタンスは SSHキーペアをサポートしていません。

OKをクリックします。

#### SSHキーペアをアンバインドする

ECSインスタンスからSSHキーペアをバインド解除するには、次の手順を実行します。

[ECS コンソール]にログオンします。

左側のナビゲーションペインで、**ネットワークとセキュリティ > キーペア**を選択します。

リージョンを選択します。

SSHキーペアを選択し、インスタンスをアンバインドするをクリックします。インスタンスのア ンバインド ダイアログで、インスタンスの選択ボックスで、インスタンスを1つ以上選択し、アイ コン>をクリックします。

OKをクリックします。

### SSH キーペアの削除

### SSHキーペアを削除する

キーペアが不要になった場合は、削除することができます。削除されたキーペアは回復できないことに注意 してください。キーペアを使用した既存のインスタンスは影響を受けず、削除されたキーペア名はインスタ ンスに関連付けられたままになります。

キーペアを削除するには、次の手順を参照してください。

[ECSコンソール]にログインします。

左側のナビゲーションペインで、 **[ネットワークとセキュリティ**]の下にある**キーペア**をクリックします。

1つまたは複数のキーペアを選択します。

削除> OK をクリックします。

注意:

- ECS にバインドされているキーペアを、バインド解除しなくても削除してしまうことは可能ですが、この場合、同じキーペア名称の利用が以後できなくなりますのでご注意ください。対象となるキーペア名称を指定した場合、コンソールでは【キーペアがすでに存在しています。】というエラーメッセージが表示されます。
- キーペアを削除する前に ECS とのバインドの解除を行うことで、同じキーペア名称を繰り返し使用することは可能です。

# **Elastic Network Interfaces**

# ENIのアタッチ

ECSコンソールでECSインスタンスを作成するときに、ENIをアタッチすることができます。インスタンス

の作成の詳細については、インスタンスの作成を参照してください。このドキュメントでは、ECSインスタンスの作成時にENIをアタッチする際の注意事項を説明します。

ECSインスタンスの作成時にENIを添付するときは、次の項目を考慮することをお勧めします。

#### 基本設定:

**インスタンスタイプ**: ENIをサポートするインスタンスタイプを選択します。詳細につい ては インスタンスタイプファミリー を参照してください。

イメージ:次のイメージのみ、追加設定無しで自動的にENIを認識できます。

- CentOS 7.3 64ビット
- CentOS 6.8 64ビット
- Windows Server 2016データセンターエディション64ビット
- Windows Server 2012 R2データセンターエディション64ビット 他のイメージの場合は、ENIの設定を行い、作成したインスタンスがENIを認識 できるようにする必要があります。

ネットワーキング:

ネットワーク: VPCを選択し、作成済みのVPCとVSwitchを選択します。

**Elastic ネットワークインターフェイス**: **ENIの追加**をクリックしてENIをアタッチし、 ENIを使用するVSwitchを選択します。

#### 注意:

コンソールによりインスタンスを作成する場合、最大2つのENIをアタッチできます 。そのうちの1つはプライマリネットワークインターフェイスで、自動的にアタッ チされ、もう1つはセカンダリネットワークインターフェイスです。インスタンス が開始されたら、コンソール インスタンスタイプに基づいて、または AttachNetworkInterface APIを使用して、インスタンスに複数のネットワークイ ンターフェイスを追加できます。

この方法で作成されたセカンダリネットワークインターフェイスを維持する場合は、インスタンスをリリー スする前にインスタンスからデタッチするを実行します。

# ENI の作成

ECS コンソールで ENI を作成し、インスタンスに ENI を使用できます。このドキュメントでは、ECS コン ソールで ENI を作成する方法について説明します。

#### 制限

ENI を作成するには、次の制限があります。

- 各 ENI は VPC の VSwitch に属しなければなりません。

- 各 ENI は 1 つのセキュリティグループに属する必要があります。

### 前提条件

ENI を作成する前に、次の操作を完了してください。

- VPC の作成、VPC に VSwitch の作成。

- 同じ VPC 内にセキュリティグループの作成。

### 手順

ENI を作成するには、次の手順を実行します。

ECS コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、[Networks&Security]>Network Interfaces を選択します。

中国北部3リージョンを選択します。

**作成**をクリックします。

作成ダイアログボックスで、次の設定を完了します。

i. **ネットワークインタフェース名**:ENI の名前を指定します。 ii. **VPC** :VPC を選択します。

注意:

インスタンスに ENI を接続するときは、ENI を同じ VPC に配置する必要がありま す。また、ENI を作成した後は、VPC を変更することはできません。

iii. VSwitch : VSwitch を選択します。

注意:

ENI をインスタンスに接続する場合、ENI を同じゾーンに配置する必要があります が、同じ VSwitch に配置する必要はありません。また、ENI を作成した後は、 VSwitch を変更することはできません。

- 6. IP :ENI のプライベート IP アドレスとして IPv4 アドレスを指定します。IPv4 アドレスは、指定 されたVSwitch のC IDR ブロックで使用可能でなければなりません。指定しない場合は、ENI の 作成後に、プライベート IP アドレスが ENI に自動的に割り当てられます。
- 7. SecurityGroup : 選択した VPC のセキュリティグループを選択します。
- 8. 説明:さらなる管理を容易にするための ENI の簡単な説明を記入します。
- 9. OK をクリックします。

**Network Interfaces** ページで、テーブルをリフレッシュしてください。新しい ENI が **Available** ステータ スになると、それは正常に作成されます。

### 関連操作

ENI を作成したら、次の操作を実行できます。

- インスタンスに ENI のアタッチ
- ENI の属性の変更
- ENI の削除

#### API

CreateNetworkInterface

# インスタンスに ENI のアタッチ

インスタンスに ENI をアタッチすることができます。このドキュメントでは、ECS コンソールのインスタンスに ENI をアタッチする方法について説明します。

#### 制限

ENI をインスタンスにアタッチするには、次の制限があります。

- セカンダリ ENI はインスタンスにのみアタッチできます。
- ENI は VPC インスタンスにのみアタッチでき、同じ VPC になければなりません。
- ENI とインスタンスの VSwitch は同じである必要はありませんが、同じゾーンになければなりません。

- ENI は Available の状態でなければなりません。
- インスタンスはStoppedステータスでなければなりません。
- ENI は、一度に1 つの VPC インスタンスにのみアタッチできます。ただし、VPC インスタンス は複数の ENI に関連付けることができます。1 つのインスタンスにアタッチできる ENI の最大数 の詳細については、インスタンスタイプファミリーを参照してください。

### 前提条件

ENI をインスタンスにアタッチする前に、次の操作を完了してください。

- ENI の作成。
- ENI が Available の状態であることを確認してください。
- インスタンスが複数の ENI に関連付けられることを確認し、インスタンスを停止します。

#### 手順

ENI をインスタンスにアタッチするには、次の手順を実行します。

ECS コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、[Networks&Security]>Network Interfaces を選択します。

中国北部3リージョンを選択します。

利用可能な ENI を探し、操作列でアタッチをクリックします。

**アタッチ** ダイアログボックスでインスタンスを選択し、**OK** をクリックします。

Network Interfaces ページで、テーブルをリフレッシュしてください。選択された ENI が InUse ステータ スになると、インスタンスに正常にアタッチされます。

### 関連操作

ENI がインスタンスにアタッチされた後、次の操作を実行できます。

- インスタンスから ENI のデタッチ、ENI の削除
- ENI 属性の変更
- ENI の設定

#### API

AttachNetworkInterface

# インスタンスから ENI のデタッチ

インスタンスからセカンダリ ENI は削除できますが、プライマリ ENI は削除できません。

### 制限

セカンダリ ENI をインスタンスからデタッチするには、次の制限があります。

- セカンダリ ENI は InUse ステータスでなければなりません。
- インスタンスは Stop ステータスでなければなりません。

### 前提条件

ENI はインスタンスにアタッチしています。ENI をインスタンスからデタッチする前に、インスタンスを停止する必要があります。

#### 手順

セカンダリENIをインスタンスからデタッチには、次の手順を実行します。

ECS コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、Networks & Security > Network Interfacesを選択します。

中国北部3リージョンを選択します。

InUse ステータスで ENI を探し、 Operations 列で Detach をクリックします。

**Detach** ダイアログボックスで情報を確認し、 **OK** をクリックします。

**Network Interfaces** ページで、テーブルをリフレッシュしてください。選択された ENI が **Available** ステ ータスになると、インスタンスから正常にデタッチされます。

#### 関連操作

ENI をインスタンスからデタッチした後、次の操作を実行できます。

- 別インスタンスへの ENI アタッチ
- ENI の削除
- ENI 属性の変更

### API

DetachNetworkInterface

# ENI 属性の変更

インスタンスのプライマリ ENI ではなくセカンダリ ENI の属性を変更できます。ENI の次の属性を変更できます。

- ENI の名前。
- ENI に関連付けられたセキュリティグループ。1つの ENI が少なくとも 1 つのセキュリティグルー プに関連付けられている必要があります。ただし、5 つ以上のセキュリティグループに関連付ける ことはできません。
- ENI の説明。

利用可能 または 利用中 ステータスの ENI の属性を変更することができます。

このドキュメントでは、ECS コンソールで ENI の属性を変更する方法について説明します。

### 前提条件

ENI の属性を変更する前に、ENI の作成を実行してください。

#### 手順

ENI の属性を変更するには、次の手順を実行します。

コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、[Networks&Security]>Network Interfaces を選択します。

リージョンを選択します。

ENIを探して、操作列で変更をクリックします。

変更ダイアログボックスで、次のオプション構成を変更します。

- ネットワークインタフェース名:選択した ENI の新しい名前を指定します。
   セキュリティグループ: ENI のセキュリティグループを追加選択するか、セキュリティグループを削除します。
- **説明**:ENI の簡単な説明を記入します。

変更が完了したら、 [OK] をクリックします。

### API

ModifyNetworkInterfaceAttribute

# ENI の削除

ENI を必要としない場合は、削除することができます。ただし、セカンダリ ENI は削除できますが、インス タンスのプライマリ ENI は削除できません。

ENI が削除されると、ENI のプライマリプライベート IP アドレスが自動的にリリースされ、関連するすべてのセキュリティグループから ENI が自動的に削除されます。

#### 制限

利用可能 ステータスでのみ ENI を削除できます。

#### 前提条件

ENI がインスタンスにアタッチしている場合、インスタンスからデタッチします。

#### 手順

ENI を削除するには、次の手順を実行します。

ECS コンソールにログインします。

左側のナビゲーションペインで、[Networks&Security]>Network Interfaces を選択します。

リージョンを選択します。

利用可能なENIを見つけ、操作列で削除をクリックします。

ダイアログボックスで、 [OK] をクリックします。

**Network Interfaces** ページで、テーブルをリフレッシュしてください。ENI が見えなければ正常に削除されています。

### API

DeleteNetworkInterface

# ECS インスタンスのENIの設定

インスタンスは下記のイメージに該当する場合、Elastic Network Interfaces (ENI) を手動で認識させるように設定する必要はありません。

- CentOS 7.3 64 ビット
- CentOS 6.8 64 ビット
- Windows Server 2016 データセンターエディション 64ビット
- Windows Server 2012 R2 データセンターエディション 64 ビット

インスタンスは上記のイメージに該当しない場合、対象インスタンスを手動で ENI を認識させるように設定 する必要があります。

このドキュメントでは、例として CentOS 7.2 64 ビットを実行するインスタンスを使用して、ENI を設定 してインターフェイスを認識させる方法を紹介します。

### 前提条件

ENI を ECS インスタンスにアタッチする必要があります。

### 手順

ENIを設定するには、次の手順を実行します。

DescribeNetworkInterfacesインターフェイスを使用するか、ECS コンソールにログオンし、

ENI のプライマリプライベート IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルート、および MAC アドレスの属性を取得します。ECS コンソールでこれらの属性を取得するには、次の手順 を実行します。

ECS コンソールにログオンする。

左側のナビゲーションペインで、[Networks&Security]> Network Interfaces を選 択します。

リージョンを選択します。

ネットワークインターフェイスを見つけ、プライマリプライベート IP アドレス、サブ ネットマスク、デフォルトルート、および MAC アドレスを取得します。

例

eth1 10.0.0.20/24 10.0.0.253 00 : 16 : 3e : 12 : e7 : 27 eth2 10.0.0.21/24 10.0.0.253 00 : 16 : 3e : 12 : 16 : ec

ECS インスタンスに接続

コマンドを実行して、ネットワークインターフェイスの構成ファイルを生成します。

cat /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-[network interface name in the OS]

注:

- OS のネットワークインターフェイス名と MAC アドレスの関係に注意してください。
- デフォルトルートは DEFROUTE = no に設定しなければなりません。他のエディションも同じ構成でなければなりません。ifup コマンドを実行すると、ネットワークインタフェースを設定した後、アクティブなデフォルトルート設定が変更されることに注意してください。例:

# cat /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth1
DEVICE=eth1
BOOTPROTO=dhcp
ONBOOT=yes
TYPE=Ethernet
USERCTL=yes
PEERDNS=n0
IPV6INIT=n0

PERSISTENT\_DHCLIENT=yes HWADDR=00:16:3e:12:e7:27 DEFROUTE=no

ネットワークインターフェイスを開始するには、次の手順を実行します。

i. dhclient プロセスを起動して DHCP リクエストを開始するには、 if [network interface name in the OS]コマンドを実行します。

例:

# ifup eth1
# ifup eth2

 ii. 応答が受信された後、 ip a コマンドを実行して、ネットワークインターフェイスの IP 割り当てをチェックします。これは、ECS コンソールに表示される情報と一致する必要 があります。

例:

# ip a 1: lo: <LOOPBACK,UP,LOWER\_UP> mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN qlen link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00:00 inet 127.0.0.1/8 scope host lo valid\_lft forever preferred\_lft forever 2: eth0: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER\_UP> mtu 1500 qdisc pfifo\_fast state UP glen 1000 link/ether 00:16:3e:0e:16:21 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff inet 10.0.0.19/24 brd 10.0.0.255 scope global dynamic eth0 valid Ift 31506157sec preferred Ift 31506157sec 3: eth1: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER\_UP> mtu 1500 qdisc pfifo\_fast state UP glen 1000 link/ether 00:16:3e:12:e7:27 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff inet 10.0.020/24 brd 10.0.0255 scope global dynamic eth1 valid\_lft 31525994sec preferred\_lft 31525994sec 4: eth2: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER\_UP> mtu 1500 qdisc pfifo\_fast state UP glen 1000 link/ether 00:16:3e:12:16:ec brd ff:ff:ff:ff:ff:ff inet 10.0.0.21/24 brd 10.0.0.255 scope global dynamic eth2 valid lft 31526009sec preferred lft 31526009sec

ルートテーブルの各ネットワークインターフェイスのメトリックを設定します。この例では、 eth1 とeth2 のメトリックパラメータを次のように設定します。

例:

eth1: gw: 10.0.0.253 metric: 1001 eth2: gw: 10.0.0.253 metric: 1002 i. 次のコマンドを実行してメトリックパラメータを設定します。例: # ip -4 route add default via 10.0.0.253 dev eth1 metric 1001 # ip -4 route add default via 10.0.0.253 dev eth2 metric 1002 ii. route -n コマンドを実行して、設定が成功したかどうかを確認します。例: # route -n Kernel IP routing table Destination Gateway Genmask Flags Metric Ref Use Iface 0.0.0.0 10.0.0.253 0.0.0 UG 0 0 0 eth0 0.0.0.0 10.0.0.253 0.0.0 UG 1001 0 0 eth1 0.0.0.0 10.0.0.253 0.0.0 UG 1002 0 0 eth2 10.0.0 0.0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 eth0 10.0.0 0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 eth1 10.0.0 0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 eth1

10.0.0.0 0.0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 0 eth2 169.254.0.0 0.0.0.0 255.255.0.0 U 1002 0 0 eth0 169.254.0.0 0.0.0.0 255.255.0.0 U 1003 0 0 eth1 169.254.0.0 0.0.0.0 255.255.0.0 U 1004 0 0 eth2

ルートテーブルを作成するには、次の手順を実行します。

注:

ルートテーブル名としてメトリック値を使用することをお勧めします。

i. コマンドを実行してルートテーブルを作成します。例:

# ip -4 route add default via 10.0.0.253 dev eth1 table 1001
# ip -4 route add default via 10.0.0.253 dev eth2 table 1002

ii. コマンドを実行して、ルートテーブルが正常に構築されているかどうかを確認しま す。**例**:

# ip route list table 1001
default via 10.0.253 dev eth1
# ip route list table 1002
default via 10.0.0.253 dev eth2

ポリシーベースルーティングを設定するには、次の手順を実行します。

i. コマンドを実行して、ポリシーベースのルーティングを構成します。

例:

# ip -4 rule add from 10.0.0.20 lookup 1001 # ip -4 rule add from 10.0.0.21 lookup 1002

ii. ip rule list コマンドを実行してルートルールを表示します。

例:

# ip rule list
0: from all lookup local
32764: from 10.0.0.21 lookup 1002
32765: from 10.0.0.20 lookup 1001
32766: from all lookup main
32767: from all lookup default

これで、ENI 設定が完了しました。



制約

タグを管理コンソールを使用して、ECSインスタンス、ストレージ、スナップショット、イメージおよびセ キュリティグループに付けることができます。

タグには次の制限があります。

- 各タグは、キーと値のペアで構成されます。
- -1 つのインスタンスに、最大5個のタグを付けることができます。
- -1 つのインスタンス内で、各タグのタグキーは一意でなければなりません。同一のタグキーを持つ タグは、上書きされます。
- タグ情報はリージョンをまたいで波及しません。たとえば、中国東部 1 (杭州) リージョンで作成さ れたタグは、中国東部 2 (上海) リージョンには表示されません。
- タグ付けを解除し、そのタグが他のリソースにタグ付けされていない場合は、自動的にそのタグが 削除されます。

# リソースにタブのバインド

アカウントがさまざまな方法で互いに関連付けられた各種類のリソースを管理している場合は、タグをリソ ースにバインドし、分類および管理できます。

最大 10 個のタグをリソースにバインドすることができます。1 回最大 5 つのタグをリソースにバインド /アンバインドできます。

タグを使用してリソースをバインドするには、次の手順を実行します。

- 1. ECS 管理コンソールにログインします。
- 左側のナビゲーションバーでタグバインド可能のプロダクトを選択します。例えば、インスタンス、 クラウドディスク、スナップショット、イメージ、セキュリティグループです。
- 3. ページの一番上でリージョンを選択します。
- 4. リソースリストからタグをバインドするリソースを選択します。
- 5. リソースはインスタンスの場合、リソースリストの下に、**詳細、タグの編集**の順にクリックします。
- 6. ダイアログボックスでタグを選択または選択解除します。
  - 使用可能なタグ をクリックし、選択したリソースのタグリストで使用可能なタグを選択 します。
  - 選択したリソースに利用可能なタグがない場合は、**作成** をクリックし、**キー** および 値 を設定します。
    - キー は必須ですが、値 はオプションです。
    - キー は、aliyun、http://、https://で始めることはできません。大文字と 小文字を区別せず、64 文字まで使用できます。
    - 値 は http://、https:// で始めることはできません。大文字と小文字を区別 せず、128 文字まで使用できます。それは空にすることができます。
    - リソースの任意のタグ キー は一意でなければなりません。既存のものと同じ キーを持つタグは上書きされます。
  - 選択されたリソースがすでに 10 個のタグでバインドされている場合、使用可能なタグ および 作成 はグレー表示されます。新しいタグをバインドする前に、いくつかのタグの バインドを解除する必要があります。
- 7.確認 をクリックします。

タグが正しくバインドされているかどうかを確認するには、リソースの **タグの編集** 機能を使用するか、 ECS コンソールの左側のナビゲーションバーで **タグの管理** をクリックします。リソースリストの上部にあ るタグ記号内の **タグ名** をクリックすると、リソースをフィルタリングできます。

# タグの削除

タグがリソース管理に適用されなくなった場合、タグをリソースからアンバインドすることができます。タ グがアンバインドされ、他のリソースにもバインドされなくなった後、タグは自動的に削除されます。

- **タグの削除**機能は、一度に 1 つまたは複数のタグをインスタンスからアンバインドします。

現在のところ、この機能はインスタンスでのみ使用可能です。他のリソースタイプでは使用できません。

- **タグの編集** 機能は、タグを 1 つずつアンバインドします。毎回、リソースから 5 つのタグまでを アンバインドできます。

### タグの削除

現在のところ、 タグの削除機能はインスタンスでのみ使用可能です。

タグの削除手順は下記となります。

- 1. ECS コンソールにログインします。
- 2. 左ナビゲーションの **インスタンス** をクリックします。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. インスタンスリスト内のタグのバインドを解除するインスタンスを選択します。タグでインスタン スをフィルタリングし、目的のインスタンスを選択することもできます。
- 5. リソースリストの一番下にある 詳細 > 夕グの削除 を選択します。
- 6. タグの削除 ダイアログボックスで、アンバインドするタグの タグキー を入力します
- 7. OK をクリックして、タグのバインドを解除します。

| タグの削除                                         | $\times$ |
|-----------------------------------------------|----------|
| 注意: 1回のオペレーション時のバインドされていないラベルは5個を超えることはできません。 |          |
| タグキー タグ値: OK                                  |          |
| ОК キヤン                                        | ンセル      |

タグが正常にアンバインドされているかどうかを確認するには、インスタンスの **タグの編集** 機能を使用する か、ECS コンソールの左側のナビゲーションバーで **タグ** をクリックします。

### タグの編集

**タグの編集**機能は、リソースから 1 つまたは複数のタグのバインドを解除します。

タグをバインド解除する手順は下記となります。

- 1. ECS コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで、バインド解除操作のリソースタイプを選択します。例えば、インス **タンス、クラウドディスク、スナップショット、イメージ、セキュリティーグループ**など。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. リソースリストで、タグのバインドを解除するリソースを選択します。タグでリソースをフィルタ リングし、目的のリソースを選択することもできます。

 $\times$ 

- 5. リソースリストの下部にある タグの編集 をクリックします。
- 6. タグの編集 ダイアログボックスで、タグの横にある削除アイコンをクリックします。
- 7. 確認 をクリックして、タグのバインドを解除します。

| 11:11 🛛 22:22 🛇 33:33 🔇 | ソクの削除   |         |                      |      |  |
|-------------------------|---------|---------|----------------------|------|--|
|                         | 11:11 🛇 | 22:22 🔇 | 33:35 <mark>8</mark> | <br> |  |
|                         |         |         |                      | <br> |  |

タグが正常にアンバインドされているかどうかを確認するには、インスタンスのタグの編集機能を使用する か、ECS コンソールの左側のナビゲーションバーで **タグ** をクリックします。

# タグでのフィルタリング

タグがリソースにバインドされた後、次の2つの方法を使用してリソースをタグでフィルタリングできます

リソースリストによるリソースのフィルタリング

- リソースをフィルタリングするには、次の手順を参照してください。
  - 1. ECS コンソールにログインします。
  - 2. 左側のナビゲーションペインで、リソースタイプを選択します。インスタンス、クラウドディスク、スナップショット、イメージ、セキュリティグループなど。
  - 3. リージョンを選択します。
  - 4. リソースリストの上部にある **タグ** をクリックします。
    - キーにバインドされているリソース(複数の値を持つ可能性がある)を取得するには、 該当キーをクリックします。
    - キーと値のペア(タグ)にバインドされているリソースを取得するには、該当キーと値
       をクリックします。コンソールは、キーまたはキーと値のペア(タグ)にバインドされ
       ているリソースのリストを返します。

### タグでのリソースフィルタリング

リソースをフィルタリングするには、次の手順を参照してください。

- 1. ECS コンソールにログインします。
- 2. 左側のナビゲーションペインの **タグ** をクリックします。
- 3. リージョンを選択します。
- 4. 検索ボックスにキーを入力し、検索 をクリックします。

コンソールは、キーにバインドされているリソースのリストを返します。

### **Resource Access Management (RAM)**

# **Resource Access Management (RAM)**

購入した ECS インスタンスを、組織内で複数のユーザーが使用するという状況は珍しくありません。これ らのユーザーが同じ Alibaba Cloud アカウントのアクセスキーを共有すると、2 つの問題が生じます。

- 情報漏えいのリスクが高くなる。
- ユーザーのアクセス権限を制限できず、不適切な操作によるセキュリティリスクを招くおそれがある。

Resource Access Management (RAM) は、リソースアクセスを制御するための Alibaba Cloud のサービスです。このサービスを使用すると、ユーザー (従業員、システム、アプリケーションなど) をまとめて管理し、ユーザーがアクセスできるリソースを制御することができます。

RAM はリソースアクセス権限の管理に役立ちます。たとえば、ネットワークセキュリティの管理を強化す

るために、特定のグループに権限付与ポリシーを設定できます。責任者の名前で行われた ECS リソースへのアクセスリクエストでも、元の IP アドレスが企業イントラネット外のものならば拒否する、といったポリシーを規定できます。

グループごとに異なる権限を設定できます。例:

- SysAdmins (システム管理者): このグループには、ECS イメージ、インスタンス、スナップショット、セキュリティグループの作成と管理を実施する権限が必要です。このグループでは、グループ メンバーの全員にすべての ECS リソースを操作できる権限を付与するポリシーを割り当てます。
- Developers (開発者): このグループには、インスタンスを使用する権限のみが必要です。このグル ープでは、グループメンバーの全員に DescribeInstances、StartInstance、StopInstance、 CreateInstance、DeleteInstanceの各メソッドを呼び出す権限を付与するポリシーを割り当てま す。
- あるユーザーが開発者からシステム管理者になった場合は、簡単にそのユーザーを Developers グ ループから SysAdmins グループに移すことができます。

RAM に関する詳細については、RAM プロダクトドキュメント を参照してください。

モニタリング

モニタリング

ECS インスタンスがスムーズに稼動しているかどうかを確認するために、いくつかのディメンションにわたって、ECS インスタンスの実行ステータスをモニターすることができます。

ECS インスタンスの実行状態は、次の 2 つのポータルでモニターできます。

- Instance Details
- CloudMonitor

### **Instance** Details

- 1. [ECS 管理コンソール] にログインします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**インスタンス**] をクリックします。次に、ページの一番上でリージョンを選択します。
- 3. モニター対象のインスタンスを見つけて、そのインスタンス名をクリックします。
- 4. [**インスタンスの詳細**] ページで、CPU 使用率やアウトバウンド/インバウンドのネットワークトラ フィック情報などのモニタリング情報を確認できます。

モニタリング情報の説明は次のとおりです。

CPU: 表示されるモニタリングデータは、インスタンスの CPU 使用率を示します。この数字が大きいと、インスタンスの CPU 負荷も高くなっています。

- Windows インスタンスでは、インスタンスのタスクマネージャーを使用して CPU 使用 率を確認できます。CPU 使用率ごとにプログラムがリストされるので、どのプログラム がサーバーの CPU リソースを使用しているかを把握できます。
- Linux インスタンスでは、top コマンドを使用して CPU 使用率の詳細を表示できます。 インスタンスにログインして、コマンドラインで top コマンドを実行します。その後、 Shift + P キーを押すと CPU 使用率ごとにプログラムがリストされ、どのプロセスが多 くの CPU リソースを使用しているか確認できます。

ネットワーク: 表示されるモニタリングデータは、インスタンスのインターネットトラフィックを kbps 単位で表します (1 Mbps = 1,024 kbps)。モニタリングデータはインバウンドとアウトバウ ンドのインスタンストラフィックを示します。1 Mpbs の帯域幅について、アウトバウンドネット ワークトラフィックが 1,024 kbps に達するとき、帯域幅は最大限に使用されています。

### CloudMonitor

- 1. 管理コンソールで、[**プロダクト**]、[CloudMonitor] の順に選択するか、[**インスタンスの詳細**] ペ ージで [**アラームルール**] をクリックします。
- 2. 左側のナビゲーションバーで [**ECS**] をクリックし、モニター対象とするインスタンスの名前を選 択します。
- 3. [インストールガイド] をクリックして、インスタンス OS をモニターします。[モニタリングチャート] をクリックすると、各種の基本パラメーターが表示されます。[アラームルール] をクリック

| 9 OCV                  | アフームルールを設止できます。                                                                     |                            |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| CloudMonitor           | ECSモニタリング 中国電話1 シンガポール 中国社話1 中国社話2 中国中部2 米国首話1 巻巻 ドバイ1 オーストラリフ1 中国専務1 ドイソ1 日本 米国首称1 | ○ 更新                       |
| 纸屉                     | インスタンス 10 を入力してください * 入力してくださいインスタンス 10 を入力してください? 検索 **べてのインスタンス * 新しいインスタンスグループ   |                            |
| Dashboard              | □ インスタンス ロ/インスタンス名 IP ネットワーク (すべて) * メモリ他用面 ● CPU 使用面 ステータス                         | アクション                      |
| ・ クラウドサービスモニ<br>ECS    | □ <sup>11</sup> 2010 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1                              | モニタリングチャート   アラームルール       |
| RDS                    | ■ フラームルールの設定 グループからの移動 ECS モニタリングのインストール すべてのルールを表示 全国業務示                           | 台計11 10 <b>*</b> < < 1 > > |
| Server Load Balancer   |                                                                                     |                            |
| Object Storage Service |                                                                                     |                            |
| Alibaba Cloud CDN      |                                                                                     |                            |
| EIP                    |                                                                                     |                            |
| KVStore                |                                                                                     |                            |
| Message Service        |                                                                                     |                            |
| アラーム送信先                |                                                                                     |                            |
| イベントサプスクリプ             |                                                                                     |                            |

CloudMonitor の詳細については、CloudMonitor プロダクトドキュメントを参照してください。